

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

全体

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	「個別最適や一人ひとりの個性を大切にし、学校だけでなく家庭や地域でさまざまな人と出会う豊かな体験活動を通して、その子が持っている可能性を開花させていく」という視点が教育ビジョンに盛り込まれているのは、とても意義深いことだと思います。 こうした考え方は、子どもたちが自分らしさを発揮しながら学び、社会の中で多様な価値観を理解し、他者と協働する力を育むために欠かせません。学校だけで完結するのではなく、地域や家庭と連携し、実社会に近い学びの場を広げることで、子どもたちの学びはより生き生きとしたものになると期待しています。	②	個別最適な学びや一人ひとりの個性を大切にし、学校だけでなく家庭や地域と連携して豊かな体験活動を提供することは、子どもの可能性を最大限に引き出すために不可欠です。教育ビジョンでは、この考え方を重視し、地域や家庭と協働しながら、実社会に近い学びの場を広げる取組を進めます。こうした連携により、子どもたちが自分らしさを発揮し、多様な価値観を理解し、他者と協働する力を育むことをめざしてまいります。	1
2	全体的に「学校・家庭・地域」の連携が示されており、教育大綱の基本理念である「夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり」にむけて地域で子どもを育てる方向性が表現されていると感じる。	②	学校・家庭・地域の連携を重視し、教育大綱の基本理念である「夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり」に向けて、地域で子どもを育てる方向性を教育ビジョンにしっかりと位置づけます。こうした理念を具体的な施策に反映し、協働の仕組みづくりを進めてまいります。	2
3	各施策に指標（R6→R10）が示され、進捗が見える点を高く評価します。保護者として到達イメージを共有しやすいです。SDGsとの整合や「ウェルビーイング」の明記により、地域全体で子どもを中心に据えた一体感が生まれると感じます。	②	各教育施策に指標を示し、進捗が見える化することで、保護者を含め多くの方が到達イメージを共有しやすくなる点は重要であると考えています。教育ビジョンでは、SDGsとの整合や「ウェルビーイング」の明記を通じて、地域全体で子どもを中心に据えた一体感を醸成し、協働を推進してまいります。	3
4	「幼稚園・保育園・認定こども園」を「幼稚園・保育園・認定こども園等」に変更してほしい。（小規模事業所があるため） P12取組内容④⑦ 評価指数活動の活動、参考P13現状と課題L6、P14⑤、評価指数活動の活動、参考P21今後の方向性L3、P22取組内容⑧	③	幼児教育（3，4，5歳児の幼児）についての施策のページや、内容として幼児のことについて記載したもののため、小規模事業所については含まないものとさせていただきます。	4
5	基本理念が、しっかり示されていてわかりやすいと思います。	②	今後も、基本理念を具体的な施策や取組にしっかりと反映させるとともに、その理念が学校現場や地域、家庭において共有され、実践につながるよう工夫します。教育ビジョンの実現に向け、理念を基盤とした一貫性のある取組を推進し、子どもたちのより良い成長に結びつけてまいります。	5
6	先行きが不透明な時代だからこそ、学校・家庭・地域が「子どもを育てる」という当事者意識を持ち、協力して子どもを育てていくことが必要だと思います。 そのような視点が教育ビジョンに盛り込まれているのは、とても良いことだと感じます。	②	学校・家庭・地域が当事者意識を持ち、協力して子どもを育てる視点は重要であり、教育ビジョンにその考え方をしっかり盛り込み、連携を推進してまいります。	6
7	二次元コードを使って補足資料や取組内容が分かるのは非常に良い取組だと思います。ただし、複数（3つ以上）のコードが並んでいる場合、バーコードリーダーでの読み取りが難しくなることがあるため、少し間隔を空けるなどの工夫をしていただけるとありがたいです。	①	複数（3つ以上）の二次元コードが並ぶ場合は、間隔を空けるなどの工夫をして、読み取りやすさに配慮します。あわせて、利用者がスムーズに情報へアクセスできるよう、レイアウトや配置にも注意し、見やすさを高めます。	7

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

全体

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	一人ひとりの子どもの幸せと教師の幸せ、そしてみんなの幸せが重なり合って実現できることが大切だと思います。そのためには、豊かな価値観に触れ、豊かな心を育み、多様な他者を認め合える教育が必要です。このようなビジョンになることを願っています。	②	一人ひとりの子どもの幸せと教師、そしてみんなの幸せが重なり合うことを大切にし、豊かな価値観に触れ、多様な他者を認め合える教育を推進するビジョンにしていまいります。	8
9	一人ひとりの個性を尊重し、未来を切り拓く力を育むという方針に強く共感します。多様性を認める教育は、子どもたちの自信と挑戦する力を育てる土台になると思います。	②	ご意見を踏まえ、一人ひとりの個性を尊重し、未来を切り拓く力を育む方針を大切にし、多様性を認める教育を通じて子どもたちの自信と挑戦する力を育てる取組を進めてまいります。	9
10	松阪市の具体的な施策やその指標を一冊にまとめていただいております、気になったときにすぐ調べることができてありがたいです。	②	学校だけでなく、地域や家庭を含め、さまざまな人々が教育に携われるよう、それぞれの教育施策を明記し、だれもが読みやすく理解しやすい資料をめざしてまいります。	10
11	* 教育施策の内容に応じて、対象は児童生徒又は市民となります。という表記ですが、「市民」の中には在勤の方も含まれるのでしょうか？また、学校（教職員）も対象者であると思うので、そこも表記した方が分かりやすいのではないかと思います。	①	「市民」には在勤の方も含まれます。また、教育施策によっては学校関係者や市外在住者も対象となりますことから、10ページの該当箇所を次のように修正します。 教育施策の内容に応じて、対象は児童生徒または市民となります →教育施策の内容に応じて、対象は幼児・児童・生徒・学校関係者・保護者・市民等となります	11
12	前回のビジョンに比べて、活動と成果の関連性が伝わり、分かりやすいとなっていると思います。 また、「夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり」と言う基本理念のもと、あらゆる教育施策に対して、全ての担当課の方が真摯に取り組んでいただいている姿勢が十分に伝わってくる内容だと思います。 松阪市の教育のために日頃からご尽力いただき、本当にありがとうございます。	②	基本理念『夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり』を実現するため、教育施策において関係課が連携し、子どもたちが夢を描き、挑戦できる機会を広げまてまいりたいと考えております。また、地域社会と協働しながら、子どもたち一人ひとりの学びの質を高め、未来を切り拓く力を育成してまいります。	12
13	文書中の『Society5.0』『デジタル・トランスフォーメーション（DX）』『ウェルビーイング』といった専門用語について、注釈や簡単な説明を加えることで、より読みやすくなると思います。	①	専門用語は一般の方には馴染みが薄いため、2ページに注釈を付けます。併せて、それぞれの教育施策に掲載されているウェルビーイングの注釈を記載します。 Society5.0・・・1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想 デジタル・トランスフォーメーション（DX）・・・学習モデルの構造等が質的に変革し、新たな価値を創出すること ウェルビーイング・・・身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念	13

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

① 幼児教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	子どもが小さい頃、動物や人になりきって、ごっこ遊びをしていました。遊びを通してだんだん話す言葉が豊かになってきたことを思い出します。そう考えると、幼児期は、子どもの表現力を高めたり、やってみたいという気持ちを高めたりする大事な時期だと改めて思います。たくさんの経験をさせていただけると嬉しいです。私も、地域の行事などで、幼児期の子どもたちに関われたらなぁと思います。	③	子どもたちはいろいろな遊びを通して言葉の獲得や自己を表現すること、友だちとのやりとりなどたくさんのことを学んでいます。興味をもって遊ぶことは深い学びにつながっていくため、就学前教育の中でいろいろなことに会い、興味が持てる子どもたちの姿がたくさん見られるような保育をめざしてまいります。	14
2	幼児期はその後の人生における大切な力の基盤となるものを養うとても重要な時期だと思います。コロナ禍で豊かな体験活動や人との関わりが制限された子供たちへのその後の影響はとても大きいという話も聞くことがあります。ぜひ、豊かな自然とのふれあいや体験、様々な人との関わりを取り組みの中で充実させていただければと思います。	③	幼児期の体験や人との関わりは、その後の成長に重要な役割をはたすものと認識しております。コロナ禍の影響を踏まえ、自然とのふれあいや多様な人々との交流を促進する体験活動の充実に努め、子どもたちが豊かな環境で健やかに成長できる取り組みを進めてまいります。	15
3	幼児期における遊びながらの体験や活動が、小学校入学以降のコミュニケーション力や人とのかかわる力に大きく影響すると思います。発達段階に応じて、様々な体験をさせてあげてほしいです。また、子どもたちの笑顔は松阪を元気にしてくれます。地域で子どもたちを育てていきたいです。	③	幼児期における遊びや体験が、その後のコミュニケーション力や人との関わり方に大きく影響を与えるという点は、大変重要であると認識しております。発達段階に応じた多様な体験を積み重ね、笑顔あるれる幼児教育を進めてまいります。	16
4	幼児教育から小学校教育への移行期、いわゆる「架け橋期」は、子どもたちの育ちと学びを連続的につなぐ重要な時期です。この時期に、公立・私立の園や学校が分け隔てなく協力し合い、共通の目標に向かって取り組むことは、非常に良いことだと思います。	③	幼児教育から小学校教育への移行期は、子どもたちの育ちと学びをなめらかにつなぐ大切な時期です。公立・私立を問わず、園と学校が協力して共通の目標を共有し、切れ目のない学びを実現できるよう連携を深めてまいります。	17
5	地域の人材や資源を活かした教育活動は、子どもたちに多様な体験を提供し、地域への愛着や社会性を育む貴重な機会となるため、今後の充実に期待します。	③	家庭においても地域においても人間関係が希薄化している今、園においては地域の人たちと積極的にかかわる力を育てるため、地域の人材は貴重であると捉えています。今後も子どもたちが人と出会うことが楽しみになるような保育をめざしてまいります。	18
6	自然や地域の人々、多様な文化に触れる体験を通して、子どもたちの資質・能力を育むという方針は、まさに「地域で育てる教育」の理想形だと感じました。地域性を生かすことで、子どもたちが自分の住む場所に誇りをもち、豊かな感性を育むことができると思います。	③	地域の自然や文化、人との交流を通して資質・能力を育む方針は、まさに「地域で育てる教育」を体現するものです。地域の豊かな教育資源を生かしながら、感性と誇りを育む学びを充実させてまいります。	19

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

① 幼児教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
7	「生活習慣チェックシート」の活用など、学習に向かう基礎を築く取り組みは、幼児期の教育の本質を捉えていると思います。生活のリズムや基本的な習慣が整うことで、子どもたちは安心して学びに向かうことができると感じました。	③	生活リズムや基本的な生活習慣を整える取組は、安心して学びに向かう基礎を築くうえで大変意義があります。日々の生活を通して、自立心や意欲を育む幼児教育を丁寧に進めてまいります。	20
8	幼児教育からそれ以降の生涯教育まで、「非認知能力」がキーワードになるようになってきました。特に「非認知能力」は、幼少期に育てる重要性が指摘されており、家庭や学校での愛情や支援、成功体験を通じて伸ばすことが大切だと思いますので、「架け橋期のカリキュラム」を作成し、取組を進めてください。	③	近年、自己制御力や粘り強さ・コミュニケーション力などの「非認知能力」が幼児教育施設や子育ての中で重要視されています。自分が安心できる環境のもとで、「非認知能力」が育めるような保育内容を考えてまいります。	21
9	保護者アンケートや評価システムを活用し、特色ある園運営を推進する姿勢は、時代に即した教育を実現するために欠かせないものです。保護者の声を反映しながら、地域に根ざした柔軟な運営が行われている点に共感しました。	③	保護者アンケートや評価システムを活用して特色ある園運営を進めることは、時代の変化に応じた柔軟な教育を実現する上で大切です。保護者の声を生かしながら、地域に根ざした魅力ある園づくりを推進してまいります。	22
10	幼児教育と小学校教育が段差なく滑らかな接続をすることができるように、今後も引き続き架け橋プログラムに力を入れてください。また松阪市の架け橋カリキュラムを作成し、それをもとに幼児教育が充実し、幼児に質の高い学びを保障できることを望みます。	③	架け橋プログラムにおいて、子どもに関わる大人が立場の違いを超えて連携し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、発達や学びの連続性を大切にしていきたいと考えております。	23
11	遊びを通した学びを大切にする方向性は、幼児期の育ちに合っていて心強いです。家庭・地域と連携しながら非認知能力も育む姿勢に共感します。幼保小の接続を見据えた計画的な取り組みを支持します。	③	幼児が物事に主体的にかかわっていくことで学びの芽が出てきます。その芽を大切にしながら家庭や地域そして小学校とつながり、たくさんの芽が伸びていくことを願っております。	24
12	小中学校でもICT教育が充実してきています。幼稚園でも、より研修体制の充実や園務の効率化につながるよう、ICT機器の環境整備を望みます。	③	これまで実践してきた教育を大切にしながら、子どもたちや教職員がICTを活かした保育について議論をしてまいります。	25

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

① 幼児教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
13	「社会生活との関わり」を意識すること、「言葉による伝え合い」を楽しむこと等、幼児教育で大切にされていることは、小学校以降の子どもの発達や学びにもとても大切だと思います。子ども、保護者、家庭のことを思っている園の先生方の温かなまなざしも小学校へ引き継がれ、子どもたちが安心して小学校生活を始めることができるよう、保幼小の連携は不可欠だと思います。	③	幼児の遊びには、幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれ、それらのことが小学校以降の学びの姿勢につながります。安心して小学校での生活や学習ができるよう、架け橋期のカリキュラムを作成し、円滑な接続を進めてまいります。	26
14	幼児期の体験が人格形成の基礎となるとの視点に強く共感します。遊びや自然体験を通して主体性や協調性を育む取組は、学びに向かう力の基礎を築くものです。こ保幼小中の連携により、切れ目ない学びの実現をめざす方向を支持します。	③	幼児期の体験がその後の学びや人格形成の基礎となるという視点はとても大切です。遊びや自然体験を通して主体性や協調性を育むとともに、保幼小中の連携により、切れ目のない学びの実現に向けた取組を進めてまいります。	27
15	生活環境の変化に伴い、就寝時間などの生活習慣が不規則となっている現状から、幼児期から子どもの望ましい生活習慣を確立していくことが、重要だと思います。	③	生活習慣の確立は、小学校以降の学習態度に大きな影響があると捉えています。幼児期から望ましい生活習慣で過ごせるよう、保護者の方に理解を求めていくことが大切だと考えております。	28
16	園内研修以外にも校外でいくつか職員研修をしていると伺いました。子どもを預ける側として、安心安全で子どもたちの能力を育てる保育をこれからもお願いします。	③	保護者に安心して通わせていただけることは、子どもにとっても安心できる場になると考えます。子どもたちのそれぞれの個性を大切にできる幼児教育を保障していけるよう、研修してまいります。	29
17	地域の人材や教育的資源を生かした教育活動をしていることがすばらしいと思います。	③	地域の人とかかわったり、地域の教育的資源を生かしながら、各園で様々な取組を行っています。これらのことは、幼児の生活を豊かにし地域に対する親しみにつながったりすると考えます。地域の人も含め子どもが大切にされていることを感じ、自己肯定感を育んでいけるよう、今後も深めてまいります。	30
18	地域との交流は各園の実態に合わせてなされている。今後は小学校との連携である架け橋プログラムを進めていくことが今後たいせつになると思われる。小学校低学年の不登校が増えている事もあり、就学前から小学校への滑らかな接続を今後大きな課題として、教育委員会が主導となり、こども未来課共有しながら進めていく必要がある。（P 1 1 今後の取り組み）	③	5歳児から小学校第1学年への円滑な接続はたいせつなことだととらえています。架け橋プログラムを通して、小学校での授業や生活が幼児教育を活かしたものになるよう、カリキュラムの作成を進めてまいります。	31

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

① 幼児教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
19	「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針改定」を見直し豊かな学びや望ましい生活ができる幼稚園・保育園・認定こども園をめざして検討していきますとありますが、これについて意見します。 政府の予想をはるかに上回るペースで出生率が減少しており、松阪市においても未就学児童の減少は顕著に現れています。すべての子どもに格差なく質の高い学びを保障するために、公立幼稚園の存続を願います。現在、一学年の人数が2、3人という園が増えてきています。数人では、集団としての遊びや活動等が成り立ちにくい現状があります。また、少人数保育に慣れると、教員の資質も低下していくと考えます。今後も各園がそれぞれの地域性や特色を生かして公立幼稚園のよさを訴えても園児数を増やすことは厳しいと思われます。幼稚園のあり方基本方針改定の際には、集団としての教育的効果が得られるような園児数になるよう、教員が様々な園児を支援し保育する力をつけられるよう、幼稚園の統廃合を早急に進めていただきたいです。	③	松阪市においても出生率が低下しており、幼児教育施設において定員に満たない園があります。子どもの集団生活は、遊びや協同的な活動を通じて、他者と関わり合いながら様々な力を育てます。子どもたちにとって集団としての教育的効果が得られるよう、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」を見直し豊かな学びや望ましい生活ができる幼稚園・保育園・認定こども園について検討をしていきます。	32
20	どちらも園での総数で表しているが、漠然としていてわかりにくい。多いのか少ないのかわからない。割合にするとよくわかるのではないか。取り組んでいない園があるのであれば割合で示すことができる。そして目標値を全園で取り組めるようにと100 %にするとか。全園が取り組んでいるのであれば、例えば事務局が理想とする実施回数を設定し達成した園の割合で表すと分かりやすいと思った。 （P 1 2 P 1 4 <幼児教育> 1 幼児教育の推進、評価指標 P 1 2）	③	今後はいただいたご意見も参考にさせていただき、より分かりやすい表記としていきます。	33
21	年間3 回実施しているが保護者任せになってしまっている。その時は意識して生活をしていただいているが期間が過ぎると忘れてしまう。「チェックシートを活用するなど」とあるがほかの取組について教えていただきたい。幼稚園での取組の参加にさせていただきたい。 （P 1 2 ③「就学前の～基礎を築きます。」）	③	「就学前の子ども向け生活習慣チェックシート」は、その時のもので終わってしまうのではなく、小さな積み重ねが大切になると考えます。睡眠・食事・運動・メディアなどの生活習慣は、小学校以降の学びを支える土台になることを保護者とともに考える機会を作っていきます。	34
22	具体的にどのように整備・維持管理していくのか。具体的に教えていただきたい。 （⑧ I C T 教育機器の整備・維持管理に努めます。）	③	機器の整備・維持管理については、活用目的を明確化し、幼児の発達特性等を勘案したうえで、情報セキュリティの確保等をはじめとして議論してまいります。	35
23	それぞれの公立幼稚園では、人との出会いや地域の自然や文化に触れた体験等を通して特色ある学びを深めています。なかでも保護者、地域や小学校とのつながりを大事にしております。園児数の減少等課題もありますが、小学校への学びの円滑な接続に向け公立幼稚園の幼児教育がさらに深まっていくことを願っております。（P11～P12取組内容①、②に関わって）	③	園では地域の人材や地域の自然に触れながら子どもたちの社会的情動スキルの伸長や言語・表現の拡張・学びの動機づけなど、各園が特色をもたせた活動を行っています。地域の中での体験活動も含め、幼児教育で培われた学びの芽が小学校教育に円滑につながっていくよう進めていきます。	36

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

① 幼児教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
24	各園においてICT機器の整備を図っていくことで、職員の研修への参加機会が増え、保育内容の充実につながります。そのことは幼児教育の質の向上につながると思います。ぜひ各園においてICT機器整備が図られることを願っております。（P12取組内容⑧に関わって）	③	整備にあたっては、これまでに大切にしてきた子どもとの対面での保育や実体験の学びを保証した活用を考えております。このことを踏まえて職員の研修体制について議論してまいります。	37
25	分末尾の読点は不要では？（P12 * 2）	①	句読点に関わって、12ページを次のように修正させていただきます。 義務教育開始前後の5歳児から第1学年の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期。 →生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期となる、義務教育開始前後の5歳児から小学1学年生の2年間	38
26	評価指標の【参考】の園数が令和6年度のものになっていますが、令和7年から始めるものであるの で、令和7年度の園数にしてはどうですか。（R7から保育園が2園減っているため）	①	令和4年3月策定の松阪市教育ビジョンに従いまして、P12・P14【参考】を令和7年度の園数に修正させていただきます。 令和6年度 幼稚園12園、保育園13園（小規模保育事業所1園を含む）、認定こども園8園 →令和7年度 幼稚園12園、保育園10園、認定こども園8園	39

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

② 子育て支援の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	今の時代、核家族化をはじめ、他の親御さんとの年齢層が違うとか、積極的に関われないとか、様々な理由で近くに頼れたり相談できたりする人がおらずに悩んでみえる人が多いのではないかと思います。そのような方が気軽に相談できたり、同じように子育てに奮闘する人たちとつながれたりする支援を進めていただけるといいなと思います。	③	核家族や年齢層の違いを感じて保護者同士がかかわりにくい状況もあるかと思います。そのように感じることなく保護者がつながることができるきっかけづくりや場づくりをすることを心がけ、みんなで子育てをしていけるような支援をしてまいります。	40
2	保育園、幼稚園、こども園に通っていると、その間の様子が気になります。様々な方法で情報共有をしてくださっているので、安心して通わすことができます。	③	子どもは1日の生活の中で、泣いたり笑ったりする場面がたくさんあります。成長が感じられる場面もたくさんあります。そのような子どもの姿を写真つきの掲示板やおたよりなどで保護者に伝えていき、ともに成長を喜び合える手立てをとってまいります。	41
3	保育参加や懇談会などを通じて、保護者同士がつながり、子育てについて語り合える場があることは、孤立しがちな子育てを支える大きな力になると感じました。共感し合える関係性が、子育ての不安を和らげ、地域全体で子どもを育てる雰囲気づくりにもつながると思います。	③	保護者同士が語り合い、共感し合える場の存在は、子育ての安心感につながる大切な要素です。保育参加や懇談会などを通して、保護者のつながりを支え、地域全体で子どもと家庭を見守る環境づくりを進めてまいります。	42
4	写真入りのドキュメンテーションを通じて、園での子どもの様子や成長を保護者と共有する取組は、保育への理解を深める上で非常に有効だと感じました。保護者が常日頃から子どもの成長を実感できることで、園との信頼関係もより強くなると思います。	③	写真入りのドキュメンテーションを通して、園での子どもの姿や成長を共有する取組は、保護者の理解と信頼を深めるうえで効果的です。子どもの成長をともに喜び合えるような保育・家庭の連携を大切にしていまいります。	43
5	共働きなので、保育時間の延長は助かります。	②	今後も保護者の就労時間や家庭の事情に合わせて通っていただける保育体制を引き続き進めてまいります。	44
6	ひとり親家庭や外国籍家庭、障がいのある子どもを育てる家庭など、支援が必要な家庭に対して、相談しやすい環境づくりと専門機関との連携を進めている点に、行政の温かさと責任感を感じました。すべての家庭が安心して子育てできる社会の実現に向けた、大切な取り組みだと思います。これからも誰もが住みやすい松阪市にしてほしいです。	③	ひとり親家庭や外国籍家庭、障がいのある子どもを育てる家庭など、支援が必要なご家庭に寄り添うことは大変重要です。相談しやすい環境を整え、関係機関との連携を深めながら、誰もが安心して子育てできるまちづくりを進めてまいります。	45
7	コロナ禍の影響は今もあると思います。その中で、地域の人材を活用した行事や交流を通じて、子どもたちが多様な刺激を受けながら育っていくことは、非常に魅力的だと感じました。保護者や教職員が地域と協力し合いながら子どもを育てるという視点は、地域の教育力を高める上でも重要だと思います。	③	地域の方々と連携した行事や交流の取組は、子どもたちに多様な刺激や学びをもたらす貴重な機会です。保護者や教職員、地域の皆さんが協力し合い、地域ぐるみで子どもを育てる取組を充実させてまいります。	46



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

② 子育て支援の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	保育園での保育参加や親子遠足は、子どもの成長を感じる機会であるとともに、保護者同士で交流するよい機会となっていました。保護者同士の交流から入学予定の小学校の様子を知ることができました。	③	保育参加や親子遠足などに参加し、子どもの様子を知ったり保護者同士がつながる場があることは、子育てにおいて大切なことだと捉えています。今後も内容を工夫し、保護者が子育ての喜びを感じられるように取り組んでまいります。	47
9	子どもと保護者のウェルビーイングを基軸に、情報発信・相談体制を整えつつ乳幼児期から切れ目なく支援する姿勢をありがたく感じます。	③	幼児期までは人の生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期だと捉えています。子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎が培われるように、保護者とともに子育てをしてまいります。	48
10	保護者の就労形態は様々であるため、乳児期から預けたり長時間預けたりすることに罪悪感を感じる保護者の方も少なからずいるように感じます。預かり保育の保育内容の充実は、そのような保護者の方の気持ちを軽減することができると感じました。	③	乳児期からの保育や長時間保育など保護者の就労に合わせて入園していただいています。幼稚園においては預かり保育を実施している園もあります。今後も保護者に合った施設を選んでいただけるよう、保育体制を推進してまいります。	49
11	未就園児教室に参加することで、子どもにとって楽しい時間になるのはもちろん、保護者と園、保護者同士のつながりができるきっかけにもなると思います。このような取り組みが各園で行われているのが良いと思いました。	③	幼稚園の未就園児教室は各園ごとに内容を考え、取り組んでいます。地域の環境を活かしたり、季節に合わせた活動を取り入れ、いろいろな保護者が出会える場になることを願って教室を開いています。今後も保護者が気軽に利用できるような雰囲気を作り、自然に足が向いていくような憩いの場が提供できるように努めてまいります。	50
12	子どもへの愛情の注ぎ方がわからなかったり、子への愛情があっても子どもへ伝わっていなかったり、必死に子育てをしても孤立感がぬぐえなかったりする時に、未就園児教室や育児相談につながることができたらとても良いと思いました。園での親子で触れ合う機会や行事の取り組みを進めてほしいと思います。	③	子どもへのかかわり方や自分の子育てについて悩みや不安を感じている保護者に対して、その思いを十分に受け止めながら保護者自身が自分の子育てを振り返るきっかけをつくったり、子育てについて学ぶ場面をつくったりするなどしてまいります。	51
13	子育てに不安を抱える保護者への寄り添いと相談体制の充実を重視する点に賛同します家庭や地域、専門機関が連携し、誰一人取り残さない支援を行う姿勢は重要だと感じます。安心して子育てできる環境づくりを一層推進してほしいと思います。。	③	子育てに不安を抱える保護者に寄り添い、関係機関と連携した支援体制の充実は保護者の安心感につながるものと考えます。誰一人取り残さない支援をめざし、安心して子育てができる環境づくりを一層進めてまいります。	52
14	今の多様な家庭環境や保護者の思いやニーズに寄り添おうとする姿勢が感じられ、とても意義深いと感じました。特に、未就園児教室や育児相談の充実、保護者の孤立感への配慮、そして預かり保育の充実など、現場の実情に合わせた支援が丁寧に盛り込まれている点は、現場で子どもたちと向き合う立場としても心強く感じます。	③	家庭環境や保護者のニーズは多様化してきており、時代に合わせた制度を整えていくことは大切なことだと捉えています。今後も保護者に安心していただけるよう柔軟な受け入れをしてまいります。	53
15	幼稚園等の保育参加、学級懇談会、保護者会等を通じ、子育て中の保護者どうしがつながり、子育てについて考え合ったり、学び合ったりする機会は必要だと思います。その参加方法も様々な方法があると、より参加しやすくなると思います。	③	保育参加や学級懇談会等に参加し、子育ての悩みや経験を交流することは、子育ての安心感につながる貴重な時間だと考えています。参加方法についても、保護者が参加しやすくなるような方法を検討していきます。	54

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

② 子育て支援の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
16	2 子育て支援の推進 保護者と共に子育てについて考えたり、専門機関や関係機関と連携を図りながら支援をしていくことは、これからの将来未来を担う子どもたちにとって、とても大切なことだと思う。（P.13、15行目）	③	専門機関や関係機関と連携を図りながら、子育てを支援していくことが大切だと捉えています。子どものより良い成長に向けての教育的支援を行うことができるよう、子どもの個性を丁寧に捉え、1人ひとりの子どもに添った保育をしてまいります。	55
17	一人ひとりと大切にに関わり、また保護者の思いに寄り添うことを心がけています。保護者とともに子育てについて話し合ったり、ともに子どもの成長を喜び考えたりすることはとても大切なことだと思います。	③	保護者とともに、子育てについて話し合ったり、ともに子どもの成長を喜び合ったりできることは、保護者との信頼関係があってこそだと考えます。些細なことでも話せる保護者との関係づくりを基盤にし、辛いことも嬉しいことも楽しめるような子育てになるよう努めてまいります。	56

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

③ 学力の育成

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	確かな学力とは、どのような力を指すのでしょうか。「好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、意欲や興味・関心はとても大切だと思っています。自己肯定感なども育むと書かれていますので、学習意欲なども大切にしていただけるのだと思っていますが、そのように捉えてもよろしいでしょうか。	②	「確かな学力」は、知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等までを含めたものであると捉えています。一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、多様で豊かな体験活動等を取り入れながら、数値では図ることができない力も育んでまいります。	57
2	学力の育成には、知識や技能の習得だけでなく、自ら課題を見つけ、学ぼうとする意欲や姿勢が欠かせません。幼児期から中学生までの一貫した教育の中で、学びに向かう力を育てることが、将来の自立した学びにつながります。子どもが安心して挑戦できる環境づくりを、ぜひ大切にしていきたいと思います。	③	知識や技能の習得に加え、課題を見つけて主体的に学ぶ力は、将来の自立した学びの基盤となります。幼児期から中学生までの一貫した教育の中で、子どもが安心して挑戦できる環境づくりを大切にし、学びに向かう力の育成に努めてまいります。	58
3	学力だけでなく様々な体験活動を取り入れることで非認知能力の育成を図ることに期待しています。	③	体験活動を通じて非認知能力を育むことは、子どもの豊かな人間形成にとって重要です。今後も多様な活動を通じて、学習意欲や自己肯定感、自己調整力等の力を育む教育環境の充実に努めてまいります。	59
4	「遊びから学びへの接続」は、発達の連続性を意識した教育のあり方として非常に意義深いです。生活科や総合的な学習の時間を通じて、子どもたちの探究心や主体性が自然に育まれるような授業づくりを期待します。	③	「遊びから学びへの接続」は、発達の連続性を踏まえた教育の重要な視点です。幼児期の子どもたちは、遊びを中心としたさまざまな体験を通じて、興味・関心、表現力、規範意識等の学びの芽生えを育んでいます。このような幼児期の経験や学び、育ちを、小学校生活科を中心につなぎ、探究心や主体性のさらなる育成につなげてまいります。	60
5	ICTを効果的に活用しながら、個に応じた学びと協働的な学びの両方を支える取り組みは、これからの教育の方向性とも深くつながっていると感じます。	③	ICTの効果的な活用は、子ども一人ひとりの理解や関心に応じた学びや、時間や空間、立場をこえて協働する学びの実現にもつながります。今後も個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組の推進に向けた環境整備と実践の充実に努めてまいります。	61
6	教育課程に基づいて組織的・計画的に教育活動を見直すことで、授業の質が向上し、子どもたちの学力向上につながると感じます。学校全体で目標を共有し、継続的に改善していく姿勢が、確かな学力の育成に結びつくと思います。	③	教育課程に基づいて教育活動を組織的・計画的に見直すことは、授業の質の向上に直結し、子どもたちの学力向上にもつながる重要な取組です。学校全体で目標を共有し、日々の子どものたちの姿はもとより、客観的なデータも活用しながら取組の評価・改善を行う体制づくりを行うことで、確かな学力の育成につなげてまいります。	62
7	多様な個々の状況に応じた学びの実現に感謝と期待をしております。	②	一人ひとりの状況や背景に応じた学びの実現は、すべての子どもが自分らしく力を伸ばすための土台となります。今後も、学びの多様性を尊重しながら、柔軟で包摂的な教育環境の整備に努めてまいります。	63

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

③ 学力の育成

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	教科等の特質を生かした横断的な学びは、知識の定着だけでなく、学びの意味づけや応用力の育成にもつながります。子どもたちが「なぜ学ぶのか」を実感できる授業づくりを追求して行ってほしいです。	③	教科の特質を生かした教科等横断的な学びは、知識の活用場面を広げ、子どもたちが学ぶことの意味を実感するうえで重要な役割を果たします。今後も、教科間のつながりを意識した授業づくりを通じて、子どもたちが自らの学びを深め、応用する力を育めるよう取り組んでまいります。	64
9	子どもたちが夢をもち、それに向かって挑戦できるような教育環境の構築を今後も期待しています。	③	子どもたちが自分の可能性を信じ、夢に向かって挑戦できるような教育環境の整備は、これからの教育において欠かせない視点です。一人ひとりの興味や関心を尊重しながら、挑戦を支える学びの場づくりに、今後も力を注いでいきたいと考えています。	65
10	言語能力や問題解決能力などの基盤的な力は、すべての教科の学びを支える重要な要素です。これらの力を意識した教育課程の編成は、子どもたちが自ら考え、学び続ける力を育むうえで欠かせないと感じます。	③	子どもたちが自ら考え、学びを深めていくためには、すべての教科において言語能力や課題解決能力といった学習の基盤となる資質・能力の育成が不可欠です。今後も教育課程の編成段階からこれらの資質・能力を重視し、教科等横断的な視点を取り入れながら、子どもたちの主体的な学びを支える教育の充実に努めてまいります。	66
11	幼児期の「遊び」は、小学校や中学校の学びにどうつながるのですか	②	幼児期の遊びは、子どもが自発的に環境と関わりながら、思考力や創造力、協働する力を育む重要な活動です。これらの力は、小学校の生活科を中心とした合科的・関連的な指導によって、教科の学びへと円滑につながります。遊びの中で育まれた探究心や主体性が、教科横断的な学びの土台となります。今後も子ども一人ひとりの興味や関心を生かした学びへとつなげていきたいと考えています。	67
12	「教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくり」を強く意識して、誰もが安心して落ち着いて学習に取り組める環境を作ってほしいです。また、授業の中で、子どもたちが輝ける場面をたくさん作ってあげてほしいです。	③	授業の中で、教科の指導と生徒指導を一体的に捉えることは、子どもたちが安心して学びに向かうための土台となります。学習内容の理解だけでなく、なかまとの関わりや自己肯定感を育む場面を意図的に設けることで、子どもたちが自分の力を発揮し、輝ける瞬間を積み重ねていくことができます。今後も、すべての子どもが落ち着いて学習に取り組める環境づくりと、個の良さが生きる授業づくりに努めてまいります。	68
13	探究的な学びや教科横断的な授業づくりなど、子どもたちの主体性を育む方向性が明確で、とても心強く感じました。特に、非認知能力との関連を意識した授業改善や、カリキュラム・マネジメントの充実は、今後の教育の質を高める上で重要だと思います。児童生徒の声を活かした授業づくりや、教員への支援体制のさらなる強化にも期待しています。	③	探究的な学びや教科等横断的な学びは、興味・関心や学びの有用感を育むなど、子どもたちの学びに向かう力の育成につながります。こうした学びの充実に向けた授業づくりを進めるとともに、教職員を支える環境整備についても進めてまいります。	69
14	これからの時代、社会に出ていく子どもたちに必要な資質・能力を育むためにさまざまな取組をしてくださり、ありがとうございます。子どもの学びと同じくして、教職員の学びを進めていただいていることに感謝しております。	②	これからの社会を生きる子どもたちに必要な力を育むためには、教育現場の工夫と挑戦が欠かせません。そのためにも、教職員自身が学び続け、実践を振り返りながら成長していく姿勢が重要です。今後も、子どもと教職員の双方の学びが響き合うような環境づくりを進め、教育の質の向上に努めてまいります。	70

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

③ 学力の育成

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
15	学校・家庭・地域の一体的な体制の下で、探究的な学びとカリキュラム・マネジメントを進め、幼小中の接続まで見据える方向性に期待しています。	③	子どもたちの主体的な学びを支えるためには、学校だけでなく、家庭や地域と連携した体制づくりが不可欠です。幼児期から中学校までの教育の接続を意識した取組を進めるとともに、コミュニティ・スクールを核に学校・家庭・地域がそれぞれの強みを生かし、子どもたちの学びや成長を多面的に支える環境づくりに努めてまいります。	71
16	これからの社会で一層重要だと思われる非認知能力について言及がなされているところがよい。	②	学びの過程で育まれる粘り強さ、協働性、自己調整力などの非認知能力は、これからの社会を生きる子どもたちにとって欠かせない資質・能力です。これらを意識した授業改善や教育課程の工夫を進めることで、知識・技能の習得とともに、より豊かな人間的成長を支える教育の実現をめざしてまいります。	72
17	活動指標に置いていますが、成果指標でもいいような指標だと感じました。	③	成果指標とする方が自然な指標であると思います。一方で、成果指標を「標準学力調査の標準スコア」とした際に、活動指標の一つとしては「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいるか」が考えられますが、より客観性のある指標を設定したいと考えました。そこで、児童生徒質問調査の本質問の肯定的回答の割合が高くなればなるほど授業改善が進んでいると捉えることができると考え、指標を設定しました。なお、全国学力・学習状況調査における本質問の肯定的回答と教科に関する調査の平均正答率には相関関係が見られます。	73

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

④ グローバル教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	グローバル化が進む社会の中で、異なる文化や価値観を理解し、尊重する姿勢はますます重要になっています。幼児期から中学生までの教育の中で、多様な背景を持つ人々と出会い、違いを前向きに受け止める力を育むことが、共に生きる力につながります。互いを認め合える学びの場づくりを、ぜひ進めていただきたいと思います。	③	グローバル化が進展する現代社会において、異なる文化や価値観を理解し尊重する姿勢を育むことは、非常に重要な課題であると認識しております。特に、幼児期から中学生までの教育において、多様性を前向きに受け止める力を育てることは、共に生きる力を養う上で欠かせない要素です。今後も、異なる背景を持つ人々との出会いや交流を通じて、互いを認め合う学びの場づくりを推進してまいります。	74
2	「聞く・話す・読む・書く」の4技能を統合した言語活動は、単なる知識の習得ではなく、実際の場で使える英語力の育成に直結すると思います。ICTを活用した個別学習や家庭学習の充実により、子どもたち一人ひとりのペースに応じた学びが可能になる点も魅力的だと思いました。	②	「聞く・話す・読む・書く」の4技能を統合した言語活動は、実際のコミュニケーションに生かせる英語力の育成に直結するものであり、非常に重要な視点であると認識しております。また、ICTを活用した個別学習や家庭学習の充実により、子どもたち一人ひとりの学習スタイルやペースに応じた柔軟な学びが可能になる点も、大変有意義であると考えております。今後も、実践的な言語活動の充実とICTの効果的な活用を通じて、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを支える教育環境の整備に努めてまいります。	75
3	小学校のアンケートや中学校の外部検定試験を通じて、子どもたちの学習状況を客観的に把握し、指導改善につなげる流れは、学力向上に向けた実践的なサイクルとして非常に有効であると感じました。データに基づいた指導は、よりの確な支援を可能にするとします。	②	小学校のアンケートや中学校の外部検定試験を通じて、子どもたちの学習状況を客観的に把握し、指導改善につなげる取組は、学力向上に向けた実践的なサイクルとして非常に有効であると認識しております。ご指摘のとおり、データに基づいた指導は、子ども一人ひとりに応じた、よりの確な支援を可能にする重要な手段です。今後も、客観的なデータを活用しながら、教育現場での指導の質の向上を図り、子どもたちの学びをより確かなものにしていけるよう努めてまいります。	76
4	イングリッシュキャンプやイングリッシュデイなど、子どもたちが授業以外で英語や文化に触れる機会があり素晴らしいと思いました。	②	English CampやEnglish Dayなど、授業以外で英語や異文化に触れる機会は、子どもたちの英語への興味・関心を高め、実際のコミュニケーション力を育む上で非常に有意義であると考えております。こうした体験的な活動を通じて、「英語を使う楽しさ」を実感できることは、今後の学びにも大きな影響を与えるものです。English Dayに関して、現在実施している学校に加え、今後はより多くの学校で取り組みが行えるように努めまいります。	77
5	CAN-DOリストの共有やICTを活用した校区内の連携は、学習目標の接続や活動の継続性を高める上で効果的です。小中学校の連携が強まることで、子どもたちは学びの流れを途切れさせることなく、着実に力を伸ばして欲しいと思います。	②	CAN-DOリストの共有やICTを活用した校区内での連携は、学習目標の接続や活動の継続性を高める上で、非常に効果的な取り組みであると認識しております。小中学校の連携が強まることで、子どもたちが学びの流れを途切れさせることなく、着実に力を伸ばしていける環境づくりが可能になります。今後も、ICTの活用を含めた小中連携のさらなる強化を図り、子どもたち一人ひとりの学びを支える仕組みづくりに取り組んでまいります。	78
6	ICTを活用した学校間交流や地域・海外とのつながりは、子どもたちが多様な価値観に触れる貴重な機会となります。どの地域に住んでいても取り組める内容になると考えるので、積極的に活用してほしいです。	②	ICTを活用した学校間交流や地域・海外とのつながりは、子どもたちが多様な価値観に触れる貴重な機会となり、グローバルな視野を育む上でも非常に有意義な取組であると認識しております。ご指摘のとおり、ICTの活用により、地域に関係なく交流が可能となる点は大きな魅力です。今後は、より多くの地域・学校でこうした取組が実施できるよう、環境整備や支援体制の充実を図りながら、積極的に推進してまいります。	79

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

④ グローバル教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
7	今年、English Campに子どもが参加しました。体験的な活動を通じて、英語を使って人と関わる楽しさを実感していました。これからも継続してもらい、子どもの英語力を育むことはもちろん、国際社会で主体的に行動する力が育まれると嬉しいです。	②	子どもが体験的な活動を通じて、英語を使って人と関わる楽しさを実感することは重要です。こうした経験は、英語力の向上だけでなく、国際社会で主体的に行動する力を育む貴重な機会となります。今後も、English Campをはじめとする体験型の英語活動を継続・充実させ、より多くの子どもたちが参加できるよう、実施校の拡大や支援体制の整備に努めてまいります。	80
8	多文化理解と協働力を育て、外国語教育の系統性を確保し、交流・体験を重ねる設計に賛同いたします。	②	多文化理解や協働力の育成、外国語教育の系統性の確保、そして交流・体験を重ねる教育設計の取組は、子どもたちが異なる文化や価値観を尊重しながら、主体的に学び、将来の国際社会で活躍する力を育む上で、非常に重要であると考えております。今後も、体験的な活動や交流の機会を充実させながら、系統的な外国語教育の推進に努めてまいります。	81
9	ALTやESTの方と児童生徒が実際に英語を使ってコミュニケーションをとることができることは非常に有益なことだと感じます。また、教員がALTやESTとやりとりすることで教員自身の英語運用力も向上すると思います。外国語を担当する教員だけでなく、全ての教員がALTやESTと交流する姿を児童生徒に見せることで児童生徒の主体的にコミュニケーションをとろうとする姿勢も育まれると感じます。	③	ALTやESTとの実際のコミュニケーションを通じて、児童生徒が英語を使う楽しさや実践的な力を身につけることは、非常に有益な取組であると認識しております。また、教員自身がALTやESTとやりとりすることで英語運用力が向上し、児童生徒にとっても、教員が積極的に英語を使う姿を見ることが、主体的にコミュニケーションをとろうとする姿勢の育成につながると考えております。今後も、外国語を担当する教員に限らず、すべての教員がALTやESTと協働し、児童生徒にとって前向きな学びのモデルとなるような環境づくりを進めてまいります。	82
10	ICTの活用が進み、さまざま国の文化に触れることができることがすばらしいと思います。	②	ICTの活用が進むことで、子どもたちがさまざまな国や地域の文化に触れることができるようになり、非常に意義深い学びの機会が広がっていると認識しております。こうした体験は、多文化理解を深めるだけでなく、異なる価値観を尊重する姿勢や、国際的な視野を育むことにもつながります。今後も、ICTを効果的に活用しながら、地域に関係なく多様な文化に触れられる教育環境の整備を進めてまいります。	83
11	小学校での外国語活動や外国語教育の目標や内容が、中学校での外国語科に円滑に接続されるために、小中学校の教員間で目標や行った内容をしっかりと引き継ぎ、継続的に児童生徒の英語力を育成し、実践的なコミュニケーション力や国際対応能力を育んでいただきたいと思います。	②	小学校での外国語活動・外国語教育と中学校での外国語科との円滑な接続は、児童生徒の英語力を継続的に育成する上で非常に重要であると認識しております。小中学校の教員間で目標や実施内容をしっかりと共有・引き継ぐことで、学びの流れを途切れさせることなく、実践的なコミュニケーション力や国際対応能力を育むことが可能になります。今後も、小中連携の強化を図りながら、児童生徒一人ひとりの成長を支える教育環境の充実に努めてまいります。	84
12	ICTを活用して、海外の同年代の子どもたちとやりとりする様子を参観したことがあります。相手のことを知りたい、自分のことを伝えたいという思いを持って活動する姿を見て、やはり体験に勝るものはないと感じました。このような取り組みがさらに広がると良いと思いました。	②	子どもたちが「伝えたい」「知りたい」という気持ちを持って英語を使っている姿は、まさに学びの原点であり、体験の力の大きさを感じさせるものです。こうした取組がさらに広がり、より多くの子どもたちが実際に英語を使って人とつながる楽しさを味わえるよう、今後も環境づくりに努めます。	85

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

④ グローバル教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
13	教科として学ぶだけでなく、実際に使う場面を通じて学ぶことは、子どもたちの言語運用能力や学習意欲の向上に大きく寄与すると思います。日常の授業や学校生活とつなげられる工夫がされることを期待しています。	②	外国語を教科として学ぶだけでなく、実際に使う場面を通じて学ぶことは、子どもたちの言語運用能力や学習意欲の向上に大きくつながると考えております。日常の授業や学校生活の中で、英語を使う機会を自然に取り入れていく工夫は、より実践的な力を育む上でも重要です。今後も、教科の学びと実体験がつながるような取組を広げ、子どもたちが主体的に言語を使える環境づくりに努めてまいります。	86
14	これからの時代、人と人とのコミュニケーションはより重要になってくると思います。さまざまな価値観、文化的背景の異なる人との交流が子どもたちの成長に欠かせないと思います。	②	これからの時代において、人と人とのコミュニケーション力を育てることはますます重要になってくると考えております。異なる価値観や文化的背景をもつ人との交流は、子どもたちの視野を広げ、柔軟な考え方や協働する力を育む大切な機会です。今後も、子どもたちが多様な人々と関わりながら、互いを理解し尊重する力を育めるような教育活動を充実させてまいります。	87
15	日本の文化を大切にしつつ、様々な国の文化も認められるような人材育成をお願いします。	②	グローバル化が進む中で、異なる文化や価値観を持つ人々との交流は、子どもたちの視野を広げ、柔軟な思考や協働する力を育むうえで非常に重要です。自国の文化を理解し大切にすることは、他者の文化を尊重する姿勢の基盤となります。今後も、日本の文化への理解と誇りを育みながら、世界の多様な文化にも触れられるようなグローバル教育の充実に努めてまいります。	88



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑤ 教育の情報化の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	ICTを活用できる力やさらに新たな何かを生み出す力は、今後の社会において必要なものだと思います。またよく取り上げられる教員の働き方の面でも教育の情報化はとても有効なものになると考えます。一方で、授業の中では昔ながらの紙と鉛筆の勉強が有効な場面や子供がタブレットとにらめっこをしているのではなく他の子供と顔を合わせて学習することが大切な場面もあると思うので、「効果的な活用」を進めていただけるといいなと思います。	②	ICTの活用は、子どもたちが未来の社会で必要な力を育むうえで重要であると認識しており、また、子どもたちの学習・生活の状況や心身の健康状態等が整理されることで、これまで気付かれにくかったことに気付け、より個別最適な支援を行うことができると考えます。一方で、紙と鉛筆を用いた学習や子どもたち同士での対話を通じた学びも欠かせないものです。これからも目的や場面に応じた効果的な活用を推進してまいります。	89
2	教育の情報化が進む中で、デジタル教材やICTの活用が広がっていますが、子どもたちの発達段階や学びの目的に応じて、アナログな体験とのバランスをどう考えるべきでしょうか。	③	ご指摘の通り、教育の情報化を進める中で、デジタルとアナログのバランスは非常に重要な課題です。子どもたちの発達段階や学習の目的・内容に応じて、紙に書く・見る・触れるといった体験が持つ良さと、ICTの利点を使い分ける指導の工夫が求められます。今後も研究を進め、バランスを大切にしていまいります。	90
3	情報モラルやデジタル・シチズンシップ教育の充実は、ICTを安全かつ効果的に活用するための基盤であり、重要であると思います。情報を正しく理解し、発信する力を育てることで、子どもたちはデジタル社会の中でも主体的に行動できるようになってほしいですね。	③	情報モラルやデジタル・シチズンシップ教育の充実は、ICTを安心・安全に活用するための基盤です。情報を正しく理解し、責任をもって発信できる力を育て、子どもたちがデジタル社会の中で主体的に生きる力を育ててまいります。	91
4	松阪市が導入しているLTEモデルは、Wi-Fi環境が無くても家庭学習でICTを活用することができ、学校での学びとつながりをもたせながら、子ども一人ひとりが自分のペースで学習を進めることが可能になっていると感じます。子どもたちが「自分の学びを自分でつくる」力を育むためには非常に有効だと感じます。	③	セルラーモデルの導入により、Wi-Fi環境が整っていない家庭でもICTを活用した学びが可能となり、学習の継続性が高まりました。子ども一人ひとりが自分のペースで学びを進め、「自らの学びを自らつくる力」を伸ばしていけるよう支えていきます。	92
5	LTEモデルを導入しているおかげで、家庭の環境に左右されることなく一人ひとりに応じた学びを進められていると思います。誰もが使える環境だからこそ、情報を正しく理解し、発信する情報活用能力の育成が重要だと感じます。	②	引き続き、子どもたちにとってより良いICT環境の整備を進めるとともに、情報を正しく理解し、適切に発信できる情報活用能力の育成を重視します。学びの質を高めるため、ICTを活用した個別最適な学びや協働的な学びを推進し、子どもたちが安全で主体的に情報を扱える力を育ててまいります。	93
6	子どもたちがICTを活用することにより、教育の幅が広がることを期待します。	③	子どもたちがICTを日常的な文房具として自然に活用できる環境を整え、学びの幅を広げます。個別最適な学びや協働的な学びを充実させるとともに、情報を正しく理解し、適切に活用・発信できる力を育成し、主体的に学びを深められるよう取り組みます。	94
7	情報社会を生きる子どもたちにとって、情報を正しく扱い、主体的かつ責任ある態度で発信・受信する力を育むことは極めて重要と感じます。単なるルールの理解にとどまらず、情報の信頼性を見極める力や、他者との関係性を意識した発信の在り方が学べることを期待しています。	③	情報社会において、主体的に考え、責任をもって行動する力を育むことは重要です。単なるルール理解にとどまらず、情報の信頼性や他者との関係性を意識した発信について、子どもたちが深く考え学べる機会を充実させてまいります。	95

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑤ 教育の情報化の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	教育データの利活用や情報モラル教育の充実は、これからの時代に必要不可欠な取り組みだと思います。今後は、教員のICT活用力向上に向けた支援や、家庭との連携のあり方についてもさらに具体化されることを期待しています。	③	子どもたちの情報活用能力を育成するため、教育データの利活用や情報モラル教育の充実を進めます。それを支えるため、教職員のICT活用力向上に向けた研修を強化し、学校と家庭が連携して子どもたちの安全で適切な情報活用を支援できる仕組みづくりを進めます。さらに、ICTを活用した学びの質を高めるため、指導方法や教材の工夫も具体化していきます。	96
9	子どもたちにとって一人一台端末が学びに欠かせないものとなったことを実感しています。教育環境の公平性を保つためにもセルラーモデルの継続をお願いします。	③	引き続き、教育環境の公平性を確保するため、一人一台端末の活用を支えるICT環境の維持・向上を進めます。特に、セルラーモデルの利点を活かし、家庭の通信環境に左右されることなく、すべての子どもが安心して学びに取り組める環境を整えます。また、ICTを活用した学びの質を高めるため、情報モラル教育や教職員研修の充実にも取り組みます。	97
10	ICT環境の整備や教育データの活用が進められている点は、教育の質向上に向けた前向きな取り組みだと感じます。今後は、子どもたち自身がICTを活用して学び方を工夫したり、情報を適切に扱う力を育てたりできるよう、情報モラルやデジタル・シチズンシップ教育の充実にも期待しています。	③	子どもたちがICTを正しく活用できるよう、情報モラル教育やデジタル・シチズンシップ教育の充実を進めます。併せて、教育データの利活用を通じて学びの質を高めるとともに、教職員のICT活用力向上に向けた研修や、家庭との連携を強化し、子どもたちが安全で主体的に情報を扱える力を育成してまいります。	98
11	ICTを活用した学びの個別化・個性化を進める方向に賛同します。タブレット端末やデータ分析を通して、子ども一人ひとりの理解度に応じた学びが実現できる取組は重要だと感じます。情報モラル教育の充実も含め、デジタル時代の教育を支える方針にも共感します。	③	ICTを活用して一人ひとりに応じた学びを実現することは、子どもたちの可能性を広げる大切な取組です。情報モラル教育の充実にも努めながら、デジタル時代にふさわしい学びの推進を図ってまいります。	99
12	GIGAスクール構想で環境が整った今こそ、子どもたちが情報を「使いこなす力」を育てる段階だと思います。デジタルを通じて協働し、創造的に課題解決できる力を育む取組を期待しています。	②	GIGAスクール構想により整備された環境を活かし、子どもたちが情報を主体的に扱い、協働して課題を解決する力を育てることは非常に重要です。創造的に学びを深める取組を充実させ、情報活用能力の育成を図ってまいります。	100
13	GIGAスクールの成果を踏まえた「学び×ICT」の継続的な高度化に期待します。校務の効率化と授業の質向上を両輪で進める方針を支持します。	②	ＩＣＴの利活用により校務の効率化が進み、教員の子どもに向き合う時間の確保につながるよう、引き続き取り組みを進めてまいります。	101
14	次回ビジョンでは、教育の情報化の項目はなくしてもいいような気がします。他の施策の中に入れ込んでおく方が自然な形なのでは。残すとしたら情報活用能力の育成、システム・ネットワークの整備ぐらいになるのでしょうか。	③	次期学習指導要領や国の教育政策の動向を注視しながら、教育の情報化の位置づけについて検討を進めます。必要に応じて、情報活用能力の育成やシステム・ネットワークの整備といった重要な要素を他の教育施策へ有機的に組み込み、より自然で効果的な形で反映できるよう工夫してまいります。	102

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
 （①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑤ 教育の情報化の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
15	教育活動および学校の業務へのICTの導入・活用は、教師のスキル向上やリスク面への配慮など、課題は多くあるとは思いますが、現代社会において、ICTの活用およびそれにかかわる教育は必須だと思いますので、是非進めていただきたい。	②	ICTの活用は、学びの質を高め、個別最適な学習や協働的な学びを実現するために不可欠です。引き続き、子どもの情報活用能力の育成とともに、教職員の研修やサポート体制を充実させ、安全な環境を整えます。情報モラルやセキュリティにも配慮し、ICTを効果的に活用した教育活動を推進してまいります。	103
16	ICT活用を進めることで生じ得るリスクもあることから、情報モラル教育、情報セキュリティ教育等の充実や視力低下予防など取り組みもより充実していただくようお願いします。	②	ICTの利便性だけでなく、危険性や健康面への影響も踏まえた情報活用能力の育成を進めてまいります。具体的には、情報モラル教育や情報セキュリティ教育の充実を図り、子どもたちが安全にICTを利用できる環境を整えます。また、視力低下予防や適切な利用時間の指導など、健康面への配慮も強化し、ICTを安心して活用できる教育活動を推進してまいります。	104
17	授業や家庭学習といった学習活動に、ICT を効果的に活用して、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を養うとともに、自ら課題を発見し解決していく学習を進めます。という項についての意見です。 この項では、学習の一環について述べられていると思います。 自ら課題を発見し解決していく学習の最終として、「自ら得た納得解を言語化し、発信する」を考えています。	②	ビジョンにおいても学習指導要領に記されているように、学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など、実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力などの資質・能力を育むため、ＩＣＴの活用を始め、様々な取組を進めてまいります。	105

**「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方**  
**（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）**

**⑥ 外国人児童生徒教育の推進**

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	外国につながる子どもたち一人ひとりが、安心して学校生活や社会生活を送れるように、母語スタッフさんの配置を増やしてほしいです。何か困ったことがあったときに、気軽に相談できる体制を整えて、安心して生活してもらいたいです。国際教室で頑張っている子どもたちの笑顔が増えると嬉しいです。	③	外国につながる子どもたち一人ひとりが安心して学校生活や社会生活を送れるよう、必要な支援体制を充実させることは、大変重要であると考えております。誰もが安心して学べる環境づくりを進めてまいります。	106
2	母語スタッフの配置は、外国人児童生徒が安心して学校生活を送るための大きな支えとなっています。また言語面だけでなく、文化的な背景への理解を深めることで、子どもたちが自分らしく学び、生活できる環境が整ってきていると感じます。	③	母語スタッフの存在は、言葉や文化の壁を感じやすい外国人児童生徒にとって大きな支えとなります。言語面だけでなく、文化的背景への理解を深めながら、誰もが安心して自分らしく学べる環境づくりを進めてまいります。	107
3	「いっば教室」や「ふたば教室」がこれからも継続されることを期待します。	②	「いっば教室」や「ふたば教室」は、外国籍児童生徒の適応支援において重要な取組と考えています。今後もその意義を踏まえ、継続的な運営と支援の充実に努めてまいります。	108
4	授業参観で異文化交流の授業がありました。子どもたちが異なる文化に触れることで、他者を尊重する姿勢や広い視野を育むことができ、学校が多様性を育む教育の場として着実に根付いている様子が見られました。これからも、大切にしていってほしいと思います。	③	子どもたちが異なる文化に触れ、互いを尊重し合う姿勢を育む学びは、これからの社会に必要な力を養う大切な取組です。多様性を認め合う教育の場として、異文化理解を深める活動を継続してまいります。	109
5	ICTを活用した学習支援は、外国人児童生徒の日本語学習や教科学習への参加意欲を高めるうえで非常に効果的です。今後は、教員が子どもの実態に応じてさらに柔軟かつ的確にICTを活用できるようになるといいなあとと思います。	③	ICTを活用した支援は、日本語や教科学習への参加意欲を高め、学びの可能性を広げる効果があります。子ども一人ひとりの実態に応じ、より柔軟で効果的なICT活用を進めてまいります。	110
6	進路ガイダンスや戸別訪問による就学実態調査など、外国人児童生徒とその保護者へのきめ細かな支援が進められていることは、教育の継続性と将来への展望を支える上で、非常に大切なことではないでしょうか。	③	外国人児童生徒とその保護者に対するきめ細かな支援は、教育の継続性を保障し、将来の見通しを支えるうえで大切です。学びの途切れを防ぎ、安心して学校生活を送れるよう、丁寧な支援を続けてまいります。	111
7	今後も来日する外国人児童生徒が増加傾向にあることから、さらに充実できるよう期待します。	③	外国人児童生徒の増加傾向を踏まえ、支援の充実を図ることは重要と考えています。今後も日本語学習や適応支援をさらに充実させ、安心して学べる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。	112
8	年々外国籍の園児が増加してきています。私自身、保育園勤務であることから、遊びを通して相手を知り、理解し合える喜びを感じていけるように保育しています。その遊びも多国籍文化に幼き頃から互いに触れ合い、母国の良さを知り合える機会を経験していくことが大事です。	③	多国籍文化に幼少期から触れ、互いの母国の良さを理解し合う機会は重要であると認識しています。今後、異文化理解を深める教育活動の充実に向け、取組の参考とさせていただきます。	113

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑥ 外国人児童生徒教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	日本語を生活言語として使えたとしても、学習言語として使えるようになるまでには時間がかかると思います。母語スタッフさんの配置が増えると、外国につながる子どもの学びはより一層充実すると思います。	③	生活言語と学習言語の習得には時間を要すること、母語スタッフの配置が学びの充実につながるという視点は重要です。今後も日本語指導体制の強化とともに、母語支援の充実に向けて取り組んでまいります。	114
10	多様な文化的背景をもつ子どもたちが共に学ぶ学校において、互いを尊重し、協働する力を育むことが重要であると思います。文化的な違いを理解し合う教育の充実が図られることを期待しています。	③	多様な文化的背景をもつ子どもたちが共に学ぶ学校において、互いを尊重し、協働する力を育むことは非常に重要だと考えています。文化的な違いを理解し合う教育の充実を図り、誰もが安心して学び合える環境づくりに努めてまいります。	115
11	多様な文化や言葉をもつ子どもたちが互いに学び合い、支え合う環境が整えられていることを心強く感じます。多文化が豊かさとなるよう、誰もが自分の力を発揮できる学びの場づくりを今度も進めてほしいです。	③	多様な文化や言葉をもつ子どもたちが互いに学び合い、支え合う環境は、多文化共生の基盤となります。違いを認め合い、それぞれの力を生かして共に成長できる学びの場をこれからも大切にしていまいります。	116
12	JSL等の日本語指導と学級での学びを両立し、地域と連携して多文化共生を進める考え方を高く評価します。	③	JSLカリキュラムによる学習に参加するための学ぶ力の育成や、地域と連携して進める多文化共生の考え方は、今後の取組において非常に重要な視点です。これらを踏まえ、教育活動の充実に引き続き努めてまいります。	117
13	外国につながる全ての子どもたちが、安心して学校生活を送れることを期待します。	③	外国につながるすべての子どもが安心して学校生活を送れることは、教育委員会としても非常に重要と考えています。今後も日本語指導や適応支援を充実させ、安心できる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。	118
14	いっぽ教室は、日本に来て間もない外国籍の子どもたちが、日本語を学びながら、母語で安心して話せる場です。生活に必要な言語を習得できるだけでなく、精神的な安定にもつながるため、非常に意義のある取り組みだと思います。	②	外国籍の子どもが母語で安心できる場の意義や精神的な安定は、非常に大切なことだと考えています。今後も日本語学習や適応支援とあわせて、母語を尊重した環境づくりに引き続き取り組んでまいります。	119
15	派遣回数、成果指標として適切でしょうか。	①	誤解を招く恐れがあるため、22ページの成果指標の表現を次のように修正します。また、併せて現状値・目標値も修正します。 多文化共生の視点に立った人権学習への講師派遣回数 →専門人材を活用し、多文化共生の視点に立った人権学習を行った学校数	120

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
 （①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑦ 特別支援教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	一人ひとりの特性や個性に合わせた支援をするために、また、子どもたちが安全に安心して学校生活を送れるようにするために、アシスタントさんの存在はとても大きいのかなと感じます。	②	子どもたちが安心して学校生活を送るためには、一人ひとりの特性や個性に応じたきめ細かな支援が欠かせません。その中で、支援員やアシスタントの存在は、学習面だけでなく、心の安定や人間関係の形成にも大きな役割を果たしています。今後も、子どもたちが自分らしく学びに向かえる環境づくりを支える人材の充実と、学校全体での支援体制の強化に努めてまいります。	121
2	副籍を置き、交流や共同学習を行うことはとてもいいことだと思います。すべての子どもたちが、様々なつながりを大切にしながら過ごしてほしいです。	③	副籍による居住地の学校との交流は、子どもにたちにとって大変貴重な機会です。子どもたちがつながりを感じ、互いに認め合える関係を築けるよう、交流の充実を図ってまいります。	122
3	「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、進級や進学時に引き継ぐことで、子ども一人ひとりに途切れない支援を提供する取り組みは非常に重要です。こうした計画があることで、子どもの学びや生活が安定し、安心して成長できる環境が整うと感じます。	③	個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、進級・進学時に引き継ぐ取組は、子どもの成長を支える大切な仕組みです。一人ひとりの学びや生活につながるよう、計画的で継続的な支援を行ってまいります。	123
4	特別支援学級に在籍する児童生徒数の増加に伴い、さらにきめ細かな指導を期待します。	②	一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援ができるよう、体制の充実と専門性の向上に努めてまいります。特別支援学級に在籍する児童生徒の増加に対応し、個別の学習計画や合理的配慮を丁寧に行うとともに、ICTの活用や関係機関との連携を強化し、きめ細かな支援を実現します。すべての子どもが安心して学べる環境づくりを進めてまいります。	124
5	動画教材やデジタル教科書などICTを活用した指導は、子どもの特性に応じた学びを支える手段の一つだと思います。学習意欲を高めるだけでなく、理解を深める工夫として、今後さらに充実していくことを期待します。	③	動画教材やデジタル教科書等を活用した指導は、子どもの学習への理解度を高め、意欲を高める有効な手立てです。一人ひとりの特性や学びの進度に応じた活用を進めながら、ICTを効果的に取り入れた授業づくりをさらに充実させてまいります。	125
6	特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参画に向け、より一層の支援をお願いします。	②	一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、個別の教育支援計画の充実や、生活・学習両面でのきめ細かな指導を行うとともに、地域や関係機関との連携を強化など、特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参画に向けた取組を進めてまいります。	126

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑦ 特別支援教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
7	我が子は副籍を活用し、地域の学校に年に数回通っています。運動会などの行事を参観すると、交流した子どもたちが声をかけてくれ、我が子も地域とのつながりを感じてうれしそうです。このような交流は、子どもにとって大きな安心と喜びにつながっていると感じます。	③	副籍による居住地域の学校との交流は、子どもに安心感や自信を与える大切な機会です。 子どもたちが地域とのつながりを実感し、互いに認め合える関係を築けるよう、交流の充実を図ってまいります。	127
8	支援を必要とする園児が、増加してきています。幼き頃の経験不足や愛着関係も関係して、一人ひとり丁寧に寄り添い関わっていくことが大事です。保護者の規定人数ではフォローしきれていないのが現状です。その現状の中でも自分たちに何ができるかを模索しています。その模索こそ、園児を大切にしていけることにつながっていくと信じて保育しています。このような現状だからこそ、更なる連携が大切になってくるのだと感じています。	③	子どもたち一人ひとりに丁寧に寄り添い関わっていただいた体験を基盤に、就学前から途切れない支援に取り組みます。保護者や園と学校の連携を強化し、専門家や関係機関との協働により、発達や生活面で必要な支援を充実させます。すべての子どもが安心して成長できる環境づくりを進め、自分らしく学び、社会につながる力を育めるよう取り組んでまいります。	128
9	インクルーシブ教育についての言及がなされていません。世界的な流れでもあるしSDGSの基本的な概念にもなっているはずです。もちろんすぐに実現は困難でしょうが、教育ビジョンであるのならこのことは必要かと思います。	①	令和4年に策定された松阪市教育ビジョンにもあるように、それぞれの子どもが、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうかという視点で、合理的配慮を含め、支援内容や支援体制の検討及び改善を進めてきました。これからも、平成26年に批准した「障がい者の権利に関する条約」において提唱されているインクルーシブ教育システムの理念の実現に向けて、児童生徒一人ひとりが障がいの有無やその他の個々のちがいを認め合いながら、共に学ぶことを追求するインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進していきます。そこで、23ページを次のように修正します。  →障がい者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念を構築し、特別支援教育を進展させていくために、引き続き、連続性のある多様な学びの場の一層の充実・整備を着実に進めます。	129
10	「生活や学習上の困難を克服するため」という文言が使われているのが気になります。「克服する」の主体は誰と解釈しますか。もし子どもでもあるのなら、まだ障がいに対する古い概念にとらわれていると言わざるを得ません。現在の障がいの社会モデルでは、障がいを克服するという考えは否定されているはずです。国連の障がい者の権利条約や、障がい者差別解消法も社会モデルの概念で障がいをとらえています。したがってこのような文言は使用せず、別の言い方に変えた方がよいかと思います。もちろん生活や学習の困難を解消するための支援や指導を否定するものではありません。	①	学校においても「全ての教職員がICF（国際生活機能分類）の考え方を念頭に置いて、障がいによる生活や学習上の困難を本人の立場に立って的確に捉え、児童生徒が現在行っていることや、指導すればできること、環境を整えればできること等に一層目を向け、必要な支援の内容を一緒に考えていけるよう、支援と指導の充実を図ってまいります。そこで、23ページを次のように修正します。  →特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援の充実を図ります。	130
11	障がいのある子どもたちの学びを支えるためには、障がいの特性に応じたICTの活用が重要だと考えます。ICTは、個々のニーズに合わせた学習支援を可能にし、学びの可能性を広げる有効な手段の一つだと考えます。 また、巡回相談については、教員だけでなく保護者との連携が不可欠です。保護者の視点や家庭での様子を踏まえた支援が、より効果的な教育につながると考えます。学校と家庭が協力し合うことで、子どもにとって安心できる学びの環境が整うことを期待しています。	③	ICTを活用した学びを積極的に活用し、より柔軟で効果的な学びの環境の整備を進めていきます。 専門相談員による巡回相談では、保護者相談を受けていただくこともできることから、学校と家庭が力を合わせ、子どもの自立と社会参画に向け取組を進めてまいります。	131

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑦ 特別支援教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
12	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の充実を図る取組に賛成します。校内支援体制の整備や関係機関との連携を進め、すべての子どもが安心して学べる環境を整える方向性に共感します。よりインクルーシブな教育実現が進んでいくことを期待します。	③	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の充実は、すべての子どもが安心して学ぶための基盤です。校内支援体制や関係機関との連携をさらに深め、よりインクルーシブな教育の実現に努めてまいります。	132
13	特別支援教育は教育の原点と伺ったことがあります。ここでの取組をすべての子どもたちのために広げていていただきたいです。	③	発達是一律ではなく多様であることを認識し、一人ひとりの個性に応じた対応を工夫しながら子どもたちが安心して成長できるよう努めてまいります。	133
14	早期からの適切な支援と合理的配慮、通級等の柔軟な学びの場の整備により、子ども一人ひとりに寄り添う姿勢が伝わり安心です。	②	多様な学びの場の整備を進め、早期からの適切な支援と合理的配慮を充実させてまいります。通級による指導や個別の教育支援計画に基づく指導を丁寧に行い、一人ひとりの教育的ニーズに応じた柔軟な学びを保障します。また、専門性を高める研修や関係機関との連携を強化し、子どもが安心して学べる環境づくりを推進してまいります。	134
15	特別支援学級在籍、特別な支援を必要とする子どもが増加していることから、学校生活アシスタントやメディカルサポートアシスタント等の人材もより配置していく必要があると思います。	②	特別な支援を必要とする児童生徒について、適切な支援が行えるよう、人材の確保と配置に努めてまいります。学校生活アシスタントやメディカルサポートアシスタントなど、専門性を持ったスタッフの配置を進めるとともに、教職員との連携を強化し、学習面・生活面の両方で安心できる環境づくりに取り組み、すべての子どもが自分らしく学べる体制の充実をめざしてまいります。	135
16	特別な支援を必要とする子どもたちが落ち着いて学習に取り組めるよう、学校生活アシスタントやメディカルサポートアシスタントの配置に向けて今後も取り組んでいただくようお願いします。（P 24、15行目）	②	個々の支援を要する状況に応じて、学校生活アシスタントやメディカルサポートアシスタントなどの人材配置に努めていきます。教職員との連携を強化し、学習面・生活面の両方で子どもたちが安全・安心して過ごせる環境づくりを進めます。また、専門性を高める研修や関係機関との協働にも取り組み、すべての子どもが自分らしく学べる体制の充実をめざしてまいります。	136



**「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方**  
**（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）**

**⑧ 道徳教育の推進**

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	子どもたちが自分と異なる考えや価値観に触れ、多様な視点で物事を考える力を育むことは、これからの社会を生きるうえでとても大切です。道徳教育においても、一つの答えにとらわれず、さまざまな立場や感じ方を尊重しながら考える機会を大切にしてほしいと思います。	③	自分と異なる考えや価値観に触れ、多様な視点で考える力を育むことは、これからの社会に必要な力と考えています。道徳教育においても、一つの答えにとらわれず、さまざまな立場や感じ方を尊重しながら考える機会を大切にまいります。	137
2	コロナ禍を経て、子どもたちの人間関係づくりに不安を感じています。授業の中で、道徳的な判断を必要とする場面を体験的に学べる活動を取り入れることは、子どもたちが「相手の立場を考える力」を育むうえで非常に効果的だと思います。単なる知識の習得にとどまらない教育の推進を図ってほしいと思います。	③	相手の立場を考え、思いやりをもって行動する力を育むことは、人間関係を築くうえで非常に大切です。体験的な活動を取り入れながら、知識にとどまらない実践的な学びを推進してまいります。	138
3	他者を思いやる心やかけがえのない自他の生命を尊重する教育に期待します。	③	他者を思いやる心や生命の尊重は、道徳教育において非常に重要な価値観であると考えています。こうした視点を大切にしながら、教育の充実に努めてまいります。	139
4	異なる立場や価値観を尊重しながら対話や議論を行うことは、子どもたちにとって大切な学びです。自分の考えを持ちながらも、他者の意見を受け止める姿勢を育てることは、いじめ防止や多文化共生にもつながると思います。	③	異なる立場や価値観を尊重しながら対話・議論を行う力は、子どもたちが多様な社会を生きるうえで不可欠であり、いじめの未然防止や多文化共生の基盤となるものです。他者と対話や議論ができる教材の工夫を行うなど、教育活動の充実に努めてまいります。	140
5	社会奉仕活動や地域住民との交流を通して「自分は役に立っている」という経験は、子どもたちの自信や責任感を育む大切な機会です。人間関係が希薄になりがちな現代社会だからこそ、こうした活動を継続し、子どもたちが地域とのつながりを実感できる場を大切にしてほしいと思います。	③	地域の中で自分の役割を見出し、「誰かの役に立っている」と感じる経験は、子どもの自信と責任感を育てます。地域社会との交流や奉仕活動を通して、子どもが人とのつながりを実感できる取組を大切にまいります。	141
6	ICTの発展に対応しつつ、人とのつながりを大切にする教育は、現代の子どもたちに必要不可欠です。地域との交流や体験活動を通じた心の育成に共感します。	③	ICTの発展に対応しながら、人とのつながりを大切にする教育は、現代の子どもたちにとって欠かせないものと考えています。地域との交流や体験活動を通じて、思いやりや協働の心を育む取組を、今後とも充実させてまいります。	142
7	いじめの防止には、知識の習得だけでなく、子どもたち一人ひとりが自分の価値観や行動を見つめ直し、他者との関係性を主体的に考える力を育むことが重要だと感じます。自分事として考える姿勢を育み、いじめの未然防止や早期対応につながることを期待しています。	③	いじめ防止には、子どもたちが自分事として考え、主体的に行動できる力を育むことが欠かせないと考えています。学校全体でこうした力を伸ばす取組を進め、未然防止と早期対応に努めてまいります。	143
8	自分や他者を大切にし、社会の一員としてよりよく生きようとする心を育てる道徳教育の充実に賛成します。多様な価値観が共存する時代において、対話的な学びや日常の中での実践を重視する方向は大変意義があります。温かい人間関係づくりを支える教育を期待します。	③	自分や他者を大切にしながら、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育は、人としての成長に欠かせません。対話を通じた学びや日常の実践を重ね、温かい人間関係づくりにつながる取組を充実させてまいります。	144
9	ネット社会の拡大に伴い、匿名性の高い環境で発言することが多くなる中で、誹謗中傷やデマの拡散など、他者を傷つける行為が数多く起こっています。道徳教育を通じて、人々に思いやりや責任感、情報の適切な利用について考える力を養うことで、健全な社会を築く基盤となり、未来のネット社会がより良くなってほしいと思います。	③	ネット社会における誹謗中傷や情報の拡散防止には、思いやりや責任感、情報を適切に扱う力を育むことが重要だと考えています。道徳教育を通じて、こうした力を伸ばし、互いを尊重し合う学びの場の実現に努めてまいります。	145
10	対話的な授業づくりを通じていじめ防止にも資する学びを進め、指標で見える化していく方針は有効だと考えます。	③	対話的な授業づくりを通じて、いじめ防止にもつながる学びを進めることは重要だと考えています。指標による見える化を含め、こうした取組を充実させ、子どもたちが安心して学び、互いを尊重し合う教育環境を築いてまいります。	146

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑧ 道徳教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
11	子どもたちが自ら考え、対話を通じて他者を思いやる心を育てる道徳教育の取組をととても素晴らしいと感じます。地域との交流や社会奉仕体験活動など、実践を通じて学ぶ機会が増えることで、子どもたちの自信と優しさがさらに育まれることを期待します。	③	道徳教育や地域交流、奉仕活動を通じて、子どもたちが思いやりや自信を育むことは重要と考えています。こうした実践の機会をさらに充実させてまいります。	147
12	社会に出て気づくのは、その人の能力以上に人柄の大切さです。道徳教育を通して豊かな人を育ててほしいと思います。	③	人柄の大切さを育むことは、道徳教育の重要な役割だと考えています。豊かな人間性を育てる取組を通じて、子どもたちが社会で信頼され、よりよい人間関係を築けるよう努めてまいります。	148
13	「今後の方向性」にあるように、答えが一つではない問いに対して、納得解を導き出す力は、本当に必要だと思います。道徳だけでなく、学校の様々な場面において、「考え、議論する」機会が増えていくことを期待しています。	③	答えが一つではない問いに向き合い、納得解を導き出す力を育むことは、これからの社会でますます重要になると考えています。道徳教育に加え、学校のさまざまな場面で「考え、議論する」機会を広げ、子どもたちが主体的に学び合う環境を築いてまいります。	149
14	人とのかかわりが希薄になってきている現代においては、社会奉仕活動や、地域住民との交流をもつなど、道徳的な価値観を実践的に学ぶ場面を意図的に設定していく必要がある思います。	③	人との交流が減少している現代において、社会奉仕活動や地域との交流を通じて、道徳的な価値観を実践的に学ぶ機会を設けることは重要だと考えています。こうした取組を広げ、学校と地域が協働する学びの環境づくりを進めてまいります。	150

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑨ 郷土教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	地域の行事や活動に参加してみると、楽しかったり、新たなつながりができて嬉しかったりしました。継続して参加していると、地域に愛着が湧いてきたり、その地域にいる自分が好きだと感じたりする瞬間があります。「関わってみる」ということが大切なのだと実感します。学校でも子どもたちが地域に関わる機会を大切にしていっていただいているので、私も地域住民として、子どもたちに関わっていきたいと思います。	③	学校でも地域と連携し、子どもたちが地域の行事や活動に参加し、地域の方々と交流できる機会をさらに充実させてまいります。こうした体験を通じて、子どもたちが地域の文化や歴史を学び、郷土への愛着を育むことをめざしてまいります。	151
2	私が生まれ育った市には、「わたしたちの松阪市」や「郷土の偉人を知る」といった本はありませんでした。時代の変化とともに教育のあり方も進化しているのだと思います。このような本を活用し、関係施設と連携して学びを深める取り組みは、子どもたちが地域の歴史や文化を身近に感じる貴重な機会となり、とても素晴らしいと感じます。	③	副読本や教材冊子を活用し、地域の歴史や文化に関する学びを深めるため、関係施設との連携を進めるとともに、子どもたちが地域の歴史や文化を身近に感じられるよう、今後も郷土教育を充実させてまいります。	152
3	子どもたちに「地域と共に生きる力」を育むことは大切です。地域の多様な人材を活用することで、教科書だけでは得られないリアルな学びが広がり、子どもたちの視野が豊かになるのではないかと思います。	③	地域の多様な人材を活用したリアルな学びは、子どもたちの視野を広げ、「地域と共に生きる力」を育むうえで重要です。今後も学校と地域が連携し、こうした機会を充実させてまいります。	153
4	松阪には数多くの偉人がいます。彼らの知恵や生き方に触れることで、自分の可能性を広げるとともに、地域社会の一員としての責任感を育んでほしいと思います。	③	松阪の偉人の知恵や生き方に触れることは、子どもたちの可能性を広げ、地域社会の一員としての責任感を育むうえで大切です。今後もこうした学びを充実させてまいります。	154
5	学校・家庭・地域が連携して郷土教育を行うことは大切だと感じます。子どもが学校で学んだ成果を家庭で発信することで保護者自身も改めて郷土の魅力に気付く機会があると感じます。	③	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが学んだ成果を家庭や地域に発信することは、郷土の魅力を再認識する大切な機会です。今後もこうした取組を充実させてまいります。	155
6	地域の人・もの・ことを理解し、郷土松阪の成長や誇りを身につけてほしいと思います。	③	地域の人・もの・ことを理解し、郷土松阪への誇りを育むことは重要です。今後もこうした学びを充実させ、子どもたちが地域と共に成長できるよう取り組みます。	156
7	松阪市と言えども広いので、その校区ごとの特色を生かした探究的な学びを展開できると素敵だと思います。地域の「人」「もの」「こと」に実際に出会って触れる体験は、子どもたちの成長にとってプラスになると思います。	③	校区ごとの特色を生かした探究的な学びや、地域の「人」「もの」「こと」に触れる体験は、子どもたちの成長にとって非常に重要です。今後もこうした取組を充実させてまいります。	157

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑨ 郷土教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	各地域にゆかりのある偉人や歴史的な出来事などを掘り起こし、学習に活用することは、地域への理解と誇りを育むうえでも非常に有意義です。こうした郷土教育の推進は、各学校の取組に委ねられている部分もあると思いますが、それを支援・指導するのが教育委員会の役割だと考えます。教育委員会には、関係各課や機関と連携しながら、地域資源を教育に活かす体制づくりを進めていただきたいです。子どもたちが自分たちの地域に誇りをもち、郷土の魅力を再発見できるような学びの場が広がることを期待しています。	③	偉人や歴史的な出来事を学習に活用することは、地域への理解と誇りを育むうえで重要です。教育委員会としても、関係機関と連携し、地域資源を生かす体制づくりを進めてまいります。	158
9	郷土愛を育み、郷土に誇りをもてる教育を今後も続けてほしいと思います。	③	郷土愛を育み、郷土に誇りをもてる教育は本市の重要な目標です。今後もこうした取組を継続し、さらに充実させてまいります。	159
10	地域の人・もの・ことを活用した探究やCSとの協働を通して、郷土への誇りと自己有用感を育む設計に共感します。	③	地域の人・もの・ことを活用した探究やCSとの協働は、郷土への誇りと自己肯定感や自己有用感を育むうえで重要です。	160
11	松阪の自然や歴史、伝統文化を学び、ふるさとを誇りに思う心を育てる郷土教育の推進に強く共感します。地域の人々との交流や体験活動を通して、子どもが自分のまちに愛着と責任をもって関わることができるようになる取組を一層進めてほしいです。	③	松阪の自然や歴史、伝統、文化を学ぶことは、ふるさとを誇りに思う心や地域への愛着を育てる貴重な機会です。地域の方々との交流や体験活動を重ねながら、郷土教育のさらなる充実を図ってまいります。	161
12	松阪の歴史や文化を学ぶことで、子どもたち自身が郷土の魅力を再発見し、誇りをもって地域の良さを伝えられるようになる取組をととても意義深く感じます。地域の方々と連携しながら、未来へと受け継がれる「松阪愛」を育む教育をこれからも推進してほしいです。	③	松阪の歴史や文化を学び、郷土の魅力を再発見し、誇りをもてるようにする取組は、本市の重要な目標です。地域と連携しながら、「松阪愛」を育む教育を今後も推進してまいります。	162
13	県外や国外に出ると故郷の大切さに気付きます。その時、郷土の歴史や偉人について語ることができ、そこから学んだことを自身の人生に生かせる人に育ってほしいと思います。	③	郷土の歴史や偉人について学び、その魅力を語れることは、故郷への誇りや自己の成長につながる大切な学びです。学校教育では、地域の文化や歴史を生かした学習を充実させ、子どもたちが郷土に愛着を持ち、そこで学んだことを人生に生かせるよう取り組みます。地域の方々との交流や体験活動を通じて、郷土の価値を実感できる機会をさらに広げてまいります。	163
14	取組内容の②③は、ほぼ同じ内容だと思う。	①	内容の重複についてご指摘いただきましたので、取組内容の②と③を一つにまとめ、28ページを次のように修正いたします。 →② 学校・家庭・地域が連携・協働し、地域社会との様々なかかわりや多様な人材の活用を通じて、郷土教育を推進できる体制を整えます。	164

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑩ 人権教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	人権を尊重する心を育むためには、正しい情報に基づいて考える力が欠かせません。子どものうちから、不確かな情報や偏った見方に流されず、多様な人々の立場や背景を理解しようとする姿勢を育てることが大切です。子どもたちが安心して違いを認め合える環境づくりを、教育の中でぜひ進めていただきたいと思います。	③	人権を尊重する心を育むためには、正しい情報に基づいて考える力や多様な立場を理解する姿勢が不可欠です。教育ビジョンでも、情報モラル教育や多様性理解を重視しています。子どもたちが安心して違いを認め合える環境づくりを進め、偏った見方に流されない力と共感力を育ててまいります。	165
2	誰一人取り残さない理念のもと、多様性の尊重と権利の理解を全校的に育てる取り組みを歓迎します。	②	教育ビジョンでは子どもたちが互いの違いを認め合い、安心して学べる環境を整えることを重視しています。今後も学校・家庭・地域が連携しながら、人権教育を推進し、誰もが尊重される社会の実現に向けて取り組んでまいります。	166
3	人権教育をすすめるうえで、私たちの人権感覚が何よりも大切になってくると思います。大人も子供も、人権感覚を磨けるような取組を進めてほしいです。誰もが安心して生活できる地域づくりを進めていきたいです。	③	人権感覚の向上は、誰もが安心して暮らせる地域づくりにおいて重要です。人権を尊重する意識を育むため、学校教育の充実や地域での啓発活動、相談窓口の整備などに取り組んでまいります。	167
4	中学校区で共通のねらいを持つことは、学びに一貫性が生まれ、「人権を尊重する態度」を自然に身につけられ、子どもたちの成長をしっかり支えることにもつながると思います。	③	中学校区で共通の目標を掲げて取組を進めることは、学びに一貫性をもたせ、人権を尊重する態度の定着につながります。小中連携をさらに深めながら、子どもの成長を継続的に支える教育を進めてまいります。	168
5	インターネットやSNSに関する正しい知識と判断力を育てる学習は、現代社会において非常に重要です。また、不確かな情報や偏見に惑わされない力を身につけることは、人権尊重の視点からも不可欠であり、子どもたちが主体的に情報を扱える力を育む取り組みは重要であると考えます。	③	中学校区で共通の目標を掲げて取組を進めることは、学びに一貫性をもたせ、人権を尊重する態度の定着につながります。小中連携をさらに深めながら、子どもの成長を継続的に支える教育を進めてまいります。	169
6	互いを認め合える関係を築いていくことは、まさに人権教育の根幹だと思います。差別をなくす行動ができる“なかま”を育てるという視点は、子どもたちの社会性や共感力を育むうえでも非常に重要であり、学校教育の中で継続的に取り組むことが大切だと改めて思いました。	③	互いを認め合い、差別のない社会をめざす姿勢は、人権教育の根幹です。共感力や社会性を育む教育を継続的にを行い、思いやりの心をもって行動できる子どもを育ててまいります。	170
7	学校・家庭・地域が協働して子どもを中心に据えた活動を中学校区で展開するという考え方は、単なる人権教育にとどまらず、子どもたちが地域社会の一員として主体的に参画する力を育む主権者教育にもつながると感じました。人権尊重の地域づくりに子ども自身が関わることで、学びが実社会と結びつき、より深い理解と行動につながる可能性を感じます。	③	学校・家庭・地域が協働し、子どもを中心に据えた活動を進めることは、人権教育のみならず、主権者教育の観点からも重要です。地域社会の一員として主体的に関わる経験を通し、子どもが自ら考え行動できる力を育ててまいります。	171
8	人権教育を通じて「自他の生命や人権を大切にする心」を育み、他者を認めて尊重するだけでなく、自分のことも大切にして自己肯定感や自己有用感を高める取り組みを引き続き行っていただきたいと思います。	②	教育ビジョンでは、子どもたちが互いを認め合うだけでなく、自分自身の価値を実感し、安心して成長できる環境づくりを重視しています。今後も、学級や学校全体での取組を充実させ、子どもたちが自分のよさを見つけ、社会の中で役立っていると感じられるような教育活動を進めてまいります。	172

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑩ 人権教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	学校では子どもたち一人ひとりが日常的に思いを出し合う取り組みを進めることが必要です。教職員の人権感覚は子どものモデルになることを全ての教職員が自覚していなければならないと思います。一人ひとりが自分の問題としてとらえること、正しい知識を持ち行動することを大切に、9年間のカリキュラムに基づいた取り組みを進めていただきたいと思います。	③	教職員の人権感覚の高揚や授業実践力を高めるための研修を支援し、子どもの発達段階に応じた資質・能力を育成するため、9年間のカリキュラムに基づいた取組を進めてまいります。	173
10	教職員の人権感覚の向上と、地域・家庭との連携による人権尊重の地域づくりは、教育の力を地域全体に広げる重要な取り組みであり、今後の展開に期待しています。	③	人権感覚を高めるための教職員研修を充実させるとともに、地域との連携を強化し、誰もが尊重される地域社会の実現に向けて、教育の力を最大限に生かしてまいります。	174
11	すべての人が互いを尊重し合い、差別や偏見のない社会をめざす人権教育の推進に賛成します。多様な人々と共に生きる力を育む学びは、これからの社会に不可欠だと感じます。学校・家庭・地域が連携し、日常の中で「人権を守る文化」を根付かせる取組に期待します。	③	人権教育では単なる知識の習得にとどまらず、子どもたちが互いを尊重し、差別や偏見をなくすために主体的に行動できる力を育むことが重要です。今後も、こうした取組をさらに充実させ、地域全体で人権尊重の価値を共有できる社会づくりを進めてまいります。	175
12	子供たちの豊かな人権感覚を育むうえで自己肯定感を育むことが重要だと思います。自己肯定感が高まることは、自分自身を尊重し他者の尊重にもつながっていくものです。個々の価値を認め、互いに平等な存在として接する態度を学ぶことで、多様性を尊重する社会の基盤が築かれていくことを期待しています。	③	子どもたちが自分自身の価値を認め、互いに平等な存在として接する態度を学ぶことが、差別や偏見のない社会を築く力となり、多様性を尊重する文化の定着につながると考えています。今後も、学校教育を通じて自己肯定感と人権感覚を育む取組を充実させ、地域全体で人権尊重の価値を共有できるよう努めてまいります。	176
13	人を大切にできる人は、自分のことを大切にできる人だと思います。「自分によいところがある」と回答する子どもが増える松阪市になってほしいと思います。	③	子どもたちが自分のよさを認め、自己肯定感を高めることは、他者を尊重し、差別や偏見のない社会を築く基盤となります。成果指標にもある「自分にはよいところがある」と感じる子どもを増やすため、学校教育を通じて、互いを認め合える学級・学校づくりを進めてまいります。	177
14	多様な課題があると思われる人権教育であるが、成果指標にあるように、こどもが「自分にはよいところがある」と思える社会、教育をこれからも大切にしていってほしい。	②	子どもたちが自己肯定感を高め、互いを認め合える関係を築くことは、人権感覚の基盤となり、差別や偏見のない社会づくりにつながると考えています。今後も、学級や学校全体での取組を充実させ、学校・家庭・地域が協働しながら進めてまいります。	178
15	今後の方向性に記載されているように、人権に関する知識の習得ではなく、実践行動ができる子どもたちが育つように、学校教育の中で取り組んで、人権尊重の地域づくりが進んでいくことを望みます。	③	学校教育の中で、子どもたちが互いを尊重し、差別や偏見をなくすために主体的に行動できる力を育むことには大きな意義があります。こうした力が、地域社会に広がり、人権尊重の文化を根付かせることにつながると考えています。今後も、学校・家庭・地域が協働しながら、子どもたちの実践力を高める取組を進めてまいります。	179

**「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方**  
**（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）**

**⑪ キャリア教育の推進**

番号	意 見	対応 区分		整理 番号
1	変化の激しい社会を生き抜く力として、課題を見つけ、自ら考え、行動する力がますます求められています。キャリア教育の中にアントレプレナーシップ教育を位置づけ、創造性や挑戦する姿勢を育むことが、子どもたちの未来の可能性を広げると考えます。年齢に応じた体験的な学びの充実を、ぜひ進めていただきたいと思います。	③	課題を見つけ、自ら考え行動する力を育むキャリア教育は重要と考えています。アントレプレナーシップ教育や年齢に応じた体験的な学びを充実させ、創造性や挑戦する姿勢を育む取組を進めてまいります。	180
2	自分の興味や得意なことを知り、なかまと将来の夢を語り合う機会を通して自己理解を深めることは、自己肯定感の育成につながる重要な取り組みだと感じます。発達段階に応じた進路指導を系統的に行うことで、子どもたちが自分の未来に希望を持ち、前向きに学びに向かう姿勢が育まれることを期待します。	③	自分の興味や得意を知り、なかまと将来の夢を語り合う経験は、自己理解と自己肯定感の育成に大きく寄与します。発達段階に応じた進路指導を充実させ、子どもたちが自分の未来に希望をもち、前向きに学ぶ姿を支えていきます。	181
3	多様な他者と協働しながら社会に参画する力を育むキャリア教育は、子どもたちの自己理解や自己肯定感を高める重要な取り組みであると考えます。今後の充実に期待しています。	③	キャリア教育を通して、多様な他者と協働しながら社会に参画する力を育むことは、子どもたち一人ひとり自己理解や自己肯定感を高めるうえで非常に重要です。こうした取組をさらに充実させ、子どもたちが自分らしい生き方を主体的に選択できるよう努めてまいります。	182
4	よりよい社会の実現を視野に入れ、主権者として社会に参画する力を育む教育は、現代社会においてますます重要になっていると感じます。子どもたちが自分の意見を持ち、他者対話しながら社会に関わる力を育んでほしいと思います。	③	社会の一員として自ら考え、他者対話しながらよりよい社会の実現をめざす教育は、これからの時代に欠かせません。子どもたちが自分の意見を持ち、多様な考えを尊重しながら社会に関わる力を育てていきます。	183
5	社会課題を自ら見つけ、課題解決に向けて探究する力を育むアントレプレナーシップ教育は、探究的な学びの深化に大きく貢献すると考えます。子どもたちが主体的に行動し、創造的に課題に向き合う経験を通して、未来の社会を担う力が育まれることを期待しています。	③	社会課題を自ら見つけ、解決に向けて行動する力を育むアントレプレナーシップ教育は、探究的な学びの深化に大きな意義があります。子どもたちが創造的に課題へ向き合い、未来を切り拓く力を育てる取組を進めていきます。	184
6	今の子どもたちが成人する頃には、生産年齢人口の減少やグローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、ますます予測が困難な時代となります。そのような中、自らの可能性を発揮し、多様な他者と協働しながらよりよい社会の創り手となるように、キャリア教育を進めてください。	③	予測困難な時代を生き抜くためには、自ら学び続け、柔軟に対応する力が欠かせません。キャリア教育を通じて、子どもたちが自分の可能性を広げ、協働しながら成長し続ける姿勢を育む取組を充実させてまいります。	185
7	探究しながら何かを生み出すアントレプレナーシップ教育（起業家教育）は、これからの時代にますます重要になると思います。学校だけでなく、さまざまな分野で活躍している大人と出会う機会をつくり、子どもたちが多様な価値観や実社会の経験に触れられる環境を整えていただけることを期待します。	③	探究しながら新しい価値を生み出すアントレプレナーシップ教育は、これからの時代に重要な視点であると認識しています。学校教育に加え、地域や企業など多様な分野と連携し、子どもたちが実社会に触れ、多様な価値観を学べる機会の充実にも努めてまいります。	186

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
 （①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑪ キャリア教育の推進

番号	意 見	対応 区分		整理 番号
8	実社会と結び付いた学びにより自己理解と社会理解をつなぎ、将来の地域人材育成へと広げる視点は将来へ直結すると感じます。	③	実社会と結び付いた学びを通じて、自己理解と社会理解を深めることは、将来の地域人材育成にとって重要な視点であると認識しています。キャリア教育の充実を図り、地域や企業との連携を強化しながら、子どもたちが社会とつながり、主体的に学ぶ機会の拡充に努めてまいります。	187
9	子育て世代の多くは、子どもの頃にさまざまな夢を語り、挑戦してきました。しかし、今の子どもたちは「夢がない」と言われることが多いと聞きます。 教育ビジョンに、子どもたちが自分の興味や関心を見つけ、未来に希望を持って夢を語れるような環境づくりを重視する視点が盛り込まれているのは、とても良いことだと思います。学校だけでなく地域の企業や団体と連携し、子どもたちが多様な体験や人との出会いを通して、自分の可能性を広げられる仕組みを整えるという考え方に共感します。	③	子どもたちが自分の興味や関心を見つけ、未来に希望をもって夢を語れる環境づくりは、キャリア教育において極めて重要な視点です。学校教育に加え、地域の企業や団体と連携し、多様な体験や人との出会いを通じて、子どもたちが将来の可能性を広げ、変化の時代を生き抜く力を育む取組を進めてまいります。	188
10	地域との連携を通じた体験的な学習の充実は、児童生徒のキャリア観の形成に大きく寄与すると考えます。学校内では体験することができないことを、地域の多様な人材と出会いながら、実体験を通じて、将来の選択を広げられることを期待します。	③	地域との連携を通じた体験的な学習は、児童生徒のキャリア形成において非常に重要な要素です。今後は、地域の多様な人材や資源を生かし、学校と地域が協働して持続可能な仕組みを構築することで、子どもたちが実社会に触れ、将来の選択肢を広げられる環境づくりに努めてまいります。	189
11	職場体験や職場見学を経験した子どもたちは、見方や考え方が変わる気がします。自身のキャリアを育む中で、多感な時期に様々な経験をする機会があることは有意義だと思います。	③	職場体験や職場見学は、児童生徒が社会の仕組みを理解し、視野を広げるうえで大変有意義な機会です。こうした体験を通じて、学びがより実践的になり、将来のキャリア形成に向けた考え方を深められるよう、地域や企業との連携をさらに充実させてまいります。	190
12	子どもが自分の良さや可能性に気づき、将来の夢や生き方を主体的に考える機会を広げるキャリア教育の推進に強く共感します。地域や企業と連携した体験学習を通して、社会とつながる学びを深める方向性は、とても意義深いと感じます。	③	子どもが自分の良さや可能性に気づき、将来の夢や生き方を主体的に考えることは、これからの社会を生き抜くうえで大切な力です。地域や企業、団体等との連携を生かした体験的な学びを充実させ、社会とつながるキャリア教育をさらに推進していきます。	191
13	子どもたちが地域の方々や企業との関わりを通じて多様な体験を重ね、自分の良さを認めながら夢に向かって諦めず挑戦する姿を育てる取組を大変意義深く感じます。地域の人々に支えられ、自己肯定感と挑戦する心が育つキャリア教育のさらなる充実を期待します。	③	地域や企業との連携による多様な体験は、子どもたちの自己肯定感や挑戦する心を育むうえで重要と考えています。今後もキャリア教育の取組をさらに充実させてまいります。	192
14	職場体験や職場見学は、地域で働く人の姿から、子どもたちが直接学ぶことのできる機会だと思いますので、その機会が充実していくことを期待します。	③	地域で働く人の姿から直接学ぶことができる職場体験や職場見学は、児童生徒の視野を広げ、キャリア形成において非常に有意義な機会であると認識しています。今後も、地域や企業、団体等との連携を強化し、体験活動の充実に努めてまいります。	193



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑫ 環境教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	環境教育では、自然に触れたり、身近な環境を観察したりする体験的な活動が、子どもたちの気づきや関心を育むうえで非常に重要だと感じています。こうした活動が、日常の中で環境を大切にする意識につながると思いますが、現在の学校現場ではどのような取り組みが行われているのでしょうか。	③	環境教育において体験的な活動はとても大切なものです。各学校では、各教科等の授業や特別活動などで、自然を観察したり、地域のごみを拾ったりするといった体験的な活動を行っています。また、河川の水生生物の観察や森林教育の出前授業を実施している学校もあります。今後も、学校や地域の特色を生かした環境教育を進めてまいります。	194
2	各学校が地域の自然や産業などの特性を生かした「全体計画」を作成することで、子どもたちが身近な環境に関心を持ち、地域とのつながりを実感できる学びが実現すると思います。また、美化活動やボランティア活動を家庭・地域・企業と連携して行うことで、子どもたちの主体性や社会性が育まれることを期待します。	③	地域の自然や産業を生かした学びは重要であり、各学校が特色ある計画を策定することで、子どもたちの地域理解を深めていきます。美化活動やボランティア活動についても、家庭・地域・企業と連携し、主体性や社会性を育む取組を進めてまいります。	195
3	SDGsや環境問題を自分事として捉える体験活動の充実は、持続可能な社会を担う力を育むうえで非常に有意義です。地域の特性を活かした環境教育の充実に期待します。	③	SDGsや環境問題を自分事として捉える体験活動は、持続可能な社会を担う力を育むうえで重要と考えています。地域の特性を生かした環境教育をさらに充実させてまいります。	196
4	SDGsに関連する環境問題を「知る」だけでなく、「自分の生活とつながっている」と気づくことができる体験活動の充実は、環境意識の向上に役立つと思います。また、節水・節電・ゴミ削減など、学校生活の中で持続可能な社会づくりの取組を実践することは、子どもたちの行動変容にもつながると思います。	③	SDGsに関連する体験活動の充実は、環境問題を自分事として捉える力を育むうえで重要と考えています。学校生活における節水・節電・ゴミ削減などの取組も継続し、子どもたちの行動変容につながるよう推進してまいります。	197
5	環境保全について色々な教科と関連付けて学ぶことで、自然との関わりや人間の生き方について深く考える力が育まれると思います。特に、地球温暖化のような身近で深刻な環境問題を取り上げること	③	環境保全を教科等横断的に学ぶことは、子どもたちが自然や人間の生き方を深く考える力を育むうえで重要と考えています。地球温暖化など身近な課題を取り上げ、現実社会とつながる学びを充実させ、将来の担い手として主体的に環境問題に向き合える力を育成してまいります。	198
6	で、学びが現実社会とつながり、子どもたちの意識や行動に変化をもたらします。将来、子どもたちが持続可能な社会の担い手として、主体的に環境課題に向き合えるような力を育む教育の充実を望みます。	③	身近な課題から主体性を育み、SDGsの視点を取り入れた学校・家庭・地域での実践は重要と考えています。こうした取組をさらに推進してまいります。	199
7	身近な課題から主体性を育て、SDGsの観点を取り入れて学校・家庭・地域で実践につなげる方向に賛成です。	③	環境問題を科学的知識だけでなく倫理や社会性と結び付けて学ぶことは重要と考えています。道徳や総合的な学習の時間を通じて、自然と共に生きる価値観を育む教育を充実させてまいります。	200
8	環境問題は科学的知識だけでなく、倫理的判断や社会的行動とも深く関わっていると思います。道徳科や総合的な学習の時間を通じて自然とともに生きることについて考えることは、子どもたちの価値観形成にもつながると期待しています。	③	松阪の豊かな自然を教材とした学びは、ふるさとを大切に思う心や、環境を守る態度を育む貴重な取組です。持続可能な社会づくりにつながるよう、学校と地域が協働しながら実践を重ねる環境教育を進めていきます。	201
	松阪の豊かな自然を教材にした環境教育の推進に賛同します。環境を守る心や持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度を育てることは、子どもたちの未来を支える大切な学びです。学校・地域一体で実践を重ねる取組が増えることを期待しています。			

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑫ 環境教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	限りある資源を大切にし、環境と共に生きる心を育む取組は素晴らしいと思います。身近な自然や体験を通して、環境の大切さに気づくだけでなく、実際の行動へとつながるように、環境教育の充実を期待しています。	③	身近な自然や体験を通じて環境の大切さに気づき、行動につなげる取組は重要と考えています。限りある資源を大切にする心を育む環境教育をさらに充実させてまいります。	202
10	例えば、ゴミの分別やリサイクルなど、身近な環境問題に関しては、大人よりも子どもの方が意識が高いような気がします。子どもから声を挙げていくことで、大人も改めて気づかされることも多いです。	③	子どもたちが身近な環境問題に主体的に取り組むことは、大人の意識向上にもつながると考えています。こうした取組を学校・地域で広げ、環境意識の醸成を進めてまいります。	203
11	他団体からのチラシや宣伝などの配付依頼があるため、教育現場においては、ペーパーレス化が進めにくい現状もあるので、他団体にも協力を求めているといいかと思います。	③	教育現場でのペーパーレス化の推進には、他団体の協力も重要と考えています。今後、関係団体と連携し、環境負荷の低減に向けた取組を進めてまいります。	204

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑬ 生徒指導の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	「自分のことを考えてくれている人がいる」「見てくれている人がいる」という安心感は、様々なことにチャレンジしていくための原動力になるように思います。取組内容に書いていただいているように、学校・家庭・地域、みんなで力を合わせて子どもたちを見守っていくことは大切だと思います。	③	子どもが安心して過ごせる環境は、意欲や挑戦する力を育むうえで欠かせません。生徒指導の充実には、学校だけでなく、家庭や地域との連携が重要です。多様な関係者が子どもに関心を寄せ、継続的に関わる仕組みづくりが、健やかな成長を支える基盤になると考えます。	205
2	メンタルヘルス教育の推進とICTを活用した心の状態の把握によって、子どもたちのウェルビーイング向上につながればと思います。早期支援につながる仕組みづくりに期待します。	③	メンタルヘルス教育の推進とICTを活用した心の状態の把握は、児童生徒のウェルビーイング向上に向けて重要な取組であると認識しています。今後も、早期支援につながる仕組みづくりを進めるとともに、安心して学べる環境の整備に努めてまいります。	206
3	子どもたちが安心して自分らしく過ごせる環境は、生徒指導の土台となります。失敗や悩みを受け止めてもらえる経験を通じて、自己肯定感や他者への信頼が育まれます。心理的安全性が保障された学校環境の中でこそ、子どもたちは前向きに学び、成長していけると考えます。丁寧な関わりの積み重ねを大切にしていきたいです。	③	子どもたちが安心して自分らしく過ごせる環境は、生徒指導の根幹であり、心理的・安全性が保障された学校づくりは大切です。失敗や悩みを受け止めてもらえる経験を通して、自己肯定感や他者への信頼を育む取組を丁寧に積み重ねてまいります。	207
4	日頃からの子どもたちの状態を把握し、課題の早期発見・対応につなげる取り組みは、重要です。多様な専門職との連携によって、子ども一人ひとりに寄り添った支援が可能になることを期待します。	③	子どもの変化に早期に気づき、必要な支援につなげることは、健やかな成長を支えるうえでとても重要です。関係機関や専門職と連携しながら、一人ひとりに寄り添った支援体制を充実させてまいります。	208
5	コロナ禍の中で生活してきた子どもたちには、今、不登校や問題行動など、さまざまな形でその影響が表れてきています。学校や家庭での見守りはもちろん重要ですが、1人1台のタブレット端末を活用して、子どもたち一人ひとりの心の状態を把握し、必要な支援につなげる取り組みは、現代の教育環境において非常に有意義だと感じます。ICTを活用した心のケアの仕組みが、子どもたちのウェルビーイングの向上につながることを期待しています。	③	コロナ禍を経た子どもたちの心の変化に寄り添い、ICTを活用して一人ひとりの心の状態を把握する取組は有効であると考えます。タブレット端末などの活用を通して、子ども一人ひとりのウェルビーイングを高める支援を進めてまいります。	209
6	全国的に不登校児童生徒数が増加しています。子どもたちが安心して通うことができる学校づくりをお願いします。	③	全国的に不登校児童生徒数が増加している状況は、重要な課題であると認識しています。子どもたちが安心して通える学校づくりに向けて、個々の状況に応じた支援の充実と、居場所づくりを進めるとともに、関係機関や地域との連携を強化し、誰もが学び続けられる環境の整備に努めてまいります。	210
7	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、にじいろサポーターなどが充実しつつあり、子どもも保護者も先生も頼りにできる場所が増えたと思います。家庭全体に支援が必要な場合は、福祉まるごと相談室をはじめとする福祉分野との連携も必要だと感じます。	③	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、にじいろサポーターなどの配置充実は、子ども・保護者・教職員にとって安心できる相談体制の構築に大きく寄与していると認識しています。今後も、福祉まるごと相談室をはじめとする福祉分野との連携を強化し、家庭全体を支援できる仕組みづくりを図ってまいります。	211

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑬ 生徒指導の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	規範意識と自己肯定感を支える見取りと支援を重視し、家庭・地域と連携して未然防止と早期対応を徹底する姿勢を心から支持します。	③	規範意識と自己肯定感を支える見取りと支援を重視し、家庭や地域と連携して生徒指導上の課題の未然防止と早期対応を徹底することは、生徒指導において極めて重要な視点であると認識しています。今後も、児童生徒が安心して学び、健やかに成長できる環境の整備に努めてまいります。	212
9	Q-Uは、教員が学級づくりにおいて客観性を持つために、とても有効なツールだと思います。学級経営は、どうしても独りよがりになってしまうことがあります。Q-Uを活用することで、子どもたちの声をデータとして把握し、よりよい学級づくりにつなげることができます。これからも、子どもたちの安心感や居心地のよさを大切にしながら、学級の課題を客観的に見つめ、改善していく取り組みが続いてほしいと思います。	③	Q-Uの活用は、学級づくりにおいて客観性を確保し、子どもたちの声を反映したよりよい学級経営につなげるために有効な取組であると認識しています。今後も、児童生徒が安心して過ごせる環境づくりを大切にしながら、学級の課題を客観的に把握し、改善を図る取組の充実に努めてまいります。	213
10	子どもたちが自らの心の状態に気づき、必要な支援を求める力を育むことは、心のウェルヴィーニングの向上にも不可欠だと考えます。子どもたちが、自分自身の心の状態に関心を持つことも重要ですが、子どもたちの心の変化に早期発見、早期対応ができることを期待しています。	③	子どもたちが自分の心の状態に気づき、必要な支援を求める力を育むことは、ウェルビーイングの向上に不可欠です。そのため、子ども自身の気づきを促す取組とともに、心の変化を早期に把握し、適切な対応につなげるための相談体制や関係機関との連携を一層充実させてまいります。	214
11	子どもたちが安心して自分らしく過ごせる学校づくりを目指す生徒指導の充実に賛成します。関係づくりを基盤とした温かな支援、早期の気づきと対応を重視する方向は、すべての子のウェルビーイングにつながるものだと思います。	③	子どもが安心して自分らしく過ごせる学校づくりを進めるうえで、受容的態度や共感的理解に基づいた支援や早期発見・早期対応はとても重要です。一人ひとりの思いや背景に寄り添いながら、すべての子どものウェルビーイングを支える生徒指導の充実に図ってまいります。	215
12	「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」子どもが増えていくために、にじいろサポーターなどの支援体制充実のための取組が示されていて、是非効果が反映されてほしいと思います。	③	困りごとや不安を抱えた際に、子どもたちが先生や学校の大人に安心して相談できる環境を整えることは、非常に重要な取組であると認識しています。今後も、にじいろサポーターをはじめとする相談体制の充実を図り、子どもたちが支援を受けやすい仕組みづくりに努めてまいります。	216

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑭ 安全教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	学校や園を取り巻く安全上の課題は地域によって異なるため、地域の実情に即した「安全計画」や「危機管理マニュアル」を作成することは非常に重要です。発達段階に応じた系統的な学習や訓練を通じて、子どもたち自身が安全について主体的に考える力を育んでほしいです。	③	地域の実情に即した安全計画や危機管理マニュアルの作成は、学校（園）を安全に運営する上で欠かせません。系統的な学習や訓練を通して、子ども自身が安全について主体的に考え、行動できる力を育んでまいります。	217
2	毎年、交通事故で尊い命が失われています。小さなころから交通安全教室で体験的な学習を学ぶことは、ルールの理解だけでなく、実際の行動に結びつく力を育む点で非常に重要だと思います。	③	交通安全教室などの体験的な学習は、ルールを知るだけでなく、実際の行動に結びつける大切な機会です。幼少期からの継続的な取組を通して、命を大切にする意識と安全行動を身につけられるよう努めてまいります。	218
3	日常の安全を学習と生活の両面から扱い、交通・ネットなど現代的課題にも継続的に応える設計が頼もしく思われます。	③	日常の安全を学習と生活の両面から扱い、現代的な課題に継続的に対応することは、安全教育において重要な視点であると認識しています。今後も、児童生徒が自ら判断し、適切に行動できる力を育むため、防災・防犯を含めた安全教育の充実に努めてまいります。	219
4	教職員・保護者・地域ボランティアによる見守り活動や不審者情報の共有など、地域ぐるみの安全確保の取組は、子どもたちが安心して登下校できる環境づくりに大きく貢献していると感じます。今後も、地域ボランティアと連携し、充実に努めてほしいです。	③	教職員・保護者・学校支援ボランティアが連携して子どもを見守る取組は、安全で安心な登下校環境づくりに大きく貢献しています。地域とのつながりを生かし、見守り活動の継続と充実に努めてまいります。	220
5	自転車で通学すると、交通事故の被害者になるだけでなく加害者になるリスクも出てきます。体験・実践型の交通安全教室のほうが、子どもたちの意識向上につながると思います。	③	自転車通学における交通安全は、児童生徒の命を守るだけでなく、加害者にならないための意識を高めるうえでも重要な課題であると認識しています。今後も、体験・実践型の交通安全教室など、実践的な学びを取り入れ、子どもたちが安全な行動を主体的に選択できる力を育む取組を充実させてまいります。	221
6	子どもたちの交通事故は依然として多い状態にあります。これからも交通安全教育を継続して行うことを願います。	③	危険を予測し、命を守る判断力を育てる安全教育は、子どもたちにとって重要であると認識しています。交通安全や防犯等の幅広い分野で、家庭や地域と連携しながら、実践的な取組を進めてまいります。	222
7	全国的にも子どもたちがかわる交通事故や、子どもたちが被害者となる犯罪、不審者事案は依然として後を絶ちません。子どもの命を守るために、子どもの発達段階に応じて主体的に考えることができる安全教育をすすめてほしいです。	③	子どもが自ら危険を予測し、命を守る行動を選択できるようにすることが、安全教育の目標だと認識しています。交通安全、防犯、ネット利用など、生活に直結する分野で、発達段階に応じた学びを家庭や地域と連携して進めてまいります。	223
8	自治体や地域ボランティア、学校が中心となって見守り活動の継続的な体制づくりを支援することが必要だと思います。見守り活動の仕組みづくりだけでなく、子どもたち自身が防犯意識を高める教育の充実も併せて進めてほしいです。	③	地域の見守り活動は子どもの安全を守るうえで重要であると認識しています。市・学校・学校支援ボランティアが協力し、継続的な体制づくりを進めるとともに、子ども自身が防犯意識を高める教育の充実にも取り組んでまいります。	224
9	子どもが危険を予測し、命を守る判断力を育てる安全教育の推進に共感します。交通・防犯・ネット安全など、多様な場面で自ら考え行動できる力を養う教育は重要です。家庭や地域との連携による実践的な取組を期待しています。	③	危険を予測し、命を守る判断力を育てる安全教育は重要であると認識しています。交通安全、防犯、ネット利用など多様な場面で、子どもが自ら考え行動できる力を養うため、家庭や地域と連携した実践的な取組を進めてまいります。	225

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑭ 安全教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
10	安全教育は、学校や地域の安全・安心を守るために必要不可欠です。近頃は全国各地でクマ被害も頻発しており、日常に潜む危険に対して適切な知識を持つことで、子どもの安全を確保し、早期対応が可能になると思います。学校・地域全体で安全意識を共有し、具体的な対策を強化する安全教育の充実をお願いします。	③	学校や地域の安全を守るため、安全教育の充実は重要であると認識しています。交通安全、防犯に加え、自然災害や動物被害など日常に潜む危険への対応力を育む教育を進めます。地域と協力し、安全意識の共有を強化してまいります。	226
11	地域の特性に応じた安全計画や危機管理マニュアルの整備は、子どもたちの命を守るために不可欠です。発達段階に応じた訓練の充実に期待しています。	③	地域の特性に応じた安全計画や危機管理マニュアルの整備は重要であると認識しています。加えて、子ども自身が危険を予測し、主体的に命を守る行動を取れるよう、発達段階に応じた体験的な学びを充実させてまいります。	227
12	令和6年度の登下校時における交通事故発生件数は小学校1件、中学校37件となっている現状からも、自転車の安全な乗り方について、小学校高学年から中学校にかけてより指導していく必要があると思います。	③	登下校時の交通事故防止に向けて、自転車の安全な乗り方の指導は重要であると認識しています。特に小学校高学年から中学校にかけて、発達段階に応じた安全教育を充実させ、家庭や地域と連携して取組を進めてまいります。	228

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑮ 防災教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	学校と地域が力を合わせて防災訓練を行っている地域もあると伺いました。学校や地域によって実情が異なりますので、それぞれに大きな負荷がかかるといけませんが、無理のない範囲で、学校と地域が連携しながら防災教育を進められると子どもにとっても、大人にとってもプラスになるように思います。	③	地域と連携した防災訓練は、子どもたちにとって実践的な学びとなるだけでなく、地域の防災力向上にもつながることから、学校や地域の状況に応じて協働体制を築くことは、持続可能な防災教育の推進に有効だと考えます。今後も、コミュニティ・スクールを核に、学校・家庭・地域が目標を共有し、その実現に向けて協働する体制づくりを進めてまいります。	229
2	地震をはじめ甚大な自然災害のリスクが年々高まる中、特に高齢者の割合が高く若い世代が少ない地域においては、地域の防災に中学生の力が必要になることも起こってくるかと思います。中学生の役割をどのように考え学校現場で教育しているのでしょうか。	③	地域の防災活動において若い世代が担う役割を支えるため、子どもたちが防災について学び、地域と連携した防災教育を進めていくことが大切です。これからも、保護者や地域と連携した防災訓練など、学校・家庭・地域が一体となって防災力の向上を図る取組を進めてまいります。	230
3	防災教育は、知識を身につけるだけでなく、地域とのつながりの中で実践的に学ぶことが大切です。地域の人々と協力しながら避難訓練や防災活動に取り組むことで、子どもたちは命を守る力と共に、支え合う心を育むことができます。地域とともにある防災教育の充実を、ぜひ進めていただきたいです。	③	防災教育を地域とのつながりの中で進めることは、命を守る力とともに支え合う心を育てる上で大変意義があります。地域の方々と協力しながら避難訓練や防災活動を充実させ、実践的な防災教育を進めてまいります。	231
4	防災教育を道徳や総合的な学習の時間、社会科・理科などと関連づけて進めることで、子どもたちが防災を「自分ごと」として捉え、主体的に学ぶ姿勢が育まれると思います。これからも、地域の実情に合わせた取組を進めてほしいと思います。	③	防災教育を教科等横断的に学習することは、安全・安心な地域づくりに寄与するだけでなく、防災を自分ごととして捉える意識の醸成につながります。地域の実情を踏まえながら、子どもたちが主体的に学びに向かう取組を継続してまいります。	232
5	保護者を巻き込んだ実践的な学習・訓練に取り組まねばならないと思いました。	③	保護者と連携した防災教育は、子どもたちが自ら考え、行動する力を育む貴重な機会です。今後も、家庭や地域と協力しながら、子ども主体の実践的な学習を充実させてまいります。	233
6	子どもたちが保護者や地域住民とともに防災訓練に参加することで、学校だけでなく地域全体で防災意識を高めることができ、かつ、子どもたちが自分の命を守る力を身につけられると思います。	③	保護者や地域住民とともに防災訓練に参加することは、地域全体の防災意識を高めるとともに、子どもたちが自分の命を守る力を身につける貴重な機会です。学校・家庭・地域が協力し合いながら、実践的な防災教育を推進してまいります。	234
7	地震が起きた際に身を守ることが最も大切ですが、その後の対応まで考えられる視点が盛り込まれているのは、とても良いと思います。また、地域と連携した防災訓練や、学校から安全に子どもを保護者に引き渡す訓練など、実際にさまざまな取り組みが行われていることも非常に意義深いと感じます。こうした実践をさらに充実させることで、子どもたちの安全を守る力がより高まると期待しています。	③	災害時に身を守る行動とその後の対応を学ぶことは、子どもたちが主体的に安全を確保する力を育むうえで重要です。今後も、家庭や地域と協力しながら、子ども自身が考え、行動できる防災教育を充実させてまいります。	235
8	災害時に、子どもたちが自ら判断し行動する力が求められ、日常的な学校生活や地域活動の中で、防災意識を高める機会を積み重ねることが、いざという時の行動につながると考えます。地域の防災訓練や避難所運営への参加を通じて、他者や地域の安全を支える意識が育まれることを期待しています。	③	災害時に冷静に判断し行動する力は、日常の積み重ねによって育まれます。今後も、子どもたちが主体的に防災活動に参加し、家庭や地域と協力しながら実践的な学びを深める取組を進めてまいります。	236

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑮ 防災教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	災害の多い地域として、地域と連携した防災教育を充実させる方針に賛成します。避難訓練にとどまらず、自分や仲間の命を守る行動を考える学びが、実践的な防災力を育てると思います。地域住民と共に学ぶ機会の充実を期待します。	③	地域によって想定される災害の異なる本市において、地域と連携した防災教育の充実は非常に意義があります。避難訓練にとどまらず、自分や仲間の命を守る行動を考える学びを重ねることで、実践的な防災力を育む取組を進めてまいります。	237
10	地域の実情に根ざした避難・減災の学びを体験的に進め、学校施設の防災機能強化とも呼応させる方針は意義深いです。	③	学校と地域が連携し、実情に即した防災学習と施設機能の強化を進めることは、地域全体の防災力を高めるうえで大きな意義があります。今後も、子どもたちが主体的に取り組める機会を広げ、災害に強い地域づくりを推進してまいります。	238
11	災害時の被害を具体的に想定し、発達段階や地域の実情に応じた「地域とともにある防災教育」を進めることは、学校以外の場所で起こるかもしれない災害の対策として重要と感じます。	③	災害時の被害を具体的に想定し、発達段階や地域の実情に応じた防災教育を進めることは、子どもたちが学校外でも自ら判断し、行動する力を育むうえで重要です。今後も、地域と協力しながら、子どもたちが主体的に取り組める体験的な学習を充実させてまいります。	239
12	「子どもたちが自分の暮らす地域の防災について関心を持ち、課題を見つけ」というところが大切だと考えます。南海トラフ大地震中が発表されており、自分の命を自分で守り、家族にも啓発ができるよう、自分の住む地域に関心を持ち危険箇所等の様子を知ってほしいです。（P 4 0、9 行目）	③	自分の暮らす地域に関心を持ち、危険箇所や防災課題を理解することは、子どもたちが主体的に命を守る力を育むうえで非常に重要です。今後も、地域の実情に応じた防災教育を進め、子どもたちが自ら考え、家庭や地域で防災意識を広げられるような取組を充実させていきます。	240



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑯ 体力の向上

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	できるようになったと実感すると、もっと運動したいという気持ちになった経験があります。体力テストもそうですが、結果の良し悪しではなく、学校でも家でも、伸び具合に注目して声かけを行っていくことが大事なのかなと思いました。また、子どもと運動する機会を家でもつくりたいと思います。	③	運動を通して、子どもたちが成長や変化を実感できる機会はとても大切なものだと考えております。体力テストや多様な運動への関わりによって、子どもたちが前向きに運動に取り組む意欲を持つことができるように、取組を進めてまいりますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。	241
2	現代社会では、子どもたちが思い切り体を動かすための時間も場所も不足していると思います。そのような中、生涯を通じてスポーツや運動をすることを楽しめる人を育てるために、学校教育の果たす役割は大きいと思います。小中学生のうちに、体を動かすことの気持ちよさや、スポーツの面白さをたくさん味わわせてあげてください。	③	現代社会において、子どもたちが運動やスポーツに触れたり、楽しさを実感したりする場としての学校教育の役割は大きいと考えております。子どもたちの豊かな運動・スポーツ経験につながるよう、今後も取組を進めてまいります。	242
3	多様な遊びやスポーツとの出会いの機会を大切にした体力・運動能力向上の取組に期待しています。	③	発育や発達段階を踏まえた体育・保健体育の授業改善や、多様なスポーツとの出会いの機会となるような授業の工夫などを通して、子どもたちが運動の楽しさを感じながら体力・運動能力の向上を図ることができる環境づくりに向け、今後も取組を進めてまいります。	243
4	子どもたちの発育・発達段階に応じた指導方法を工夫し、遊びやスポーツとの出会いを大切にすることで、運動への親しみや意欲が育まれると感じます。小さいころから身体を動かす楽しさを実感できる環境を整えることは、子どもたちの健やかな成長にとって非常に重要です。運動が「できる・できない」ではなく、「楽しい・もっとやってみたい」と思えるような体験を積み重ねることで、体力の向上だけでなく、自己肯定感や協調性の育成にもつながると思います。	③	運動・スポーツ活動を通して育まれる自己肯定感や協調性などの教育的価値を大切にし、発育・発達段階に応じた指導方法を工夫しながら、子どもたちが運動を楽しめる環境づくりに向けて、引き続き取組を進めてまいります。	244
5	公的・民間施設の活用や外部指導者との連携によって、部活動の運営を地域と協働で進める取組は、教員の負担軽減につながり、子どもたちの多様なスポーツニーズに応える柔軟な体制づくりにもつながると感じます。様々な競技団体との連携を通じて、より専門的で安全な指導が受けられる環境の整備を期待しています。	③	地域と連携した部活動運営は、教員の負担軽減および子どもたちのスポーツ環境充実のために重要な取組であると考えております。今後も、地域および関係スポーツ団体等との連携を強化しながら、子どもたちにとってよりよいスポーツ環境となるよう、整備に努めてまいります。	245
6	中学校の部活動は、生涯わたってスポーツを文化として楽しんでいく土台になると思います。家庭の状況に左右されることなく、仲間とともに楽しく体を動かせる場を残していきたいです。	③	中学校の部活動のもつ教育的意義を大切にし、子どもたちが興味や関心に応じて、多様な活動に参加できる場となるよう、保護者の方の負担軽減のための方策も検討し、地域と連携した取組を進めてまいります。	246
7	部活動を通して学べる教育効果は誰もが認めるところだと思います。様々な課題があり、難しい面もありますが、これまでと同様、子どもたちが輝ける場になると嬉しいです。	③	部活動が子どもたちにとって学びや成長の場であることの重要性を認識し、課題への対応を進めながら、子どもたちが輝ける運動・スポーツ活動の環境を整備してまいります。	247
8	子どもたちの体力低下が懸念される中、日常的な運動習慣を育む取組に強く賛成します。体育の授業や外遊び、地域スポーツ活動などを通して、体を動かす楽しさを実感できる環境づくりは重要です。運動を通して心身ともに健やかに育つ子どもを支援してほしいです。	③	子どもたちの体力低下を大きな課題と認識し、学校教育における運動・スポーツ活動が、子どもたちの運動習慣の形成に寄与することで、心身ともに健やかで豊かなスポーツライフの実現につながるよう、引き続き取組を進めてまいります。	248
9	発達段階に応じた指導と、遊びやスポーツとの出会いを大切にする方針は、子どもたちの健やかな成長を支える重要な取り組みだと感じます。	③	子どもたち一人一人の豊かなスポーツライフの実現と健やかな成長を支えるため、発育・発達段階に応じた適切な指導方法の工夫し、遊びやスポーツとの出会いが、興味・関心を刺激し、運動習慣の形成につながるよう、今後も取組を進めてまいります。	249

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑩ 体力の向上

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
10	今のようにゲームやスマートフォンもなく、外で走り回ったり川で泳いだりすることが遊びの中心だった時代には、生活の中で自然と運動したり体力が身に付く機会が多かったと思います。一方で今はさまざまな情報や技術の進歩により、昔より効率的に体力の増進を図ることが可能だと思います。タブレットの効果的な活用を含め、現代の強みを活かした体力向上の取組を期待しています。	③	運動や体力向上に関する現代の強みを活かした取組について重要であると考えております。タブレットやデジタル技術を活用することで、効果的かつ効率的な運動機会を保障し、子どもたちの体力向上につながる取組となるよう、今後も検討を重ねてまいります。	250
11	子どもの発達をみた時に、幼少期に体全体を動かす遊びを通して身体の使い方を学ぶ経験が不足しているように感じることがあります。体を動かすことの苦手さがある子どもたちにも、興味関心に合わせた運動や遊びをすることで、楽しさを知ってほしいと思います。	③	運動習慣や豊かなスポーツライフの形成のために、運動の楽しさを感じる機会が重要であると考えております。子どもたちの興味・関心にあった形で楽しめる機会の提供につながるよう、発育・発達段階に応じた指導方法の研究を進め、体力・運動能力の向上に向け、取組を進めてまいります。	251
12	発達段階に応じた運動習慣づくりと地域スポーツとの接続、データに基づく見える化の三点は相乗効果が期待できます。	③	学校における体育・運動活動、地域におけるスポーツ活動が相互により影響を与え合い、子どもたちにとって望ましい運動・スポーツ環境となるよう取組を進めてまいります。	252

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑰ 健康教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	デジタル機器の活用が進む一方で、使い過ぎによる心身への影響が懸念されています。長時間の画面視聴は、視力や睡眠、集中力などに悪影響を及ぼす可能性があります。健康教育の中で、適切な使用時間や生活習慣とのバランスについて学ぶ機会を設け、子どもたちが自分の健康を守る力を育めるようにしていただきたいです。	③	子どもたちが、心身の健康問題に適切に対処できる自己管理能力を育成していくとともに、視力や姿勢、睡眠への影響等、児童生徒の健康に配慮した取組を家庭とともに進めてまいります。	253
2	生活習慣病や視力低下など、早期発見・治療に向けた取り組みは、子どもたちの健康を守るうえで非常に重要です。保健調査や健康診断の結果を保健指導に活用することで、子どもたち一人ひとりの健康課題に応じた支援が行われる取組は、よいと思います。	③	子どもたちの健康状態と健康課題を把握し、保健学習や保健指導の資料として活用するとともに、学校保健委員会が中心となり、健康教育の指導体制や心のケアを図るための相談体制を充実させてまいります。	254
3	子どもたち自身が健康的な生活を意識するきっかけとして「生活習慣・読書習慣チェックシート」を活用して、睡眠・食事・運動・ゲームなど日々の生活を振り返る機会を設けることはよいと思います。家庭と連携を図りながら、進めてほしいと思います。	③	「生活習慣・読書習慣チェックシート」を活用し、睡眠や食事、運動、ゲーム等、日々の生活習慣を振り返りながら、家庭とともに健康的な生活習慣の確立に取り組んでまいります。	255
4	子どもたちが「健康的な生活をおくろう」と思えるようにするには、大人の関わり方も大切だと思います。自分自身、毎日ということは難しいですが、週に1回でも、子どもと一緒に早起きに挑戦したり、読書や運動をしたりと、子どもとともに健康の保持増進に努めたいと思います。	③	子どもたちの生活習慣の改善には、家庭の協力が不可欠となってきます。家庭とともに健康的な生活習慣の確立に取り組むことを大切にまいります。	256
5	心身の健康を包括的に捉え、保健・給食・授業の連動でライフステージを見通す設計に家族として安心できます。	③	食事や睡眠、運動等の健康的な生活習慣を確立することは、生涯を通して充実した生活を送ることにもつながってきます。心身の健康問題に適切に対処できる自己管理能力を育成してまいります。	257
6	心の不調など早期発見と専門的支援が重要である場合、学校内外の連携体制が整っていることが早期対応につながると思います。スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカー、医療機関、福祉機関などの連携が日常的に行える体制が整備されることを期待しています。	③	健康課題の解決に向けて、家庭や関係機関等と連携をさらに深め、健康教育の指導体制や心のケアを図るための相談体制を充実させてまいります。	258
7	子どもたちが自らの健康を管理し、よりよい生活習慣を身に付けることを目指す方針に賛成します。栄養・睡眠・運動・メンタルヘルスなどを総合的に扱う教育は、将来の健康寿命を支える基盤となると思います。保健教育や保健室の機能充実にも期待します。	③	子どもたちが、心身の発達や健康状態等について理解し、健康の保持増進に努めるとともに、心身の健康問題に適切に対処できるよう自己管理能力を育成してまいります。また、あわせて健康教育の指導体制や心のケアを図るための相談体制も充実させてまいります。	259
8	様々な家庭環境や変化の激しい社会の中、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康に過ごすことができる様、取組を進めていただいていることに感謝します。	③	食事や睡眠、運動等の健康的な生活習慣を確立することは、生涯を通して充実した生活を送ることにもつながってきます。心身の健康問題に適切に対処できる自己管理能力を育成してまいります。	260
9	心と体の健康はすべての学びの土台であり、その重要性をしっかりと見据えた松阪市の健康教育の取組は本当に素晴らしいと思います。子どもたちが日々の生活の中で自分の体と向き合い、健康の大切さと実感できるよう導く教育は、未来への最高の投資です。家庭・地域・学校が一体となり、子どもたちが笑顔で健やかに成長できる環境づくりをこれからも進めていってください。	③	多様化する健康課題に適切に対応するため、学校(園)において、家庭や関係機関等と連携をさらに深め、それぞれの役割を明確化した体制づくりを進めてまいります。	261

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑪ 健康教育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
10	近年子どもたちの心の健康も気がかりです。子どもたちが自己理解を進めることや援助要求を適切に出せるようになるために、ストレスマネジメント教育をしたり、相談体制を充実させたりする等して、子どもたちが自分を大切にできる人になってほしいと思います。	③	子どもたちの健康課題の解決に向けて、家庭や関係機関等と連携をさらに深め、健康教育の指導体制や心のケアを図るための相談体制を充実させてまいります。	262

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑱ 食育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	献立表を拝見すると、地元の食材を使っていたいたり、家ではなかなか味わえない行事食や郷土料理をメニューに入れていただいたりと、魅力的だと思いました。あわせて、栄養教諭の先生が食育の授業を行っていただいていますし、給食はとてもよい教材だと思います。	③	地場産物や、行事食、昔から伝わる郷土料理など、給食を生きた教材として活用できるよう魅力ある学校給食の提供に取り組んでまいります。また、食育担当教員や栄養教諭等を中心に、教材や指導方法の研究等にも、引き続き取り組んでまいります。	263
2	様々な子どもたちがいる中で、「給食」が学校へ行く原動力になっている子がいるそうです。これからも、安心して食べることができる魅力的な給食を提供してあげてください。	③	学校給食衛生管理基準などを遵守し、安全・安心な学校給食の提供に取り組めます。加えて、栄養バランスや食育の観点を重視し、子どもたちが楽しみにできる魅力的な献立づくりを進めます。食を通じて健康な体と心を育むとともに、地域食材の活用や食文化への理解を深める機会も充実させ、学校給食を学びの場としてさらに発展させていきます。	264
3	いろいろな国の料理を食べる経験をさせてもらえることは子どもたちにとって良い経験になると思います。また、様々な家庭環境がある中で、焼き魚やみそ汁など伝統的な和食を給食でしか食べる機会がない子どももいることを考えると、給食を食べること自体が「食育」として貴重な機会となっていると思います。	③	「和食の日」を設定し、昔から伝わる郷土料理や、季節の食材を使った給食を提供しています。これからも、給食が食育として貴重な教材となるよう取り組んでまいります。	265
4	将来にわたって健康に生活していくためには、食の自己管理能力や望ましい食習慣を身につけることが不可欠です。学校教育活動全体を通じて食育を推進し、栄養バランスのよい食事や生活習慣について、正しい知識に基づいて自ら判断・実践できる力を育む取り組みは非常に意義があると感じます。家庭との連携を図りながら、朝食の重要性なども含めた啓発活動の充実を期待します。	③	望ましい食習慣を身につけることは、生涯にわたって大切だと考えています。また、食生活は、ご家庭の影響も大きいことから、給食だより等を通して、家庭とも連携しながら、啓発を行っていきたいと考えています。	266
5	学校給食を「生きた教材」として活用し、四季の行事食や郷土料理を通じて食文化に触れる機会を設けることは、子どもたちの食への関心を高める上で非常に有効であると考えます。また、地場産物の使用や生産者の思いを伝える工夫は、食の背景を知る学びにもつながり、残食削減や食品ロスへの意識向上にもつながると感じます。	③	学校給食を「生きた食材」として活用できるよう、地場産物を優先的に使用し、生産者の生の声や、地場産物について、掲示物やタブレットを活用し、児童生徒に啓発することで、残食削減や食品ロス削減の意識向上に取り組んでまいります。	267
6	仲間とともに食事すること自体が学校ならではの経験だと思います。旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」は子どもたちも楽しみにしているので、継続できるといいなと思います。	③	今後も、地元の食材を使用した「ちゃちゃもランチ」を実施するなど、児童生徒に旬の食材や、地場産物を取り入れた給食を提供してまいります。	268
7	食材費高騰等による難しさの中ですが、魅力ある給食のあり方に期待しています。	③	食材費高騰など厳しい状況が続いていますが、限られた予算の中で工夫を重ね、魅力ある献立づくりに取り組めます。また、栄養バランスや食育の視点を大切にし、子どもたちが楽しみにできる給食を提供するとともに、地域食材の活用や季節感を取り入れたメニューにも努めてまいります。	269
8	食育は、教員だけでなく、栄養教諭や養護教諭をはじめ学校全体で取り組むべき分野であり、以前に比べて教育の中でその重要性が大きくなっていると感じます。また、家庭との連携も欠かせない要素です。教育ビジョンにこうした視点がしっかり盛り込まれているのは、とても良いことだと思います。	③	食育の取組については、栄養教諭や養護教諭など専門的な知見を活かしながら、学校全体として連携を図り、推進してまいります。	270
9	家で毎月配られる給食の献立表をうれしそうに見ながら、大好きなメニューが何日にあるかを確認している様子を見ると、学校生活の楽しみの一つになっていることがわかります。松阪市ではちゃちゃもランチや外国の料理など、地元や関わりのある国を大切に献立があったり、昔はなかった栄養教諭の授業もあったりして工夫されていていいなと思います。	③	学校給食が食育の教材として活用されるよう、地場産物のほか、さまざまな国の料理を取り入れるなど、多様な食文化に触れらる機会として学校給食の提供を行ってまいります。また、食育担当教員や栄養教諭等を中心に、教材や指導方法の研究等にも、引き続き取り組んでまいります。	271

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑱ 食育の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
10	食物アレルギーへの対応は子どもたちの命に関わります。安全対応を最優先に、職員研修や保護者との連携を進める方針に賛同します。子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに今後も期待しています。	③	安全を第一にアレルギー対応を行っています。また、児童生徒のアレルギー情報を相互に共有する中で、児童生徒が安心して過ごせる環境づくりを行ってまいります。	272
11	工夫の凝らされた食育の授業を受けて生き生きとしている子どもたちの姿、給食を楽しみに登校をしていた子どもたちの姿がありました。食物アレルギーや偏食などの適切な対応を教職員が学ぶことも大切なことだと思います。	③	食育の授業については、食育担当教員や栄養教諭等を中心に、教材や指導方法の研究等に、引き続き取り組んでまいります。食物アレルギーについては学校全体で共通理解のもと取り組むことが大切であると考えています。マニュアルを活用し、手順を確認する中でアレルギー対応を行うなど、安全で安心な給食を提供してまいります。	273
12	栄養教諭と連携した授業の充実、朝食や地産地消など生活に根差した学び、さらに指標明示による実行性の高さを評価します。	③	児童生徒の身近な生活や生活習慣からも食育として取り組めるものも多くあると考えています。学校、家庭や地域を含め、連携し食育の推進に取り組んでまいります。	274
13	活動内容が、前回のビジョンと同じではなく、食育授業に焦点をあてたことは、成果との繋がりもあり良いと思います。	③	食育の授業については、食育担当教員や栄養教諭等を中心に、教材や指導方法の研究等に、引き続き取り組むとともに、朝食をとることの大切さを含め、望ましい食習慣について、家庭とも連携しながら啓発してまいります。	275

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑬ 地域とともにある学校づくりの推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	学校が地域とともに歩むことで、子どもたちは多様な人と関わりながら、豊かな学びと経験を得ることができます。コミュニティ・スクールの取り組みは、地域の知恵や力を教育に生かす大切な仕組みだと感じています。学校が地域の一員として、共に育ち合う場となるよう、一層の推進に期待しています。	③	学校が地域とともに歩み、子どもたちが多様な人と関わりながら成長していくことは、まさにコミュニティ・スクールのめざす姿です。地域の知恵や力を教育に生かしながら、学校が地域の一員として共に育ち合う場となるよう、今後も取組を進めてまいります。	276
2	学校運営協議会の委員やコーディネーターの資質向上を図る研修や交流の場を設けることで、地域の教育力の向上につながるのではないかと思います。また熟議を通じて、学校・家庭・地域が共通理解を深め、それぞれの役割を自覚しながら子どもたちの育成に関わることは非常に良いことだと思います。	③	委員やコーディネーターが互いに学び合うことは、学校運営協議会の質を高め、地域の教育力の向上にもつながる大切な取組です。研修や交流の充実を図りながら、学校・家庭・地域が共通理解のもとで子どもたちを支える体制づくりを進めてまいります。	277
3	生活科や総合的な学習の時間に地域のひと・もの・ことを活用した探究的な学びを充実させることで、子どもたちが地域とのつながりを実感し、主体的に社会に関わる力を育むことができると思います。	③	地域の人・もの・ことを生かした探究的な学びを充実させることは、子どもたちが地域への誇りと愛着を深める貴重な機会となります。生活科や総合的な学習の時間などで、地域とともに学ぶ取組を一層推進してまいります。	278
4	学校運営協議会が中心となって家庭や地域に情報発信を行い、地域ボランティアとして学校行事や取組に参加を促すことで、子どもとのやり取りの中で大人も学び合い、育ち合う風土が醸成されると思う。	③	学校運営協議会を中心とした情報発信やボランティア活動への参加の呼びかけは、地域の方々と子どもが共に学び合い、育ち合う風土を広げる力をもっています。こうした取組がさらに充実し、地域全体で子どもを育てる機運が高まるよう努めてまいります。	279
5	CSの趣旨を広げて協働体制を強め、地域人材を生かした探究を進め、運営協議会の情報発信で三者の参加が進む点は参加しやすさにつながると感じます。	③	地域人材を生かした探究活動や、運営協議会による情報発信は、学校・家庭・地域が協働するきっかけとなり、参加の裾野を広げる取組です。協働体制の一層の強化を図りながら、地域とのつながりを生かした教育活動を進めてまいります。	280
6	学校と地域との距離が近くなることで、子どもたちは、より多くの大人と関わることになります。様々な大人からプラスの言葉をかけてもらえることは、子どもたちの心の安定や自信につながると思います。学校、地域、家庭が連携して子どもたちを育てていきたいです。	③	地域と学校との距離が近づくことで、子どもたちが多くの大人から励ましの言葉をもらい、自信や安心感を育むことはとても大切です。学校・家庭・地域が手を携え、温かく子どもたちを見守り、育てていく環境づくりに取り組んでまいります。	281
7	学校統合により、校区が広がります。学校を中心に地域がつながり、持続可能な社会の創り手を育む新たな体制づくりが進められることを期待します。	③	学校統合を契機に、広がった校区の中で新たな地域の絆を築き、持続可能な地域社会を担う子どもたちを育てていくことは大変意義があります。地域と連携しながら、よりよい教育環境と体制づくりを進めてまいります。	282
8	地域とともにある学校づくりを進め、コミュニティスクールや地域学校協働活動の取組を充実させることは、子どもたちの抱える課題が多様化し、地域の関係が希薄化する中で、学校にとっても地域にとってもメリットがあり、地域防災や未来の地域の姿等さまざまなことに広がっていくものであると思うので、しっかり進めていただけることを期待しています。	③	地域とともにある学校づくりの推進は、子どもたちの多様な課題への対応や、地域の活力の向上にもつながる重要な取組です。コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の充実を通して、地域と学校の双方が支え合う関係を深めてまいります。	283
9	私は、熟議に参加して、地域・学校・家庭がそれぞれの立場から子どもたちのために真剣に意見を交わす姿に感動しました。対話を通じて、互いの思いや課題を理解し合い、より良い学校づくりへの共通の目標が見えてきたことは大きな成果だと感じます。今度もこのような熟議の場が広がり、地域全体で子どもたちを育てていく文化が根づくことを心から願います。	③	熟議の場で、学校・家庭・地域がそれぞれの立場から意見を交わし、共通の目標を見いだすことは重要であると考えます。対話と協働を通して、地域全体で子どもたちを育てていく文化が一層広がるよう、今後も取組を進めてまいります。	284

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑭ 地域とともにある学校づくりの推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
10	地域学校協働本部の注釈が必要だと思う。	①	専門用語は一般の方には馴染みが薄いため、47ページを次のように注釈に記載いたしました。 →地域学校協働活動を推進する体制のこと	285
11	カリキュラム・マネジメントの注釈が必要だと思う。	①	→専門用語は一般の方には馴染みが薄いため、48ページ（16ページも含む）を次のように修正します。 「3 学力の育成」（p.16）の注釈に記載し、関連づけました。 「社会に開かれた教育課程」の理念の実現に向けて、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程（学校の教育計画）を中心に据えながら、組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと	286
12	指標の内容を変更する方が良いのではないか。	③	熟議は、委員や教職員、保護者、地域の皆さまが主体的に意見を交わし、「やってよかった」「次につながった」と感じられることが何より大切であると考えています。本指標は、学校運営協議会における熟議を積極的に推進していく契機とするものです。教育委員会としましては、形骸化することのないよう、学校の実情に応じたテーマ設定や進め方を支援し、“やらされる熟議”ではなく、“やってみようと思える熟議”が広がるよう取り組んでまいります。	287



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

②⑩ 教職員が働きやすい環境づくり

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	保護者が参加できる学校の行事で、率先して先生方のサポートをしてみえる保護者の方がいらっしゃいました。先生方と連携すること、家庭でできることをすることで、もしかかもしれませんが、先生方の気持ちを軽く、明るくできるのかなぁと思います。	③	保護者が学校行事や活動に積極的に参加し、先生方と連携しながらサポートしていただくことは、教育現場において非常に大きな力となります。学校と家庭が相互に信頼関係を築き、子どもの学びや育ちを支える取組を進めてまいります。	288
2	先生方が心身の健康を大切にしてお働けるように、働き方改革を進めていただきたいと思います。先生方が生き生きとされているその姿が、子どもたちの学びや心の安定につながると思います。アシスタントやサポーターなどの外部人材を増員して負担軽減につなげていただきたいと思います。	③	教職員の心身の健康を守り、生き生きと働ける環境を整えることは、教育の質の向上だけでなく、子どもたちの学びや心の安定にも直結するものです。様々な人材と連携し、チームとして支え合える職場環境づくりを推進してまいります。	289
3	教職員の業務の適正化や役割分担の見直しに加え、ICTを活用した業務の簡素化・効率化は、教育の質を保ちながら教職員の負担軽減を図る上で非常に有効だと感じます。定時退校日や学校閉校日の設定など、働き方改革の取組が、保護者や地域住民の理解を得ながら進められることを望んでいます。	③	教職員の業務の適正化や役割分担の見直しに加え、ICTを活用した業務の簡素化・効率化は、教育の質を保ちながら、教職員の負担軽減につながります。保護者や地域住民へ丁寧に説明をして、理解を得ながら、働き方改革の取組を進めてまいります。	290
4	男性教職員の育児休暇制度の周知や取得促進は、教育現場におけるジェンダー平等やワークライフバランスの実現に向けた重要な一歩です。誰もが安心して働ける職場づくりが、教育の質にも良い影響を与えらると思います。	③	誰もが安心して働ける職場づくりに取り組むことは、重要であり、男性教職員の育児休暇制度等が円滑に利用できるよう、環境整備に努めてまいります。	291
5	子どもたちの学びを支える教職員が、心身ともに健康で働ける職場環境を整える方針に賛同します。業務改善やICTの活用、チーム学校としての協働体制を推進し、教師がより安心して授業や子どもとの関わりに専念できる環境整備を期待します。	③	教職員が心身ともに健康で働ける職場環境を整えることは、教育の質を高めるにつながります。業務改善やICTの活用を進めながら、チームとして支え合える職場環境づくりを推進していきます。	292
6	教職員がやりがいをもって、いきいきと働くことができ、児童生徒に対して向き合える時間の確保ができるようよろしくお願いします。	③	業務の効率化や働き方改革などを通じ、教育現場の負担軽減に努め、児童生徒と向き合う時間を確保して、教職員がより豊かな教育活動を行えるよう環境整備を進めてまいります。	293
7	業務の効率化や外部人材の活用などによって、先生方が子どもと向き合う時間をより多く確保できるようにする取組は、教育の質の向上にもつながる重要な施策だと思ひます。また、誰もが安心して育児休暇を取得できる環境づくりを進められていることを心から応援しています。子育てを支え合う文化が根づくことで、教職員一人ひとりが家庭も仕事も大切にでき、より豊かな教育活動へつながると思ひます。	③	教職員が子どもたちと向き合う時間を確保することは、教育の質の向上のために重要であり、今後もより良い教育環境の実現をに向けて取組をすすめてまいります。	294
8	業務適正化と校務DXにより子どもと向き合う時間を確保し、メンタルヘルスや外部人材の活用にも配慮する設計は現場の安定に資すると見ています。	③	校務DXの推進と業務適正化により、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保することで、教育現場の質を向上につながります。メンタルヘルスや様々な人材との連携などの取組をすすめてまいります。	295

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑳ 教職員が働きやすい環境づくり

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を進めるとともに、蓄積される電子データの効果的な活用を期待します。	③	校務支援システムの導入することによって、電子データとして蓄積された情報を活用し、校務の管理・教育の質の向上につながるため、公務の効率化にむけた取組を進めていきます。	296
10	部活動ガイドラインの徹底をしてもらいたい。試合が近いとの理由により、テスト期間中にもかかわらず部活動を行ったり、土日両日練習を行ったりしているクラブもまだまだある。教職員が働きやすい環境を整えるために、様々な課題はあるが完全地域移行を進めてもらうことで、クラブ活動による超過勤務等の課題は解決のではないのでしょうか。今後も、教職員の働きやすい環境づくりの推進をお願いします。(P 5 0、1 0 行目)	③	部活動ガイドラインの徹底を図り、学業と部活動の両立を支援するとともに、試験期間や休日の活動について適切な運営を指導します。教職員の負担軽減や働き方改革の観点から、部活動の在り方を見直し、地域との連携や外部人材の活用など、持続可能な仕組みづくりに取り組みます。子どもたちが安心して活動でき、教職員が働きやすい環境を整えていきます。	297

**「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方**  
**（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）**

**㊴ 教職員研修の充実**

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	教職員の資質向上のための研修は非常に重要ですが、現場では多忙化により十分な時間を確保できない状況が続いています。研修に専念できる体制づくりや業務の見直しを進めることで、教員が安心して学び、実践に生かせる環境が整うと考えます。持続可能な研修制度の構築をぜひお願いしたいです。	③	教職員が研修しやすい時期や開催形態について、引き続き研究してまいります。持続可能な研修制度の構築をめざし、学びを実践に生かせる環境づくりに取り組んでまいります。	298
2	教職員の授業力・専門性の向上や子ども一人ひとりに対するきめ細かな指導力向上に期待します。	③	貴重なご意見をありがとうございます。教職員の授業力や専門性向上を支援し、子ども一人ひとりに寄り添った指導を実現できる体制の充実に努めてまいります。	299
3	受講者自身の都合に合わせて好きな時間・場所で学習できるオンデマンド型研修は研修時間を捻出することが難しい教職員にとって受講しやすい研修だと感じました。引き続き教職員への多様な学びの場を提供していただくことを望みます。	③	引き続き、教職員が学びやすい環境を整えるため、オンデマンド型を含むさまざまな開催形態を研究し、多様な学びの機会を提供していきます。時間や場所にとらわれず受講できる仕組みを充実させるとともに、研修内容の質を高め、現場での実践につながる研修を推進します。教職員の資質向上を支える持続可能な研修体制づくりに取り取り組んでまいります。	300
4	教職員が「主体的に研修する機会を保障する」という表現から、単なる受動的な研修ではなく、自らの課題意識に基づいて学べる環境づくりを重視していることが伝わります。教職員が自ら課題を見つけ、学びを深める姿勢を育むことで、教育の質の継続的な向上につながると考えます。	③	教職員が主体的に学べる環境を整えるため、それぞれのニーズに応じた研修機会を引き続き確保していきます。単なる受動的な研修ではなく、自ら課題を見つけ、学びを深めることができるよう、研修内容や開催形態の工夫を進めます。こうした取組を通じて、教職員の専門性向上と教育の質の継続的な改善をめざしてまいります。	301
5	市単独での研修回数の増ではなく、県他市町企業等との協働による研修機会の創出を視野に入れておくことは大切。	③	研修機会の創出や開催方法の検討を今後も進めていきます。市単独での取組に加え、県や他市町、企業などとの連携も視野に入れ、より多様で質の高い学びの場を確保できるよう努めます。教職員が主体的に学び、現場で生かせる研修環境づくりを推進し、教育の質の向上につなげてまいります。	302
6	多様な研修形態（場所、時間、参加方法）を提供していくという方向性は現状を正しく反映しているように思う。	③	集合研修だけでなく、オンライン研修やオンデマンド研修など、時間や場所にとらわれず学べる多様な研修形態の充実に取り組みます。教職員が主体的に学びやすい環境を整えるため、研修内容や方法の工夫を進め、現場での実践につながる質の高い学びを提供します。今後も、柔軟で持続可能な研修体制づくりを推進してまいります。	303
7	WEB会議やオンデマンド型研修の活用は、時間や場所の制約を超えて学びを可能にする点で非常に有効です。近年、教職員の多忙化が課題となっている中、必要なときに必要な内容を柔軟に学べる環境の整備は、教職員の負担軽減にもつながり、働き方改革を後押しする重要な取組だと思います。	③	集合研修だけでなく、オンライン研修やオンデマンド型研修など、時間や場所の制約を超えて学べる多様な研修形態の充実に取り組みます。教職員が必要なときに必要な内容を選んで学べる環境を整え、主体的な学びを支える仕組みを強化します。今後も、質の高い研修を提供するため、開催方法や内容の工夫を進めてまいります。	304
8	ZOOMでのオンライン会議や、時間の都合に合わせて視聴できるオンデマンド型研修など、教員が自分のペースで学び続けられる自由度の高い研修体制が整えられているのは、とても意義深いことだと思います。	③	オンライン研修やオンデマンド型研修など、教職員が自分のペースで学べる多様な研修形態の充実に取り組みます。時間や場所の制約を超えて学び続けられる環境を整えることで、主体的な学びを支え、現場での実践につながる質の高い研修を提供します。今後も、ニーズに応じた柔軟な開催方法を工夫し、学びやすい体制づくりを進めてまいります。	305

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

㉑ 教職員研修の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	子どもたちの健やかな成長において、関わる教職員は、家族以外では最も身近で影響力の大きい重要な存在だと思います。子どもの抱える課題や保護者の価値観の多様化が進み、テレビ等でも教職員の多忙化が取り上げられる中で、意欲を引き出したり負担を軽減したりする工夫がされた研修が用意されていることはとても大切なことだと思います。	③	引き続き、教職員が満足度の高い研修に参加できるよう、内容や開催方法の工夫を進めます。単なる知識の習得にとどまらず、意欲を引き出し、現場での実践につながる研修を構築します。多様なニーズに応じた柔軟な研修形態を取り入れ、主体的な学びを支える環境づくりに取り組み、教育の質の向上をめざしてまいります。	306
10	オンライン・オンデマンドを活用した学びやすい仕組みと、学習者中心の授業づくりを支える専門性の向上、指標による透明性の確保を継続強化してほしいと望みます。	③	引き続き、研修の開催形態や内容について研究を進め、教職員が学びやすい環境を整えていきます。オンラインやオンデマンド型研修の活用をさらに充実させるとともに、学習者中心の授業づくりを支える専門性の向上に資する内容を検討します。また、指標による研修の効果や透明性の確保にも努め、質の高い研修体制の構築をめざしてまいります。	307
11	集合研修も大切な研修の場ですが、学校と会場の距離、職員の体制等で参加が難しくなる場合もあります。今もたくさん実施していただいています、今後もオンライン参加の研修の充実をよろしくお願いします。	③	地域性や学校の規模をはじめ教職員の様々な働き方に対応できるように、オンライン研修の充実をはじめ、オンデマンド型研修など多様な研修形態の充実に取り組んでいきます。今後も、ニーズに応じた柔軟な開催方法を工夫し、教職員の主体的な研修体制づくりを進めてまいります。	308
12	活動指標にある「オンライン等、多様な研修機会の提供回数」について、主催者を明記することで分かりやすくなると思います。	①	松阪市教育委員会主催とわかるよう、52ページを次のように注釈を付けます。 ※松阪市教育委員会主催の研修	309

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

② 学校施設の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	学校施設が児童生徒の学びの場であるだけでなく、地域のコミュニティ形成や災害時の避難所としての役割も担っています。今後の整備方針において、地域との連携や多様な利用者への配慮が明記されている点に、公共施設としての学校の価値が再認識されていると感じます。	②	学校は児童生徒の学びの場であると同時に、地域のコミュニティ拠点や災害時の避難所として重要な役割を担っています。今後の整備では、教育環境の充実に加え、地域との連携や多様な利用者への配慮を重視し、平常時・非常時ともに安全で開かれた公共施設としての価値を高めてまいります。	310
2	空きスペースの有効活用や長寿命化計画に基づく整備は、限られた資源の中で柔軟かつ効率的な運用をめざす姿勢が感じられ、持続可能な学校づくりに向けた取組だと思います。	②	学校施設の整備にあたっては、その時代に応じた教育ニーズや地域の要請を柔軟に取り入れ、長寿命化を図ってまいります。空きスペースの有効活用や機能改善を進めることで、限られた資源を最大限に活かし、持続可能で安全・快適な学びの場を確保するとともに、地域に開かれた公共施設としての価値を高めてまいります。	311
3	大規模な改修は、学校の活性化や財政面から見ても難しい状況があると思います。そのような中で、小規模な改修や増築を重ねながら、少しずつ施設をより良くしていこうとする視点が教育ビジョンに盛り込まれているのは、とても良いことだと思います。こうした現実的な取り組みが、子どもたちにとって学びやすく、安全で快適な環境づくりにつながることを期待しています。	②	児童生徒の安全・安心を確保する維持管理を第一に考え、計画的な点検や小規模な改修を重ねながら、学びやすく快適な環境づくりを進めてまいります。限られた資源の中でも、現実的な改善を積み重ねることで、持続可能な学校施設の整備を着実に推進してまいります。	312
4	学校施設の防災機能の強化や快適な学習生活環境に向けた改修に期待しています。	②	学校施設は児童生徒の学びの場であると同時に、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所として重要な役割を果たします。今後の整備では、安全性の確保と防災機能の強化を第一に、地域住民も安心して利用できる環境づくりを進め、平常時・非常時ともに信頼される公共施設をめざしてまいります。	313
5	学校施設を地域コミュニティの拠点として活用する方針に賛成です。また、防災機能の強化は非常に重要だと思います。災害時に子どもたちが安全に避難できるだけでなく、地域住民も安心して利用できる施設になることを期待します。	②	学校施設は児童生徒の学びの場であると同時に、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所として重要な役割を果たします。今後の整備では、安全性の確保と防災機能の強化を第一に、地域住民も安心して利用できる環境づくりを進め、平常時・非常時ともに信頼される公共施設をめざしてまいります。	314
6	長寿命化計画に基づく計画的整備に加え、UD・バリアフリーと防災機能の向上、目標年次での進捗提示という三本立てに計画性への信頼を寄せます。	②	学校施設の整備にあたっては、長寿命化計画に基づく計画的な取り組みを進めるとともに、その時代に応じた教育ニーズや地域の要請を柔軟に取り入れてまいります。加えて、ユニバーサルデザインやバリアフリー、防災機能の強化にも配慮し、誰もが安心して利用できる持続可能な施設づくりをめざしてまいります。	315
7	安全で快適な教育環境の整備を計画的に進める方針に賛成します。耐震化や老朽化対策はもちろん、ICT機器や特別教室の整備、環境に配慮した省エネ設計など、子どもたちの学びを支える施設整備を推進してほしいです。地域と共用できる学校施設にも共感します。	②	学校は児童生徒の学びの場であるとともに、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所として重要な役割を担います。今後の整備では、老朽化対策を進めるとともに、防災機能の強化や快適な学習環境の確保に努め、地域と共に安心して利用できる公共施設としての価値を高めてまいります。	316

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑫ 学校施設の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	いつ災害が起こるかわからない今、学校施設の防災機能を高める取組は非常に重要だと思います。子どもたちの命を守る安全な学びの場であるとともに、地域の避難拠点としても安心して利用できる環境づくりを期待しています。	②	学校施設は児童生徒の学びの場であると同時に、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所として重要な役割を果たします。今後の整備では、安全性の確保と防災機能の強化を第一に、地域住民も安心して利用できる環境づくりを進め、平常時・非常時ともに信頼される公共施設をめざしてまいります。	317
9	安全な学校施設に向けて、防災機能強化の実施は確実に進めてもらいたい。	②	学校は児童生徒の学びの場であるとともに、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所として重要な役割を担います。今後の整備では、防災機能の強化や安全・安心の確保を第一に、既存施設の維持管理や小規模な改善を計画的に進め、地域と共に活用できる持続可能な学校づくりをめざしてまいります。	318
10	今年の夏も温暖化に伴う危険なWBGT指数が多くみられた。児童生徒が安全な教育活動を行うためにも、学習に適した学校施設環境が求められているのではないのでしょうか。体育館・特別教室にはエアコンがなく、安全な学習環境とはいいいがたいのが現状です。安全な体育やクラブ活動を行うためには全ての学校に対して急務と考えます。また、経費削減およびエコも大切ですが、現状の教室環境も非常に厳しく、授業活動および職務へ集中して取り組める設定温度は25℃と聞いています。昨今の異常な暑さ対策としての学校施設の充実が必要なのではないのでしょうか。児童生徒の学習環境および教職員の職場環境の充実をお願いします。	③	令和7年度より児童・生徒の熱中症対策を目的とし小中学校体育館への空調設備整備に取り組んでいます。特別教室等未設置の施設につきましても、引き続き熱中症対策及び学校施設環境改善として空調設備設置を検討してまいります。	319
11	4年間使うものなので、「現在」は、いつ現在かを明記したほうがいいのではないのでしょうか。	①	53ページを次のように修正をします。 現在→令和7年4月時点	320

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

②③ 小中学校の再編活性化

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	学校は地域のコミュニティをつくる一つの間だと思しますので、跡地に地域住民が集えるような有効活用策を考えていくことはとても大事なことだと思います。	③	再編活性化に伴い使われなくなる学校施設や跡地の活用については、地域コミュニティの維持・発展につながるよう、地域の皆様からご提案もいただく中で、意見交換を重ね、交流施設や地域活動の拠点など、多様な活用策を地域の皆様と一緒に考えてまいります。	321
2	学校再編により子どもたちがこれまで以上に充実した学校生活を送れることを期待します。	③	小中学校の再編活性化は、将来を担う子どもたちのため、子どもたちの豊かな学びの環境を充実させることを目的として行われるものであるという考えのもと、学校運営や教育条件の改善など、より良い学校づくりにつなげてまいります。	322
3	児童生徒数の減少に伴う学校の小規模化によって生じる教育上の課題に対し、単なる施設の統廃合にとどまらず、児童生徒の社会性や思考力を育む「望ましい教育環境」の実現をめざしている点に深く共感します。教育の質を守り、子どもたちの未来を見据えた取組として、子育て世代の親にとっては、安心して子どもを預けられる環境づくりにつながるものであり、教育への信頼感を高める重要な施策だと感じます。	③	教科等の知識や技能を習得することに加え、社会性や規範意識を身につけさせることが大切であり、こうした教育を十分に行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていることや経験年数、専門性、男女比等のバランスの取れた教職員集団による指導・支援が必要と考えています。このような考えのもとで、学校の再編活性化を進めてまいります。	323
4	より良い学びの環境を整えるための最適規模化に理解があり、通学や地域との結び付けにも配慮する進め方を応援します。	③	校区内での探究学習や登下校時の見守りをはじめ、地域の皆様には日頃から学習面・学校運営面でも子どもたちの成長を支えていただいています。地域と学校が両輪になって地域ぐるみで子どもたちを育てていくことができる環境づくりをめざして再編活性化を進めてまいります。	324
5	地域から学校がなくなることは、地域のつながりや日常の風景が失われるようで、非常に辛いことです。しかし、子どもたちにとって豊かな学びを保障するためには、学校の再編活性化もやむを得ないと感じています。その中で、児童生徒・保護者・地域住民への丁寧な説明と協力を重視している点には大いに共感します。また、使われなくなる学校施設や跡地の活用について、行政と地域が一緒になって考えていけるという方針は、地域の未来を前向きに描くうえで心強く、うれしい限りです。	③	小中学校の再編活性化を検討する上では、統廃合ありきで進めるのではなく、対象校区内の保護者だけでなく、学校運営協議会や地域住民の皆様に対しても、再編活性化の必要性などを丁寧に説明し、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえ、これからも一緒に考えてまいります。 また、再編活性化に伴い使われなくなる学校施設や跡地の活用については、地域コミュニティの維持・発展につながるよう、地域の皆様からご提案もいただく中で、意見交換を重ね、交流施設や地域活動の拠点など、多様な活用策を地域の皆様と一緒に考えてまいります。	325
6	使われなくなる学校施設の活用についても、地域のニーズに応じて共に考えるという方針は、地域資源としての学校の価値を最大限に活かす取組だと思います。	③	再編活性化に伴い使われなくなる学校施設や跡地の活用については、地域コミュニティの維持・発展につながるよう、地域の皆様からご提案もいただく中で、意見交換を重ね、交流施設や地域活動の拠点など、多様な活用策を地域の皆様と一緒に考えてまいります。	326

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

②③ 小中学校の再編活性化

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
7	自分の学校がなくなるとはとても悲しいですが、子どもたちがよりよい環境で学び、たくさんの仲間と出会い、成長できる未来のために再編が進められていることを理解しています。地域の思い出や絆を大切にしながら、新しい学校が「みんなの誇り」となるような再編を進めてほしいです。	③	子どもたちが生まれ育った地域の豊かな自然環境や歴史、文化は、そのすべてが貴重な財産であると認識しています。学校再編により広がる新たな校区内の地域資源を子どもたちの地域学習の教材として活用することで、子どもたちの地元への愛着心の醸成につなげてまいります。	327
8	文章全体としては、複式学級の課題に主眼を置き、学校再編の必要性を強調する構成となっていますが、複式学級のもつ教育的な意義や利点にも触れていただけると、否定的な印象に偏らない内容になるのではないかと思います。(P 5 5 現状と課題)	①	この部分の記述は、児童生徒数減少の現状とそれに起因する学校の小規模化の課題を中心とした構成になっていますが、ご指摘をいただいた複式学級を含め小規模校では、一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすいという利点もありますので、55ページにその旨を追記します。	328
9	小中学校の再編活性化について「『地域とともにある学校づくり』の視点を踏まえてすすめます。」とあります。  地域に学校があることで、過疎化が進む地域に元気が出ます。山村留学により児童が増え「小学生がこの道を通るのは何年ぶりだろう。」と嬉しそうに話す地域のお年寄りの声が聞かれます。学校と地域が連携し子どもたちのより良い成長を見守ってもらっています。今後も学校・保護者・地域の声を大切にしてくださいようお願いします。（P 5 6、1 5 行目）	③	地域で暮らす子どもたちがより良い教育環境で教育を受けられる体制を、地域の皆様と行政で用意していくことが大切であると考えています。小中学校の再編活性化を検討する上では、統廃合ありきで進めるのではなく、対象校区内の保護者だけでなく、学校運営協議会や地域住民の皆様に対しても、再編活性化の必要性などを丁寧に説明し、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえ、これからも一緒に考えてまいります。	329
10	いきなり「保護者」というワードが出てきますが、唐突すぎるのももう少し説明を加えるべきだと思います。	①	55ページの該当箇所を次のように修正します。 保護者や教員の一人当たりの役割の負担増など→教員一人当たりの役割の負担増やPTA活動等における保護者一人当たりの負担増など	330
11	複式学級の注釈について、あえて国の基準のみを記載しているように見受けますが、「みえ少人数学級」における「6年生を含む場合14人以下」という基準を追記すべきだと思います。	①	55ページの注釈 ※1 の文末に次のように追記します。 →なお、三重県内の小学校においては、これら国の基準に加え、6年生を含む場合は14人以下となった場合に編制される	331
12	松阪市が再編活性化を行っていく「目的」が、子どもたちの豊かな学びの環境を充実させることであることが十分伝わってくる内容だと感じます。	③	小中学校の再編活性化は、将来を担う子どもたちのため、子どもたちの豊かな学びの環境を充実させることを目的として行われるものであるという考えのもと、学校運営や教育条件の改善など、より良い学校づくりにつなげてまいります。	332



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑭ 生涯学習の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	いつも様々な講座を企画していただいて、ありがとうございます。今後も、講座やプログラム等を通じて地域の人同士がつながり合えるといいなと思います。公民館やコミュニティセンターがコミュニティ・スクールと連携することは、その地域の子どもや保護者のニーズなどを捉える一助となると思いますので、連携を強められるといいなと思います。	②	学校、家庭、地域住民、そして関係機関が互いに連携・協力することは、子どもたちの健やかな成長と地域の活性化に不可欠です。今後も講座やプログラムを通じて人と人がつながり合える機会を大切にし、公民館やコミュニティセンターとの連携を強化しながら、地域のニーズを踏まえた取り組みを進めてまいります。	333
2	子どもたちの活動の一環として、地域の文化祭に参加しました。同じ学校の仲間や保護者の方だけでなく、地域の方にも激励の言葉や拍手をもらって、子どもたちにとっても貴重な経験になったと思います。また、地域の方の活動も見せていただき、交流のよい機会となりました。	②	幅広い年代がつながり合える機会を大切にし、地域の絆を深めながら活力あるまちづくりをめざしてまいります。学校や地域施設を活用し、子どもから高齢者までが互いに交流し、学び合える場を広げることで、地域全体で子どもたちの成長を支える環境づくりに取り組んでまいります。	334
3	公民館を誰もが使いやすい学びの拠点とし、学校と地域の学びをつなぎ、デジタルも取り入れた多様な講座を展開する姿勢は市民の学びを広げる基盤になると感じます。	②	今後の方向性に示しましたとおり、社会や地域の変化に応じた多様な講座を企画し、多様化するニーズに応じた講座を提供してまいります。	335
4	公民館が「市民の交流・学び・創造の場」として整備・充実されていくことは、地域の活性化に直結する重要な取り組みだと感じます。特に、学校施設の活用や子どもたちの探究活動への支援など、教育との連携が図られている点に、公民館の新たな役割と可能性を感じます。	②	現在「松阪市公民館の在り方について」整理を進めています。ご意見をいただきました「新たな役割と可能性」の視点を持ち、公民館在り方基本方針をまとめてまいります。	336
5	「いつでも」「どこでも」学べる環境づくりに向けて、デジタルツールを併用しながらも、対面のつながりを大切にする姿勢は、多様な市民のニーズに応える柔軟な対応だだと思います。生涯学習がより身近なものになることで、老若男女問わず地域全体の学びの文化が豊かになることを期待します。	②	デジタルデバйд対策を講じつつ、対面のよさ、デジタルツールのよさを活かしながら、「だれでも」「いつでも」「どこでも」学べる環境づくりに努めてまいります。	337
6	子どもから高齢者まで、誰もが学び続けられる社会を目指す生涯学習の推進に賛同します。市民が自ら学び、地域の課題解決やまちづくりに主体的に関わる仕組みは、松阪らしい教育文化の形成につながると感じます。多様な学びの場の充実を期待します。	②	今後の方向性に示しましたとおり、社会や地域の変化に応じた多様な講座を企画し、多様化するニーズに応じた講座を提供してまいります。	338
7	地域の文化や社会資源に触れる機会を提供する公民館の取組は、子どもたちの主体的な学びを支える貴重な場です。探究心を育む支援の充実に期待しています。	②	学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携を図り、地域の歴史探訪や地域課題のフィールドワークといった子どもたちの主体的な学びにつながる取り組みを行ってまいります。	339

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑫ 読書活動の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	本離れが進んでいるというお話を聞くことがありますし、「学校の授業以外に10分以上読書をする」と回答した児童生徒の割合の現状値が6割を下回っているとのことです。学校で取り組んでいただいていることも知りたいですが、家でできることもありましたら教えていただけると嬉しいです。	③	学校では、図書館司書や読書ボランティアの方々に関わっていただきながら、「子どもたちが本を読みたくなる」環境づくりを進めていただいています。ご家庭でも、一緒に読書に取り組んだり、読んだ本の内容について話をしたり、図書館に行ったりしていただくことは、子どもの「本を読んでもようかな」という気持ちを育むことにつながります。学校でも、子どもが自ら設定した課題を追究する学習の中で本や資料を読む必要感をもてるような取組を推進してまいります。	340
2	ゲームやYouTubeなど児童生徒にとって様々な娯楽ツールがあふれている現代で、保護者の方で子どもたちの読書の機会を願う方も多いと思います。そんな中で、子どもたちが読書に興味・関心を持てるように子どもたちの目線に立った読書活動を推進していただけることはありがたく感じます。	②	子どもたちが読書に興味・関心をもてるよう、第四次松阪市子ども読書活動推進計画における施策を進めていくとともに、指定管理者と協働し、公立図書館の事業やイベント、学校図書館への司書派遣といった活動の充実を図ってまいります。	341
3	学校図書館の運営に子どもたちが関わる機会を設けることで、読書が「与えられるもの」から「自ら楽しむもの」へと変わっていくといいなあと思います。子ども自身が本との出会いを主体的に経験することで、読書への関心が自然と高まり、学びの質も深まると嬉しいです。	②	学校では、図書館司書や読書ボランティアの方々に関わっていただきながら、子どもが通いたくなるような交流とゆとりのある明るい空間を子どもたちと一緒に作っていきたいと考えています。ご意見をいただいたとおり、本市としても子どもが主体的に学校図書館の運営にも主体的に関わっていくことで、読書への興味・関心につながっていくものと考えています。	342
4	乳幼児期から親子で気兼ねなく本に親しめる環境づくりや、学校・公立図書館・家庭が連携して読書習慣を支える取組は、子どもの生涯にわたる学びの基盤を築く上で大切なことだと思います。読書を通じて育まれる想像力や表現力が、子どもたちの未来を豊かにしてくれることを期待します。	②	ご意見をいただいたとおり、本市としても子どもの読書習慣をしっかりと身につけていくためには、保護者やまわりの大人から言葉をかけてもらったり、絵本や物語を読んでもらうなど、乳幼児期からの取り組みが大切であり、第四次松阪市子ども読書活動推進計画における発達段階に応じた取り組みを進めてまいります。	343
5	乳幼児期に親子で絵本に親しむことは、子どもたちの心の安定につながると思います。また、私たち大人が、スマホ時間を減らし、読書する姿を子どもに見せていく必要があると思います。	②	ご意見をいただいたとおり、子どもの読書習慣は日常生活を通して形成されるものと考えております。保護者やまわりの大人は子どもの読書習慣に影響を与える大人として、家庭等で子どもの読書環境をしっかりと整備していく役割があると考えております。	344
6	近年、子どもたちの不読率の高さが課題だと思います。そのため、読書の楽しさを実感できるような取り組みがますます重要になってきています。読書は、知識や感性を育むだけでなく、自己理解や他者理解にもつながる大切な営みです。現在では、タブレット端末を活用して電子書籍を読むことができ、調べ学習においてもデータとして活用できる資料があり手軽にアクセス可能です。こうしたICTの利点をもっと積極的にアピールし、読書への入り口を広げてほしいと思います。	②	ご意見をいただいたとおり、年齢が上がるにつれて不読率が高まっており、読書離れの懸念について本市としても課題と認識をしております。電子書籍は画面の明るさや文字の大きさを調整でき、音声読み上げ機能もあり、学校のタブレット端末を活用することで子どもたちの読書へのアプローチにつながると考えております。今後は、電子図書館の充実を図りつつ、タブレットを活用した読書機会の確保に努めてまいります。	345

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑫ 読書活動の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
7	電子図書館の充実を今後も期待しています。	②	電子図書館を通じて利便性の向上を図ることによって、時間や場所にとらわれず読書をするのが可能になります。スマホやタブレット、パソコンがあれば、24時間いつでも読書ができる環境は、特に忙しい現代社会では読書率の向上に繋がると考えられます。。本市としても、ご意見をいただいたとおり、引き続き、電子図書館の充実を図ってまいります。	346
8	読書活動を学校だけで完結させるのではなく、家庭との連携を通じて広げていくことが重要だと考えます。子どもが家庭でも本に親しむためには、まずは保護者自身が本に興味を持ち、読書の価値を共有することが大切だと思います。 また、「第四次松阪市子ども読書活動推進計画」にもあるように、幼いころから読書に親しむ習慣を育むためには、家庭での取組や、地域における読書活動の推進が欠かせません。家庭・地域・学校が一体となって読書環境を整えることで、子どもたちが自然に本に親しみ、豊かな心を育むことができると期待しています。	①	子どもの読書習慣の形成においては、学校だけでなく、読書ボランティア等の地域活動や家庭での日常生活のように、学校以外でも読書活動を推進する取り組みが広がっていくことが重要と考えております。そこで、５９ページ９行目及び２０行目を次のように修正します。 学校や家庭、公立図書館→家庭・学校・地域・公立図書館	347
9	読書を通して豊かな感性や思考力、表現力を育てる取組に強く賛成します。家庭・学校・地域が連携し、子どもたちが本に親しむ環境を整えることはとても重要だと思います。図書館や学校図書室のさらなる充実、読書ボランティアとのさらなる協働を期待しています。	①	子どもの読書習慣の形成においては、学校だけでなく、読書ボランティア等の地域活動や家庭での日常生活のように、学校以外でも読書活動を推進する取り組みが広がっていくことが重要と考えております。そこで、５９ページ９行目及び２０行目を次のように修正します。 学校や家庭、公立図書館→家庭・学校・地域・公立図書館	348
10	学校での読書の時間に子どもの興味関心に応じた本を紹介したり、読書ボランティアが読み聞かせをしたりして、子どもたちが本に触れる機会をつくってもらっていることや、司書さんの力を借りて図書館運営ができることは強みだと思います。子どもたちには本好きの大人がいる環境で、読書に没入する体験をしてもらいたいと思います。	②	学校では、図書館司書や読書ボランティアの方々に関わっていただいております。今後も引き続き、司書の派遣や読書ボランティアの方々との連携を図りつつ、子どもたちの読書への興味・関心を高められるよう取り組みを進めてまいります。	349
11	学校図書館の活用と家庭での読書習慣づくりを両輪に、読書の楽しさを広げつつ図書館等と連携する方針は基礎学力の土台づくりに直結すると確信します。	②	ご意見をいただいたとおり、子どもの読書習慣は学校だけでなく、家庭における日常生活を通して形成されるものと考えております。公立図書館においても指定管理者との協働により、読書の楽しさを伝えられる取り組みを進め、学びの場としての役割を果たしてまいります。	350
12	遠隔サービスや電子図書の充実はもちろん重要ですが、これらを遠隔地だけでなく、市全体で普及させることで、誰もが読書にアクセスできる環境を整えることが望ましいと考えます。読書活動の推進には、地域差をなくし、全市的な取り組みが必要なのではないのでしょうか。	②	遠隔地対策のひとつとして、公立図書館による団体貸出や地域開放型図書館への司書派遣といった取り組みをしているところですが、５９ページに記載しましたアウトリーチ型サービスのさらなる充実を進め、距離的に不利な状況にある地域における読書活動の推進にも取り組んでまいります。	351

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑫ 読書活動の推進

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
13	近年、高等学校における不読率の高さが課題となっており、読書の楽しさを実感できるような取り組みがますます重要になってきています。読書は、知識や感性を育むだけでなく、自己理解や他者理解にもつながる大切な営みです。 現在では、タブレット端末を活用して電子書籍を読むことができ、調べ学習においてもデータとして活用できる資料や、さまざまなジャンルの小説などが手軽にアクセス可能です。こうしたICTの利点をもっと積極的にアピールし、読書への入り口を広げる工夫が求められます。 学校図書館や教員による働きかけに加え、教育委員会としても、電子書籍の活用や読書活動の魅力を発信する取り組みを推進していただきたいです。	②	本市としても年齢が上がるにつれて不読率が高まっており、読書離れの懸念について本市としても課題と認識をしており、学校のタブレット端末を活用することは子どもたちの読書へのアプローチにつながり、不読率の改善が期待できると考えております。ご意見をいただいたとおり、電子書籍を活用するにあたっては、子どもたちに改めて読書の魅力を伝えられるよう、図書館司書や学校教員との連携を図ってまいります。	352
14	高校生と は、高校生までとした方が分かりやすいでしょうか。	①	5 9 ページ 1 0 行目を次のとおり修正します。 高校生と→高校生まで	353
15	注釈には、法律名が記載されていますが、可能なら概要を記載してもらえるとありがたいです。	①	59ページの※ 2 の文末に次のように追記します。 →障がいの有無に関わらず、全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律	354
16	電子図書館について、本文に説明を加えるか、注釈をつけるかしていただくと分かりやすいです。	①	60ページの注釈に記載します →インターネット経由で電子書籍を紙の本と同じように、検索・貸出・返却・閲覧できる図書館を追加します。	355

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

②⑥ 青少年健全育成の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	青少年の健全育成には、地域全体で子どもたちを見守り、育てる意識が欠かせません。あいさつ運動は、地域の人と子どもたちが日常的に関わるきっかけとなり、安心感や信頼関係を育む大切な取り組みです。学校だけでなく、家庭や地域が一体となって、温かい声かけの輪を広げていくことを期待しています。	②	「あいさつ運動」は、子どもたちに安心感を与えるとともに、信頼関係を築き上げる大切な活動であり、学校に限らず、家庭や地域全体で取り組むことによって、より温かい社会が形成されるものと子どもも考えております。家庭・学校・地域が一体となった取り組みを推進し、各健全育成団体等には、積極的に子どもたちへの声かけを広げていけるよう、具体的な活動を検討してまいります。	356
2	放課後児童クラブに通っていない児童対象の「小学校長期休業子どもの居場所づくり事業」は、働く保護者にとって非常にありがたい事業だと感じます。子どもたちの居場所づくりが子どもたちの安心・安全だけでなく保護者の安心にもつながっていると思います。	②	小学校長期休業子どもの居場所づくり事業である「松阪さんまくらぶ」は、令和6年度より本格実施しておりますが、年々利用人数が増加しております。子ども達を取り巻く環境は変化し、働く保護者の方々にとって意義のある取り組みであると私どもも考えております。子どもたちに安全・安心な居場所を提供することは、保護者の安心にも直結し、地域全体で子育てを支える基盤ともなると考えております。今後もより良い環境を整え、子どもたちと保護者の皆様に寄り添った事業運営を進めてまいります。	357
3	「子どもを真ん中に考えて」という言葉に、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全な成長を支えるという強い意志を感じます。人と人とのつながりを大切にしながら、夢や希望をもって生きる力を育む取り組みは、地域の未来を明るく照らすものだと感じます。	②	私どもは、「こどもを真ん中に考える」を第一に考え、家庭・学校・地域が一体となり、青少年の健やかな成長を支える取り組みは、未来を託す子どもたちの生きる力を育む重要なものと考えております。人と人とのつながりを大切にしながら、子どもたちが夢や希望を持てる地域づくりを進めてまいります。	358
4	地域ぐるみで子どもを見守る体制、居場所と体験の拡充、家庭・学校・地域のネットワーク化という流れに大いに賛同します。	③	私どもは、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるとともに、多様な体験を通じて未来を切り拓く力を育むことを目指しております。今後も、家庭・学校・地域との連携を深めながら地域全体で子どもを支える仕組みを構築してまいります。	359
5	子育てをする上で、放課後児童クラブや子ども教室の充実、さらには長期休業中の居場所づくりなど、保護者のニーズに寄り添った支援が丁寧に進められている点に大きな安心感を覚えます。子どもたちが安全・安心に過ごせる環境は、私たち保護者にとっても心強く、地域全体で子育てを支えてもらえることに、感謝と喜びを感じます。	②	放課後児童クラブや子ども教室の充実、長期休業中の居場所づくりにご安心いただけていること、大変嬉しく存じます。子ども達を取り巻く環境は変化し、働く保護者の方々にとって意義のある取り組みであると私どもも考えております。子どもたちに安全・安心な居場所を提供することは、保護者の安心にも直結し、地域全体で子育てを支える基盤ともなると考えております。今後とも、地域全体で子育てを支える取り組みをさらに強化し、多様な支援を充実させてまいります。	360
6	地域ぐるみの見守り活動やあいさつ運動は、子どもたちの安心感と地域のつながりを育む重要な取組です。今後は、児童自身が活動の企画・運営に関わる機会をさらに増やすことで、主体性の育成にもつながると考えます。	③	地域ぐるみの見守り活動やあいさつ運動の重要性に共感いただき、心強く存じます。また、児童自身が企画・運営に関わることで主体性が育まれるとのご提案、大変有益であると感じております。関係各所と連携をしながら地域全体の絆を深めるものとして工夫を重ね、子どもたちの成長を支え続けていけるよう検討してまいります。	361
7	長期休業中の居場所づくりは、保護者支援と児童の安全確保の両面で意義があります。今後は、学びや遊びの要素を取り入れたプログラム開発により、より充実した時間の提供を期待します。	②	小学校長期休業中の居場所づくりは、子ども達を取り巻く環境は変化し、働く保護者の方々にとって意義のある取り組みであると私どもも考えております。特にご提案いただいた学びや遊びの要素を取り入れることで、児童がより充実した時間を過ごせる環境をめざすことは、大変意義深いものと考えております。今後、既存の子ども教室との連携を図りながら、学びの企画を取り入れる方法を検討し、児童の興味を引きつつ成長を支える居場所づくりを進めてまいります。	362

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

②⑥ 青少年健全育成の充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
8	「小学校長期休業子どもの居場所づくり事業（松阪さんまくらぶ）」は保護者にとってとても心強い事業だと思います。様々な生活スタイルの家庭があるので、幅広く保護者のニーズにあったものにしていただけるとありがたいです。	③	本事業を心強いものと評価いただき、大変嬉しく存じます。ご指摘いただきましたように、家庭ごとに生活スタイルやニーズが異なるため、事業が幅広く保護者様のご要望にお応えできる形であることが重要であると認識しております。今後は、保護者の皆様のご意見を参考にさせていただきながら、内容や時間帯の柔軟性の確保、さらなる充実をめざしてまいります。	363

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

㉗ 生涯スポーツの充実

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	障がい者や高齢者を含む幅広い市民が気軽に参加できるプログラムの整備や、民間施設との連携による活動の場の拡大は、スポーツを通じた地域の包摂性を高める取り組みとして良いと思います。誰もが身近に運動できる環境づくりが、健康づくりだけでなく、地域のつながりにもつながると感じます。	③	市民の皆さんのご参加・ご協力をもとに、スポーツを『する』楽しみ、『観る』感動、『支える』喜びを感じる活動を通じて、スポーツと運動したまちづくりを進めるとともに、市民の健康増進に取り組むよう努めてまいります。	364
2	休みの日は、親子で運動をしたいと思っています。親子で参加できるスポーツ教室の開催など、幼児期から運動に親しむ機会を提供する取り組みは、子どもたちの健やかな成長を支えるだけでなく、将来の健康意識や社会性の基盤づくりにもつながると思っています。家族で楽しめるスポーツの場があることは、子育て世代にとっても大きな魅力です。	③	幼児期の子どもたちが運動に親しむ機会を増やすため、親子で一緒に楽しめるスポーツ教室の開催に努めてまいります。こうした取り組みを通じて、家庭でのふれあいや健康意識の向上を促し、子どもたちの健やかな成長と、地域における交流の輪を広げることをめざしてまいります。	365
3	親子で参加できるスポーツ教室の開催は、幼児期の運動習慣の形成だけでなく、家庭でのふれあいや健康意識の向上にもつながる素晴らしい取り組みだと感じます。	③	スポーツを通じて、家族や地域のつながりを深め、健康への関心を高めることはとても重要です。今後も、親子で楽しめる教室や地域の方々と交流できる機会を工夫し、幼児期からの運動習慣の形成とともに、家庭でのふれあいや地域コミュニティの活性化につながる取組を推進してまいります。	366
4	地域の行事の一環で行われた軽スポーツ大会に家族で参加したときに、バグーやモルックなど、初めて知ったスポーツがあり、幅広い世代の人が楽しめるスポーツだと思いました。スポーツ教室などを通じて、様々なスポーツが地域に広がっていくことは、地域の行事などに取り入れられることにつながり、より多くの人を楽しめるようになると思いました。	③	軽スポーツは、地域の方々の交流促進や健康づくりに大きく寄与するものと考えています。今後も、地域のスポーツ推進委員を中心に、バグーやモルックなど幅広い世代が楽しめる軽スポーツを充実させ、気軽に参加できる機会を広げることで、地域のつながりと生涯スポーツの推進に努めてまいります。	367
5	週に一度地域の人で集まって運動をしてみえる方のお話を聞いたことがあります。親子で参加したり、参加者の輪が広がったりしているそうです。取組内容②にありますように、スポーツは地域の絆を強める要素となると思いますので、今後もスポーツ推進に努めていただけると嬉しいです。	③	週に一度地域の人で集まって運動することで参加者の輪が広がることはスポーツと運動したまちづくりにつながるものと考えています。今後もスポーツ推進や地域の方々の交流促進、健康増進に努めてまいります。	368
6	年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに賛同します。スポーツを通して健康づくりや地域交流を進める取組は、市民の幸福度を高めるものです。大会や教室の充実によるまちの活性化を期待します。	③	多様なスポーツ機会の提供として、市長杯各種スポーツ大会のほか、スポーツ協会やスポーツ少年団による交流会や大会が開催されており、引き続き大会開催の支援に努めてまいります。	369
7	年代や特性に応じた機会の拡大、障がいの有無を越えた参加、推進委員の活動の充実はいずれも誰もが関われる環境づくりとして価値があります。	③	推進委員の活動を充実させるとともに、親子で楽しめるスポーツ教室や高齢者向け大会、障がい者スポーツの開催など、誰もが参加しやすい環境づくりを進めてまいります。年代や障がいの有無を越えて交流できる場を広げ、地域全体でスポーツを楽しむ文化を育むことで、生涯スポーツの推進を図ってまいります。	370
8	中学生も参加できるように、総合型地域スポーツクラブの充実に期待します。	③	市内には、2つの総合型地域スポーツクラブがありますが、いずれもスポーツの楽しさやするきっかけづくりの場となることを目的としています。地域住民が主体的に活動し、子どもから高齢者までの誰もが体力や技術レベルに応じた様々な種目に対して気軽に参加できるように努めてまいります。	371

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑳ スポーツ環境の整備

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	スポーツの力をまちづくりの中核に据え、市民が「する・観る・支える」という多様な関わり方で自分らしくスポーツに親しめる環境を整えることは、健康づくりだけでなく、地域の一体感や活力の向上にもつながると感じます。	③	誰もが気軽に多様なスポーツに触れ、健康意識を高めながら日常的に運動を楽しめる環境づくりを進めてまいります。スポーツを通じて地域の交流を促し、一体感を醸成することで、まちの活力向上にもつなげます。今後も「する・観る・支える」という多様な関わり方を広げ、生涯スポーツの推進にもつなげてまいります。	372
2	幅広い方がスポーツに参加ができるように、スポーツ大会等の開催やスポーツ施設の充実に期待します。	③	誰もが安心してスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、施設の計画的な改修や安全性の確保に努めてまいります。さらに、地域での大会やイベントを通じて、幅広い世代がスポーツを楽しみ、交流できる機会を広げることで、健康づくりと地域のつながりを深め、スポーツを身近に感じられるまちづくりをめざします。	373
3	市民が誇りに思える大会として「みえ松阪マラソン」を発展・定着させるとともに、快適で安全なスポーツ施設の整備やバリアフリー化を進めることで、地域のブランド力を高め、交流人口の拡大を図りながら、誰もが身近にスポーツに親しめる環境づくりを通じて、まちの活性化も併せて図ってほしいと思います。	③	みえ松阪マラソンを核に交流人口の拡大を図りながら、市民が誇れる大会として定着させ、健康増進と地域の一体感を高め、活力あるまちを実現するよう努めてまいります。	374
4	みえ松阪マラソンについて、市民の誇りとなるイベントとしての位置づけは素晴らしいです。今後は、環境配慮や地域経済への波及効果も意識した運営を期待します。 大会運営を支えるボランティアの育成は、地域の人材力向上に直結します。すでに行っていただいています。が、学校教育との連携による若年層の参加促進も更に進めてほしいです。	③	みえ松阪マラソンは、スポーツを『する』楽しみ、『観る』感動、『支える』喜びを感じ、健康で心豊かに暮らせるまちづくりを体現しています。、みえ松阪マラソンを核に交流人口の拡大を図り、地域経済への波及も意識し、ボランティア育成と学校連携で若年層の参加を促進するよう努めてまいります。	375
5	市内中心部から離れた地域においてもスポーツ施設の整備維持が図られることを期待しています。	③	市内スポーツ施設については、長寿命化・複合化を含む計画的整備を進め、維持補修とバリアフリー改修により、安全で誰もが使いやすいスポーツ環境を実現するよう取り組んでまいります。	376
6	自分は縁あって草野球を30年ほど続けており、仲間といっしょに体を動かす機会を得られてとても幸せに思います。様々な人にスポーツを始めるきっかけを提供するために、マラソンやスポーツ教室などのイベントの開催や、スポーツのできる場所の整備をこれからもお願いします。	③	イベント拡充と施設整備を両輪に、誰もが始めやすい環境を推進するとともに、多様な競技機会健康意識と運動習慣を促進に努めていきたいと考えています。また、計画的維持補修・バリアフリー化、長寿命化と複合化で安全で持続可能なスポーツ環境を実現できるよう努めてまいります。	377
7	子どもがみえ松阪マラソンのボランティアに参加し、大会を支える貴重な体験をさせていただきました。スポーツを“する人”だけでなく、“支える人”として関わることの大切さを学び、地域の一員としての誇りを感じたようです。こうした生涯スポーツやボランティアの機会が、世代を超えて広がっていくことを期待しています。	③	みえ松阪マラソンを市民の誇りとなる大会として育成し、「する・観る・支える」の機会の拡充を図るとともに、選手支援や運営参加を促進し、交流とやりがいを広げ、世代を超えたボランティア普及で健康増進と地域の一体感を高めるよう努めてまいります。	378
8	「する・観る・支える」の参加を広げ、施設の計画的改修を進め、マラソン等の機会創出で交流と健康が高まる設計は両面で効果的です。	③	「する・観る・支える」を広げ、みえ松阪マラソンを市民の誇りとなる魅力ある大会として定着させ、参加を通じて健康意識と運動習慣の促進に努めるとともに、施設の計画的維持補修・バリアフリー化で誰もが安全に利用できる環境づくりを推進してまいります。	379



「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

⑳ スポーツ環境の整備

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	近年の暑さも考慮に入れた、スポーツ施設の整備を期待しています。	③	長寿命化・複合化を見据えた計画的整備を進め、暑さにも配慮した快適で安全なプレー環境を実現するとともに、計画的改修と維持補修、バリアフリー化で誰もが使いやすい施設を整え、健康増進が図れるよう努めてまいります。	380

**「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方**  
**（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）**

**㊹ 文化芸術の振興**

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	文化芸術の推進には、地域の人々が主体的に関わる活動の広がりが欠かせません。市民による音楽活動は、世代や立場を越えて人と人をつなぎ、地域に活気と豊かさをもたらします。学校や地域が連携し、音楽を通じた交流の場が広がることで、子どもたちの感性や表現力も育まれることを期待しています。	②	今後も、子どもたちをはじめ市民が主役となる視点で文化芸術の振興を進めます。音楽や美術など多様な活動を支援し、学校と地域の連携を深めることで、世代を超えた交流や創造の場を広げます。誰もが文化芸術に親しみ、感性や表現力を育む環境づくりに取り組んでまいります。	381
2	子どもに生の文化芸術体験をさせたいと思っています。子ども向けの文化芸術体験の充実は、子育て世代にとって大変魅力的であり、子どもたちの感性や創造力を育む大切な取り組みだと感じています。	②	今後も、子育て環境の充実という視点を持ちながら文化芸術の振興を進めます。子どもたちが音楽や美術、舞台など多様な生の体験に触れられる機会を広げ、感性や創造力を育む取り組みを強化します。学校や地域と連携し、親子で楽しめる場づくりにも努めてまいります。	382
3	子ども向け体験の充実と市民の創造・鑑賞への参加、施設活用と利用率向上の指標設定により、文化の裾野を広げる施策として期待します。	②	今後も、文化芸術にまずは触れ、気軽に参加・体験できる環境づくりに努めます。子どもから大人まで幅広い世代が創造や鑑賞を楽しめる機会を広げ、学校や地域との連携を強化します。さらに、施設の活用促進や利用率向上をめざし、文化の裾野を広げる取り組みを推進してまいります。	383
4	年齢や背景に関係なく、誰もが文化芸術に親しめるまちづくりは、松阪市民一人ひとりの心の豊かさを育むとともに、地域の活力を高める基盤になると感じます。	②	地域の文化芸術は、市民の誇りを育み、まちの魅力を高める力があります。今後も、シビックプライドの醸成に寄与するという認識のもと、誰もが文化芸術に触れ、参加しやすい環境づくりを進めます。創造や鑑賞の機会を広げ、地域の活力と心の豊かさを育む取り組みを推進してまいります。	384
5	芸術家との親子制作体験といった参加型イベントの開催も芸術振興には欠かせないと思います。	③	子どもを対象にした制作教室などは既に開催していますが、親子で一緒に作品づくりを楽しむ参加型イベントのご提案は、文化芸術をより身近にする貴重な視点です。芸術家に限らず、地域の人材や多様な分野の担い手と連携し、創造の喜びを共有できる場づくりに今後の参考として取り組んでまいります。	385
6	市民の創造性を尊重した文化芸術活動の推進は、地域の魅力向上に貢献します。特に若者や子育て世代が参加しやすい仕組みづくりが重要だと思っています。また、子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実、感性や表現力の育成に有効です。学校との連携をさらに強化し、教育活動との一体化を図ってほしいです。	②	今後も若者世代に対する取組を継続し、教育の観点からも、また将来の文化芸術の担い手の育成という観点からも推進してまいります。	386
7	文化芸術を地域の誇りとして次世代へ継承し、市民が主体的に関わる取組を進める方針に賛成します。子どもが身近に文化芸術に触れ、創造性を育む機会の拡大は大変意義深いです。文化施設の整備と担い手育成を期待します。	②	今後も、子どもたちをはじめ市民が主役となる視点で文化芸術の振興を進めます。地域の誇りとして次世代へ継承できるよう、創造や鑑賞の機会を広げ、文化施設の活用や担い手育成にも力を入れ、誰もが文化芸術に親しみ、心の豊かさを育む環境づくりを推進してまいります。	387

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方

（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

③⑩ 文化財の保護

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
1	博物館や資料館での展示や講座を開催したり、地域や学校等と連携して地域の歴史文化に触れる機会を提供したりすることで、市民の文化財への興味関心が高まると思います。また、そのことをきっかけにして、文化財への理解が広まることやシビックプライドを持つ市民が増えることを期待しています。	②	今後も、文化財に触れる機会の創出に努めます。博物館や資料館での展示や講座の充実に加え、学校や地域との連携を強化し、歴史文化を学び体験できる場を広げます。こうした取組を通じて、市民の理解と関心を深め、文化財を地域の誇りとして次世代へ継承する環境づくりの推進を図ってまいります。	388
2	保存と活用を両立させ、子どもを主対象にした展示や講座を充実させ、地域の誇りとして次世代へ継承する姿勢は誇りの継承に資する取組だと受け止めています。	②	文化財の保存と活用の両立は喫緊の課題であり、次世代への継承に向けた取組は極めて重要です。今後も、子どもをはじめ市民が文化財に触れ、学び、体験できる機会を広げるとともに、展示や講座の充実、学校や地域との連携を強化し、地域の誇りを未来へつなぐ環境づくりを進めてまいります。	389
3	文化財を通じて子どもたちが地域の歴史や文化に親しむことができる環境づくりは、感性や探究心を育むとともに、市民の財産としての文化財を次世代に継承していくための教育的に重要な取り組みだと思います。	②	今後も郷土の文化財を主体的に学習できる環境づくりという教育的な視点と、文化財の保存継承という視点の双方を大切にしながら進めてまいります。	390
4	博物館や資料館での展示、講座の開催、学校との連携などを通じて文化財を「保存する」だけでなく「活用する」視点が重視され、市民が地域の歴史文化に触れる機会が広がることで、文化財への理解と愛着が深まり、地域の誇りにつながると感じます。	②	今後も、文化財の保存と活用の両立をめざす取組を進めます。博物館や資料館での展示や講座の充実に加え、学校や地域との連携を強化し、市民が歴史文化に触れる機会を広げます。こうした活動を通じて、文化財への理解と愛着を深め、地域の誇りを次世代へ継承し、シビックプライドの醸成につなげてまいります。	391
5	文化財を身近に感じられる環境整備は、地域の誇りを育てる大切な施策です。子どもたちが地域の歴史文化を学びやすくなるような工夫に今後も期待しています。	②	今後も、子どもたちが文化財に触れ、学べる機会の創出に努めます。展示の充実や解説イベントの開催に加え、学校や地域と連携し、本物の文化に出会い、学べる機会の確保に努めてまいります。こうした取組を通じて、文化財への理解と愛着を深め、地域の誇りを次世代へ継承してまいります。	392
6	文化財の保存と活用の両立は、地域の歴史的価値を未来へつなぐ重要な取組です。市民が文化財に親しむ機会の創出をさらに進めてほしいです。	②	今後も文化財の保存と活用の両立を目指し、文化財を活かした学びや体験の場を広げ、市民が歴史文化に親しめる機会を創出します。こうした取組を通じて理解と愛着を深め、地域の誇りを次世代へ継承し、シビックプライドの醸成につなげてまいります。	393
7	幼少期のうちから本物の文化に触れ、親しむことはとても価値のあることだと思います。子どもたちにはせっかくある地域の財産である文化財を実際に観る機会をぜひつくってあげてほしいです。	②	今後も、子どもたちが文化財に触れ、学べる機会の創出に努めます。博物館や資料館での展示の充実に加え、解説イベントなどを取り入れ、学校や地域と連携して幼少期から本物の文化に親しめる環境を整えます。こうした取組を通じて、文化財への理解と愛着を深め、地域の誇りを次世代へ継承してまいります。	394
8	評価指標の「成果」の目標値について、小学校の値が現状値より低い値が示されているが、この意図はどのようなものでしょうか。	①	令和4・5年度は70％前半の実績値であったところ、令和6年度の実績値が81％に急増しました。この数値の要因については、宝塚1号墳出土埴輪の国宝指定による来館者数増の影響や、抽出調査であることによるデータの偏りの可能性などを考えましたが、活動指標に直接関連しているものとは判断しがたかったことから、令和4・5年度の実績をベースにして目標値を75％に設定していました。しかしながら、令和6年度の実績値は複合的な原因による成果と受け止め、また実績値より目標値のほうが低いというのは理解しづらい面があると思い、令和6年度の実績値をベースにし、70ページの目標値（R10）を次のように修正します。 小75％→小85％	395

「松阪市教育ビジョン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）とご意見に対する市の考え方  
（①意見等を本案に反映させていただくもの、②意見等が既に本案に反映されているもの、③意見等としていただいたもの）

③⑩ 文化財の保護

番号	意 見	対応 区分	回 答・対 応	整理 番号
9	前回のビジョンと比較して、現状と課題についてより詳しく触れられていて、その重要性についても理解しやすいです。	③	今後も国や県の動向を踏まえつつ、当市の文化財の保護を取り巻く現状と課題をしっかりと把握したうえで施策を立案し推進してまいります。また、施策に基づく様々な取組を通じ文化財保護の重要性について理解が浸透するよう周知に努めてまいります。	396